
第5次北茨城市総合計画
後期基本計画の策定に向けた
市民アンケート調査報告書

令和6年3月
北茨城市

第5次北茨城市総合計画 後期基本計画の策定に向けた

市民アンケート調査報告書

目 次

第Ⅰ章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の実施方法・期間等	1
（1）対象者	1
（2）実施方法	1
（3）実施期間	1
（4）回収状況	1
3 設問の構成	1
4 報告書を読む際の留意点	2
（1）集計方法	2
（2）集計結果の端数処理	2
（3）その他	2
第Ⅱ章 調査の結果	3
1 回答者の属性	3
2 まちの印象・暮らしやすさ	7
3 日常生活における意識	9
4 まちの人口減少について	10
5 市民生活やまちづくりに対する評価と今後、行政が特に力を入れるべき取組	12
6 市民参加のまちづくりについて	61

第 I 章 調査の概要

1 調査の目的

本市では、主要な行政分野ごとに施策の基本的方向などを体系的に定めたもので、市政全般に関わるまちづくりの指針をなす「第 5 次北茨城市総合計画 前期基本計画（計画期間：令和 2（2020）～令和 6（2024）年度）」が令和 6（2024）年度に最終年度を迎えることから、令和 7（2025）年度を初年度とする「後期基本計画」を策定することとしました。

今回のアンケート調査は、「後期基本計画（計画期間：令和 7（2025）～令和 11（2029）年度）」の策定にあたって、本市がこれまでに取り組んできた施策に対する満足度や、今後、より充実を図るべき取組などについて、幅広くご意見をうかがい、後期基本計画に市民の皆さまの声を反映させていただくことを目的に実施するものです。

2 調査の実施方法・期間等

（1）対象者

本市に住民登録している満 18 歳以上の市民の中から、無作為抽出した 5,000 人

（2）実施方法

郵送による調査票の配布、郵送及びWEB（インターネット）による回収

（3）実施期間

令和（2023）年 11 月 15 日（水）～12 月 10 日（日）

（4）回収状況

配布数 5,000 票、有効回収数 1,814 件（郵送分 1,381 件、WEB 分 433 件）、回収率 36.3%

3 設問の構成

対象分野	設問番号	設問の概要	回答形式
1 回答者の属性	問1	性別	単一
	問2	年齢	単一
	問3	居住地区	単一
	問4	出身地	単一
	問5	居住年数	単一
	5-1	居住を決めた理由	単一
	問6	職業	単一
	問7	通勤・通学先	単一
2 まちの印象・暮らしやすさ	問8	家族構成	単一
	問9	住み続けたいか	単一
	9-1	住み続けたい理由	上位1～3
	9-2	住み続けたくない理由	上位1～3
3 日常生活における意識	問10	日常生活における意識	単一
4 まちの人口減少について	問11	人口減少を知っていたか	単一
	問12	人口減少を抑えるために必要な政策	上位1～3

対象分野	設問番号	設問の概要	回答形式
5 市民生活やまちづくりに対する評価と今後、行政が特に力を入れるべき取組	問 13-1	現在の市民生活やまちづくりに対する満足度	単一
	問 13-2	現在の取組に対する満足度	単一
		今後、特に力を入れてほしい取組	上位1～2
6 市民参加のまちづくり	問 14	まちづくりの主体	単一

4 報告書を読む際の留意点

(1) 集計方法

回答全体をまとめて集計した「単純集計」と、性別や年代等の属性ごとに区分した「クロス集計」を行っています。

(2) 集計結果の端数処理

- 回答率（回答した人の割合）は、小数点第2位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、数値の合計が100%にならない場合や、図表中の合計値と文章中に表記した数値が一致していない場合があります。
- 図表中にある「n」は、設問の回答総数を示しています。また、有効ではない回答については、回答総数から除いているため、「n」と有効回収数（1,814件）は必ずしも一致しない場合があります。
- 回答率は、その設問の回答数を母数として算出しているため、複数回答の設問は全ての比率を合計すると100%を超えています。

(3) その他

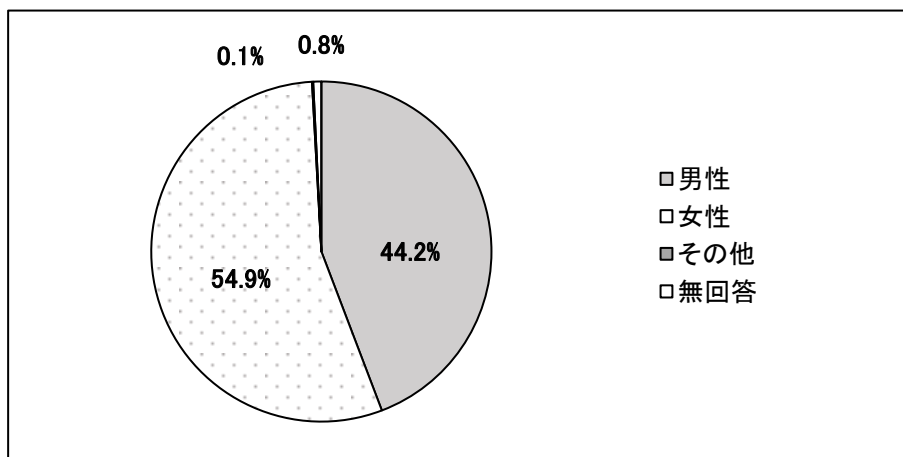
- 一般的に母集団が2万人以上の場合、統計上は無限母集団として捉えるため、2,000人程度を対象とすれば母集団全体の意見を反映しているといわれています。本調査は2万人以上の無限母集団であり、対象者数5,000人（有効回収数1,814人）は、統計上有効な数値であると考えられます。
- 本文及び図表中で回答の選択肢の表記が長いものは、適宜、表記を一部簡略化しています。
- 「無回答」や「回答しない」が設問の回答率で最も高かった場合、文章中には表記していません。
- クロス集計における各属性の回答者数が30未満の場合は、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめています。

第Ⅱ章 調査の結果

1 回答者の属性

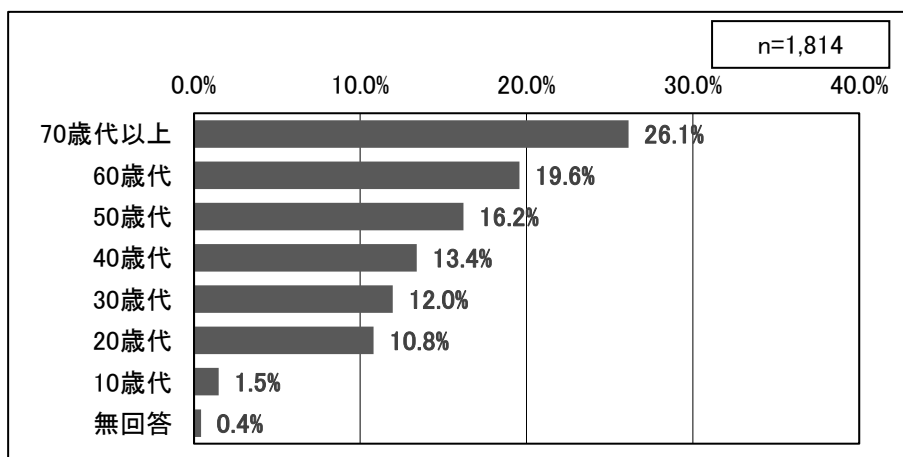
図表 1－1 性別

- 性別では「女性」が 54.9%で、「男性」の 44.2%より 10.7 ポイント高くなっています。



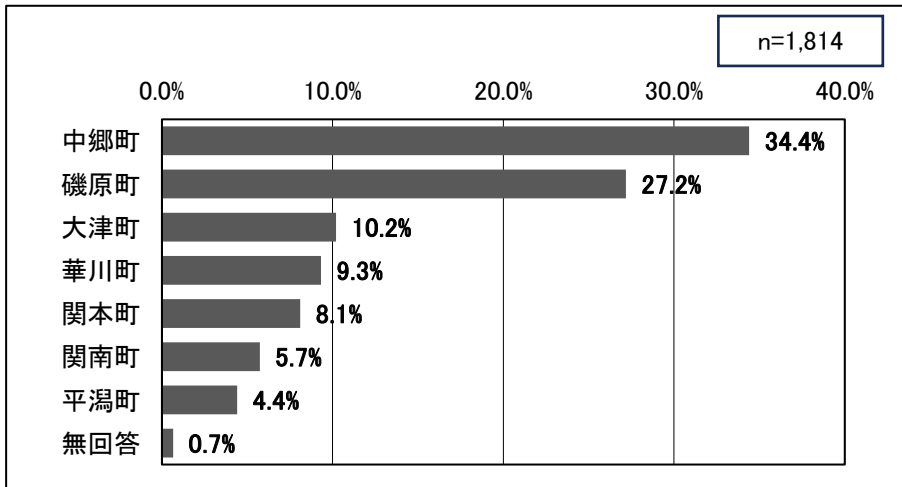
図表 1－2 年齢

- 年齢別では「70歳以上」が 26.1%で最も高く、以下、「60歳代」の 19.6%、「50歳代」の 16.2%の順であり、50歳以上の回答比率が半数以上となっています。



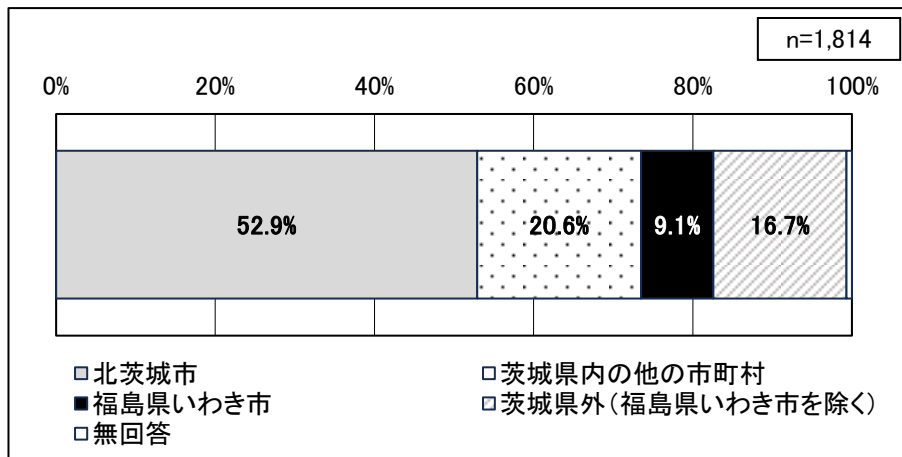
図表 1-3 居住地区

○ 居住地区では「中郷町」が34.4%で最も多く、次いで「磯原町」の27.2%となっています。



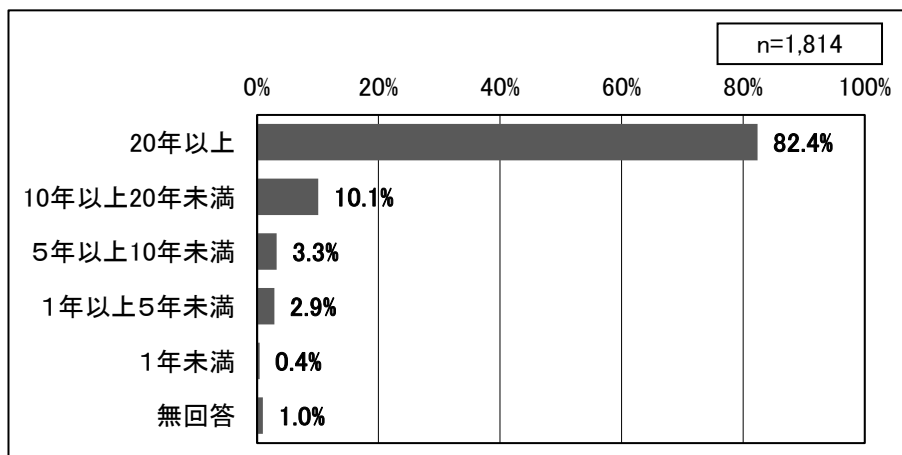
図表 1-4 出身地

○ 出身地では「北茨城市」が52.9%と半数を占め、次いで「茨城県内の他の市町村」の20.6%となっています。



図表 1-5 居住年数

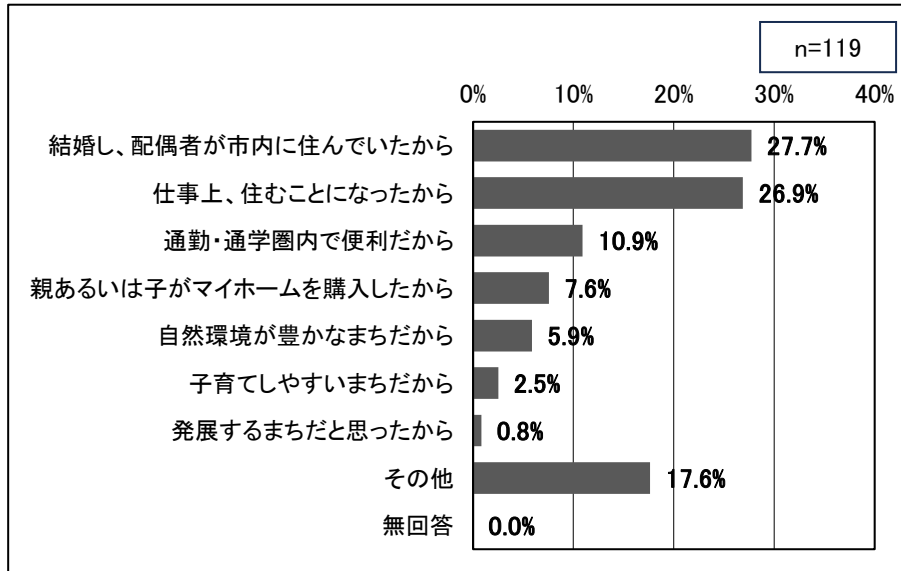
○ 居住年数では「20年以上」が82.4%と多数を占め、次いで「10年以上20年未満」の10.1%となっています。



図表 1-5-1 居住を決めた理由

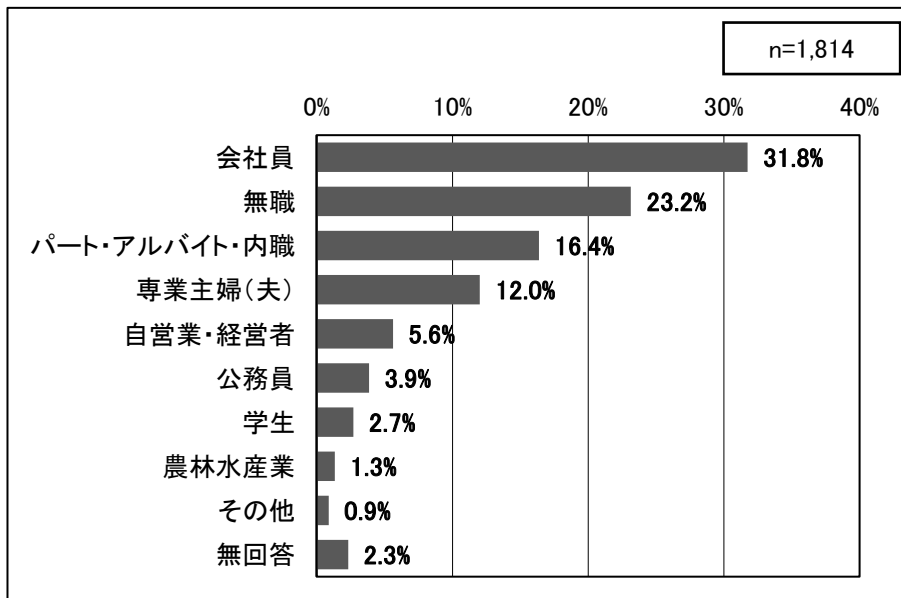
※前問で「1 1年未満」「2 1年以上5年未満」「3 5年以上10年未満」のいずれかを回答した場合

- 居住の理由では「結婚し、配偶者が市内に住んでいたから」が27.7%と最も多く、次いで「仕事上、住むことになったから」が26.9%となっています。



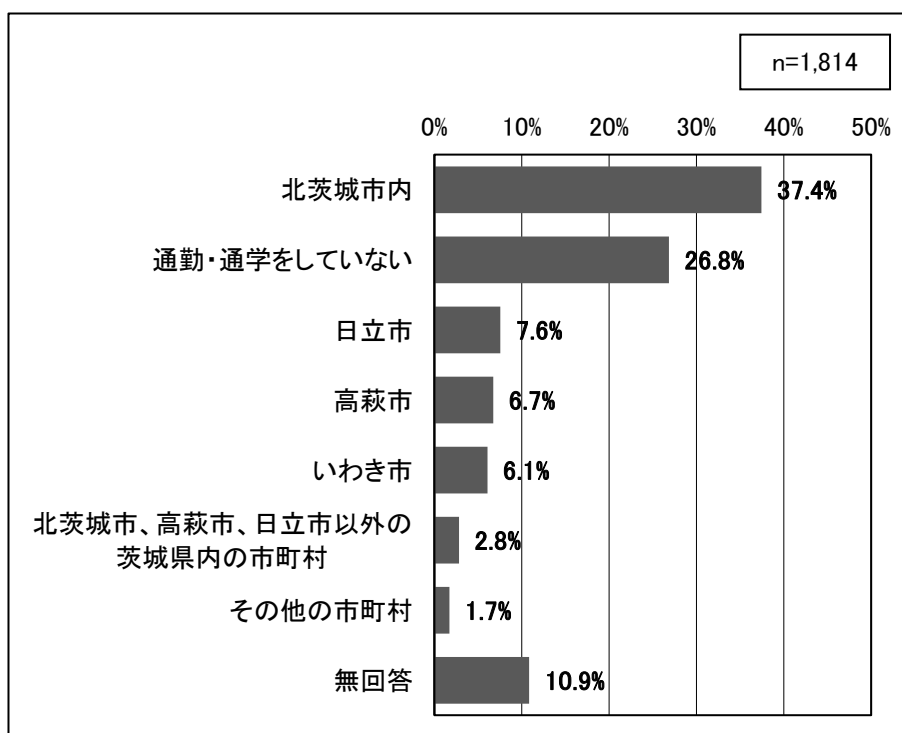
図表 1-6 職業

- 職業では「会社員」が31.8%と最も多く、次いで「無職」が23.2%となっています。



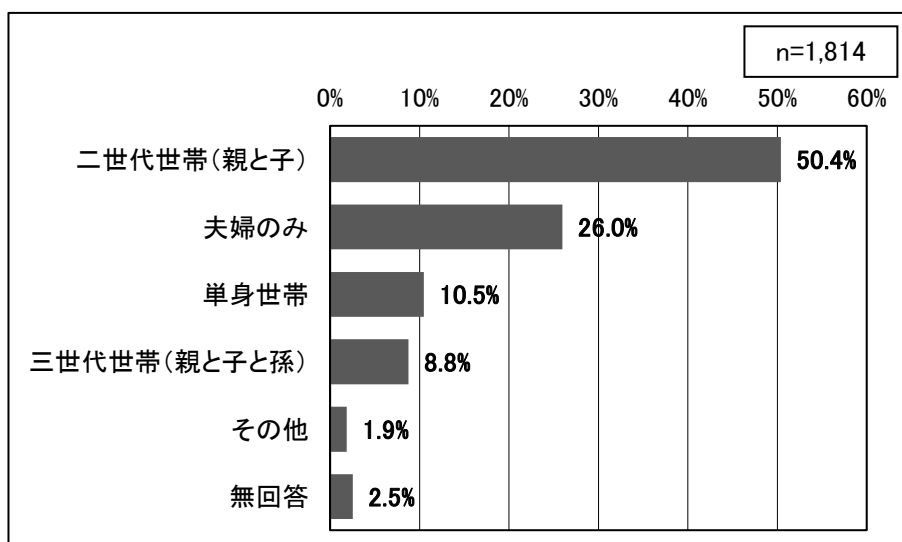
図表 1-7 通勤・通学先

- 通勤・通学先では「北茨城市内」が 37.4%と最も多く、次いで「通勤・通学をしていない」が 26.8%となっています。



図表 1-8 家族構成

- 家族構成では「二世帯世帯（親と子）」が 50.4%と半数を占め、次いで「夫婦のみ」が 26.0%となっています。



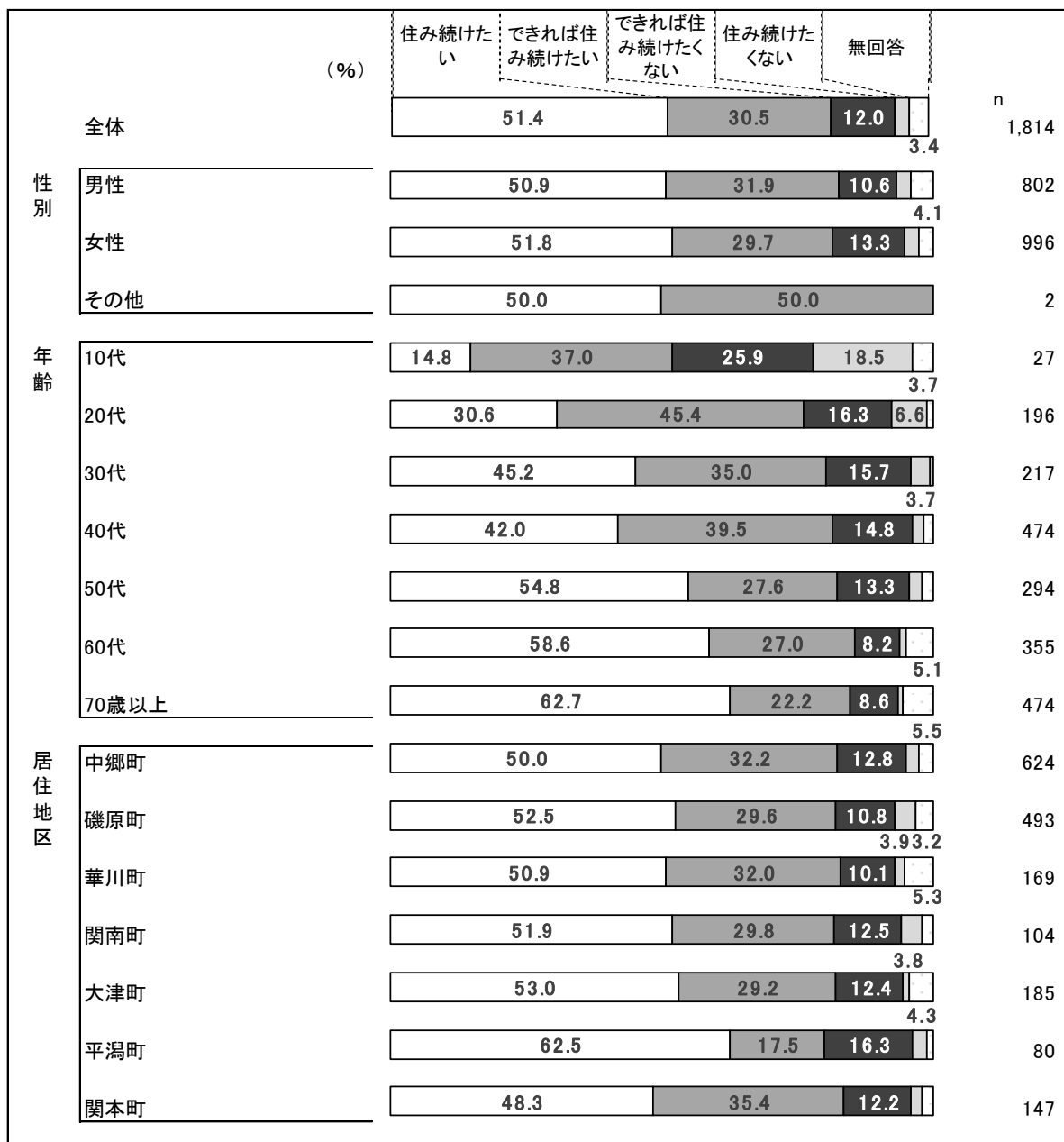
2 まちの印象・暮らしやすさ

問9) あなたは、これからも北茨城市に住み続けたいと思いますか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。(○は1つだけ)

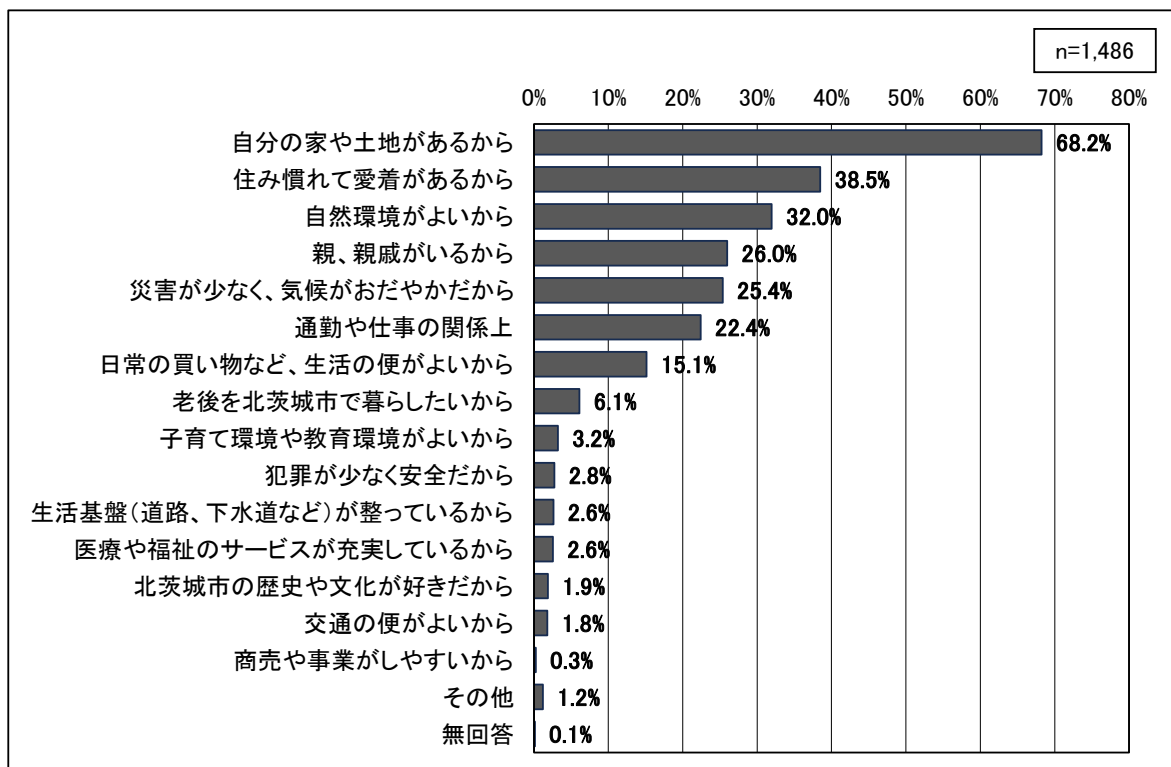
— 「住み続けたい」「できれば住み続けたい」の合計が81.9%を占め、「できれば住み続けたくない」「住み続けたくない」の合計(14.6%)を上回っている—

- 「住み続けたい理由」として、「自分の家や土地があるから」が68.2%と最も多く、次いで「住み慣れて愛着があるから(38.5%)」、「自然環境がよいから(32.0%)」となっています。
- 「住み続けたくない理由」として、「交通の便がよくないから」が54.9%と最も多く、「日常の買い物など、生活の便がよくないから(42.1%)」、「医療や福祉のサービスが不安だから(31.2%)」となっています。

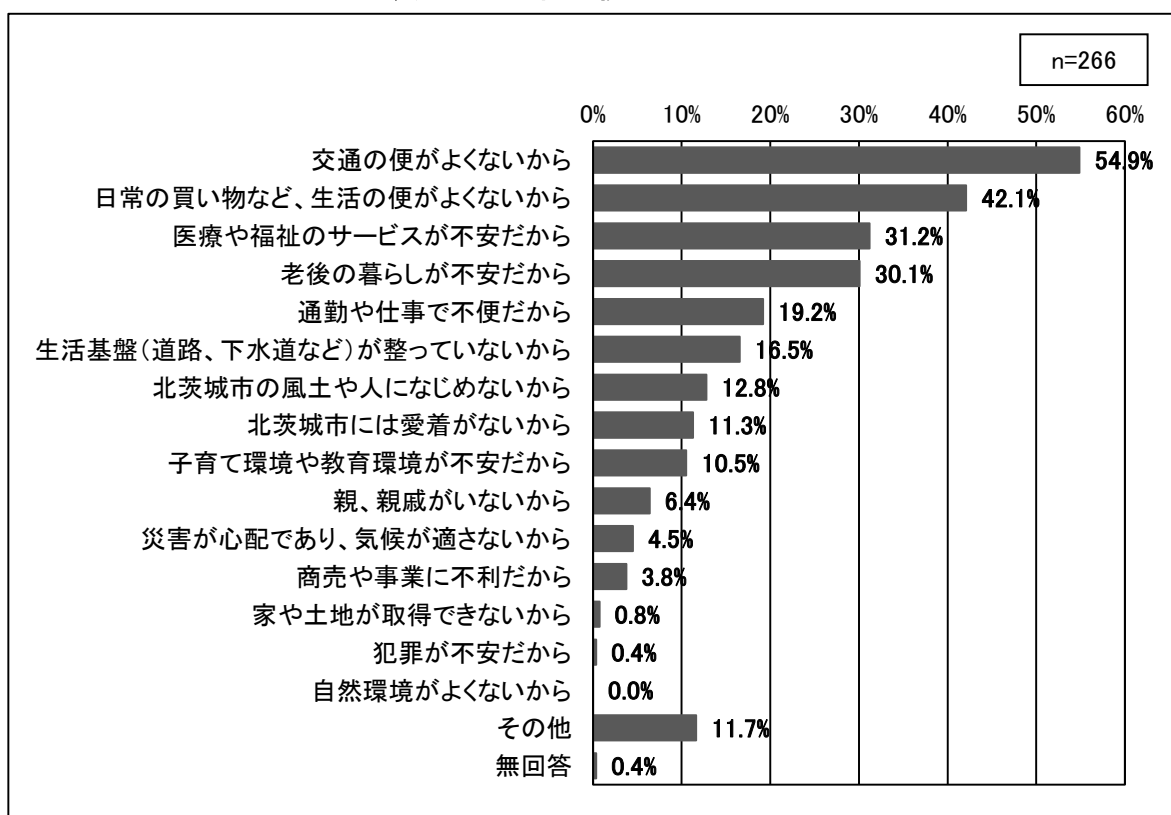
図表2-1 これからも住み続けたいか



図表 2-2 住み続けたい理由



図表 2-3 住み続けたくない理由



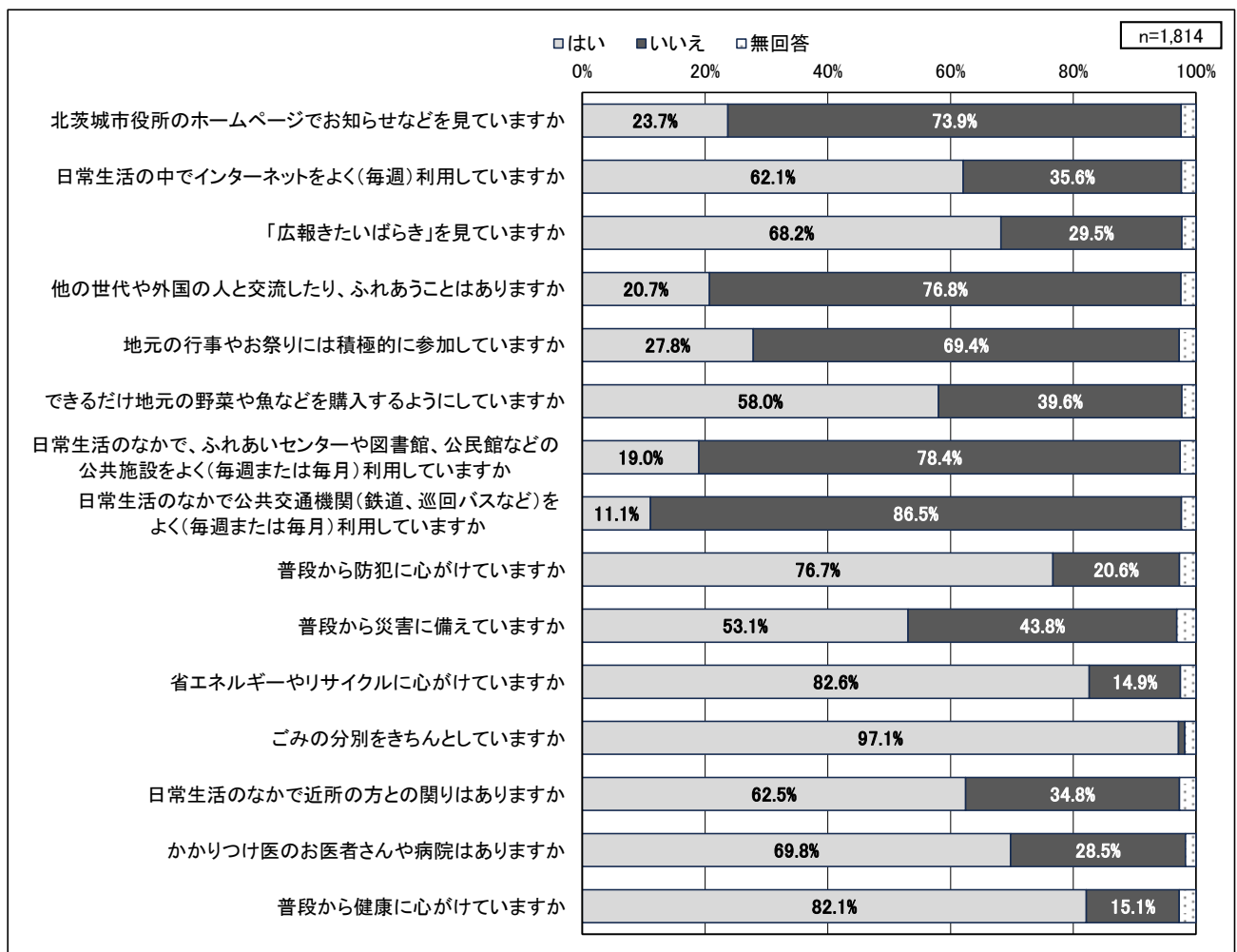
3 日常生活における意識

問 10) 日常生活におけるあなたの意識について、1 から 15 のそれぞれの項目ごとに、あてはまる番号を 1 つだけ選び、○をつけてください。

— 「ごみの分別」や「省エネ・リサイクル」への意識が高い一方、
「公共交通機関の利用」や「公共施設の利用」に対する意識は低い—

- 「はい」と答えた割合は、「ごみの分別をきちんとしていますか」が 97.1% と最も多く、次いで「省エネルギーやリサイクルに心がけていますか (82.6%)」、「普段から健康に心がけていますか (82.1%)」となっています。
- 「いいえ」と答えた割合は、「日常生活のなかで公共交通機関（鉄道、巡回バスなど）をよく（毎週または毎月）利用していますか」が 86.5% と最も多く、次いで「日常生活のなかで、ふれあいセンターや図書館、公民館などの公共施設をよく（毎週または毎月）利用していますか (78.4%)」、「他の世代や外国の人と交流したり、ふれあうことはありますか (76.8%)」となっています。

図表 3 日常生活における意識



4 まちの人口減少について

問 11) あなたは、今後の北茨城市の人口減少の状況について知っていましたか。(○は1つだけ)

— 「よく知っていた」、「ある程度知っていた」の合計が63.8%となり、「あまり知らなかった」、「まったく知らなかった」の合計(34.8%)を上回った—

- 年齢別では70歳以上の「よく知っていた」、「ある程度知っていた」の合計割合(72.2%)が最も高い一方、20歳代の同割合(51.5%)が最も低くなっています。
- 居住地域別では平潟町の「よく知っていた」、「ある程度知っていた」の合計割合(73.8%)が高い一方、大津町の同割合(59.5%)が最も低くなっています。

図表4-1 人口減少について

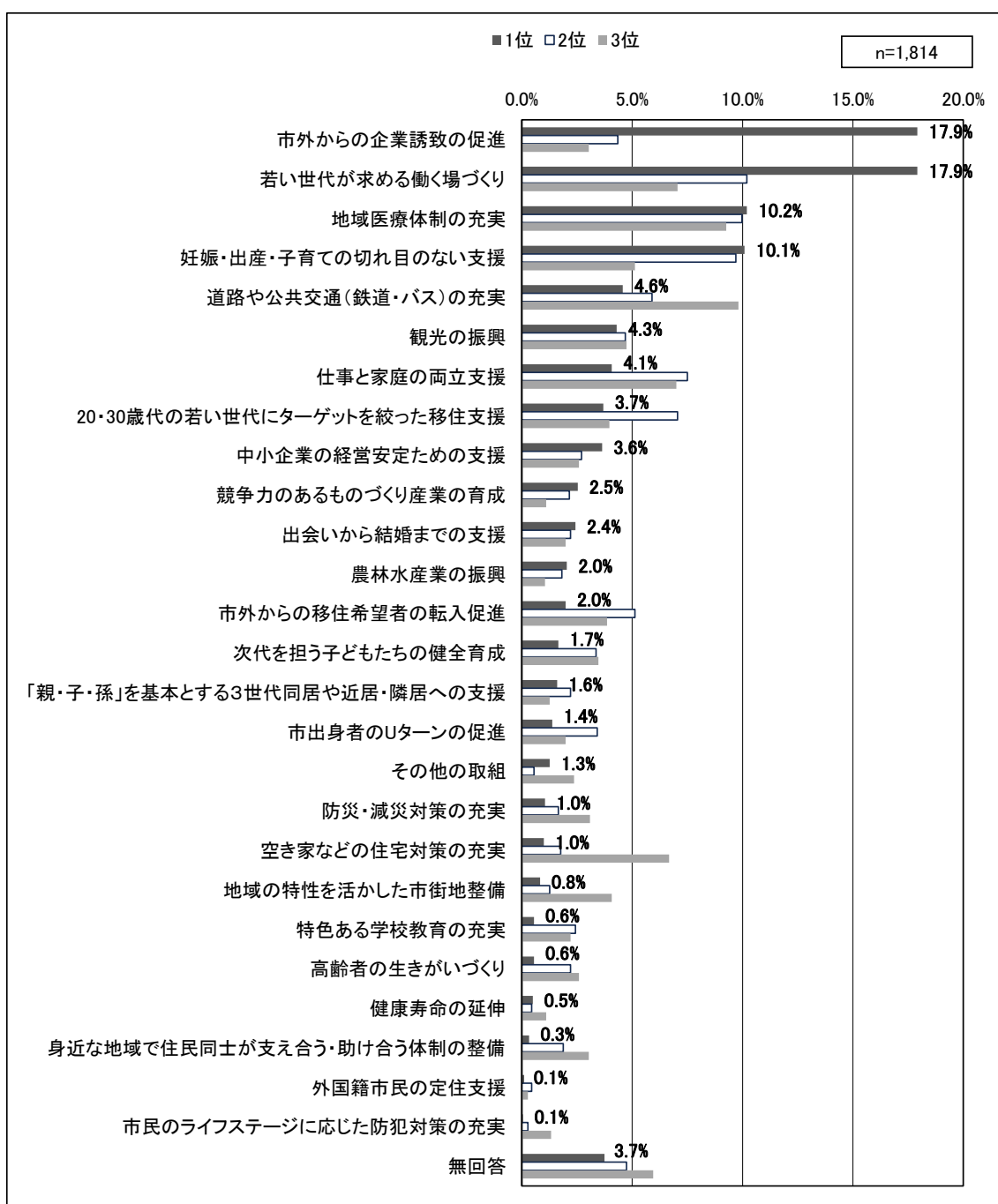
		(%)				n
		よく知っていた	ある程度知っていた	あまり知らなかった	まったく知らなかった	無回答
全体		13.2	50.6	23.0	11.8	1,814
性別	男性	16.7	52.1	17.7	11.7	802
	女性	10.2	49.4	27.3	11.9	996
	その他	50.0		50.0		2
年齢	10代	11.1	51.9	14.8	22.2	27
	20代	11.7	39.8	25.0	23.0	196
	30代	16.6	42.9	18.9	20.7	217
	40代	8.6	47.3	29.2	14.4	474
	50代	14.6	47.6	24.5	12.6	294
	60代	12.4	56.3	23.4	7.0	355
	70歳以上	14.6	57.6	20.0	4.4	474
居住地	中郷町	11.2	51.4	23.6	13.1	624
	磯原町	15.8	47.5	22.7	12.6	493
	華川町	16.0	51.5	22.5	8.3	169
	関南町	10.6	56.7	24.0	6.7	104
	大津町	10.3	49.2	26.5	11.9	185
	平潟町	16.3	57.5	16.3	8.8	80
	関本町	14.3	51.0	19.7	12.9	147

問 12) あなたは、今後の北茨城市の人口減少を抑えるために、行政がどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。次の中から優先順位の高い順に1位から3位まで選び、下の回答欄にその番号を記入してください。

— 「市外からの企業誘致の促進」と「若い世代が求める働く場づくり」が
同率で多数となった—

○ 1位に挙げられたのは、「市外からの企業誘致の促進」と「若い世代が求める働く場づくり」が17.9%で同率となり、次いで「地域医療体制の充実（10.2%）」、「妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援（10.1%）」となっています。

図表 4-2 人口減少を抑えるための行政の取組

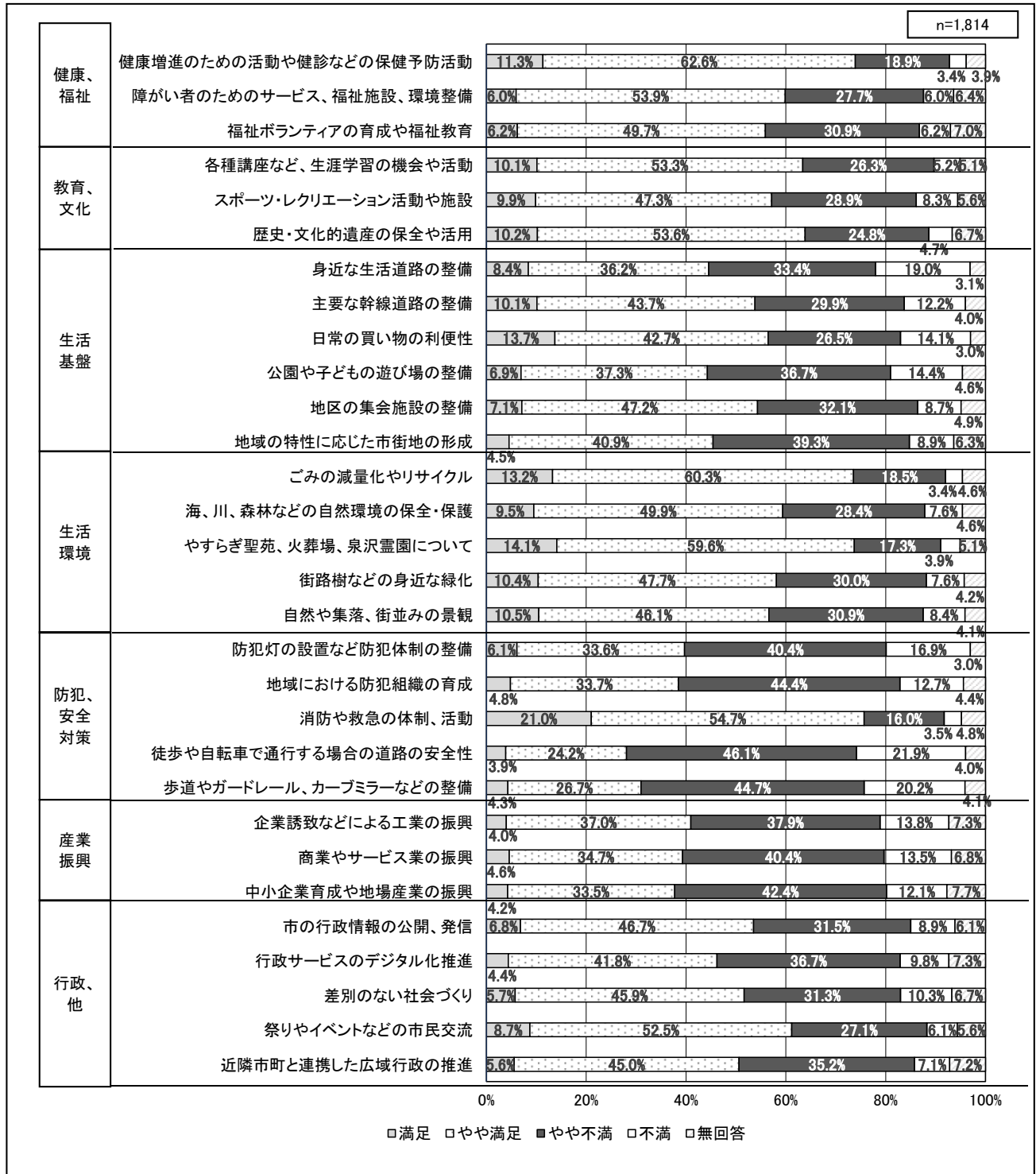


5 市民生活やまちづくりに対する評価と今後、行政が特に力を入れるべき取組

問 13-1) 現在の市民生活やまちづくりに対する「満足度」について、1から30のそれぞれの項目ごとに、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。

— 「健康、福祉」、「教育文化」、「生活環境」の満足度が相対的に高い—

図表5 現在の市民生活やまちづくりに対する満足度



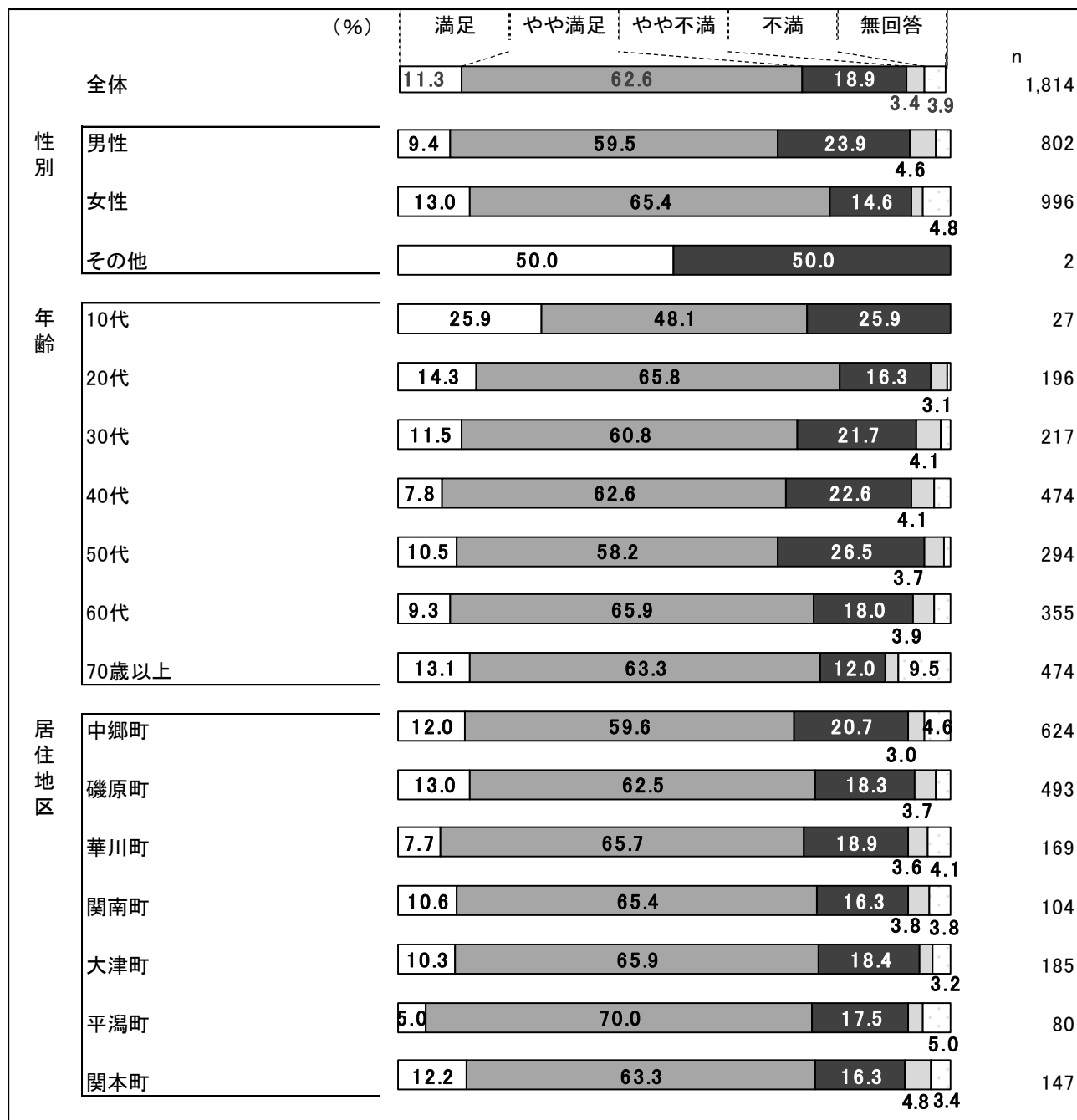
1) 健康増進のための活動や健診などの保健予防活動

— 「満足」、「やや満足」の合計が73.9%と、
「やや不満」、「不満」の合計(22.3%)を上回った—

○年齢別では20歳代の「満足」、「やや満足」の合計割合(80.1%)が最も高い一方、50代の同割合(68.7%)が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合(76.2%)が最も高い一方、中郷町の同割合(71.6%)が最も低くなっています。

図表5-1-1 健康増進のための活動や健診などの保健予防活動



2) 障がい者のためのサービス、福祉施設、環境整備

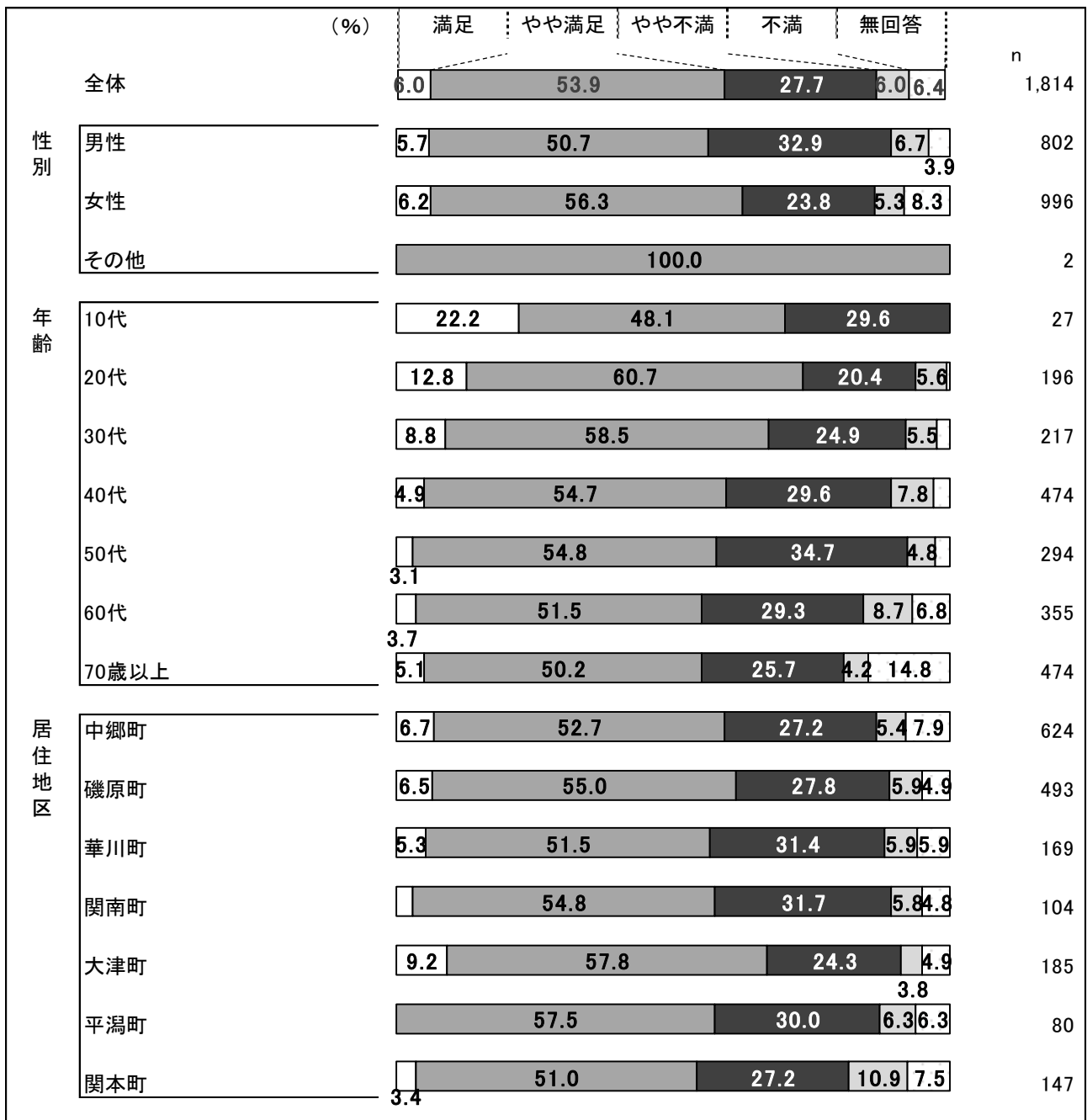
— 「満足」、「やや満足」の合計が59.9%と、

「やや不満」、「不満」の合計(33.7%)を上回った—

○年齢別では20代の「満足」、「やや満足」の合計割合(73.5%)が最も高い一方、60代の同割合(55.2%)が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合(67.0%)が最も高い一方、関本町の同割合(54.4%)が最も低くなっています。

図表5-1-2 障がい者のためのサービス、福祉施設、環境整備



3) 福祉ボランティアの育成や福祉教育

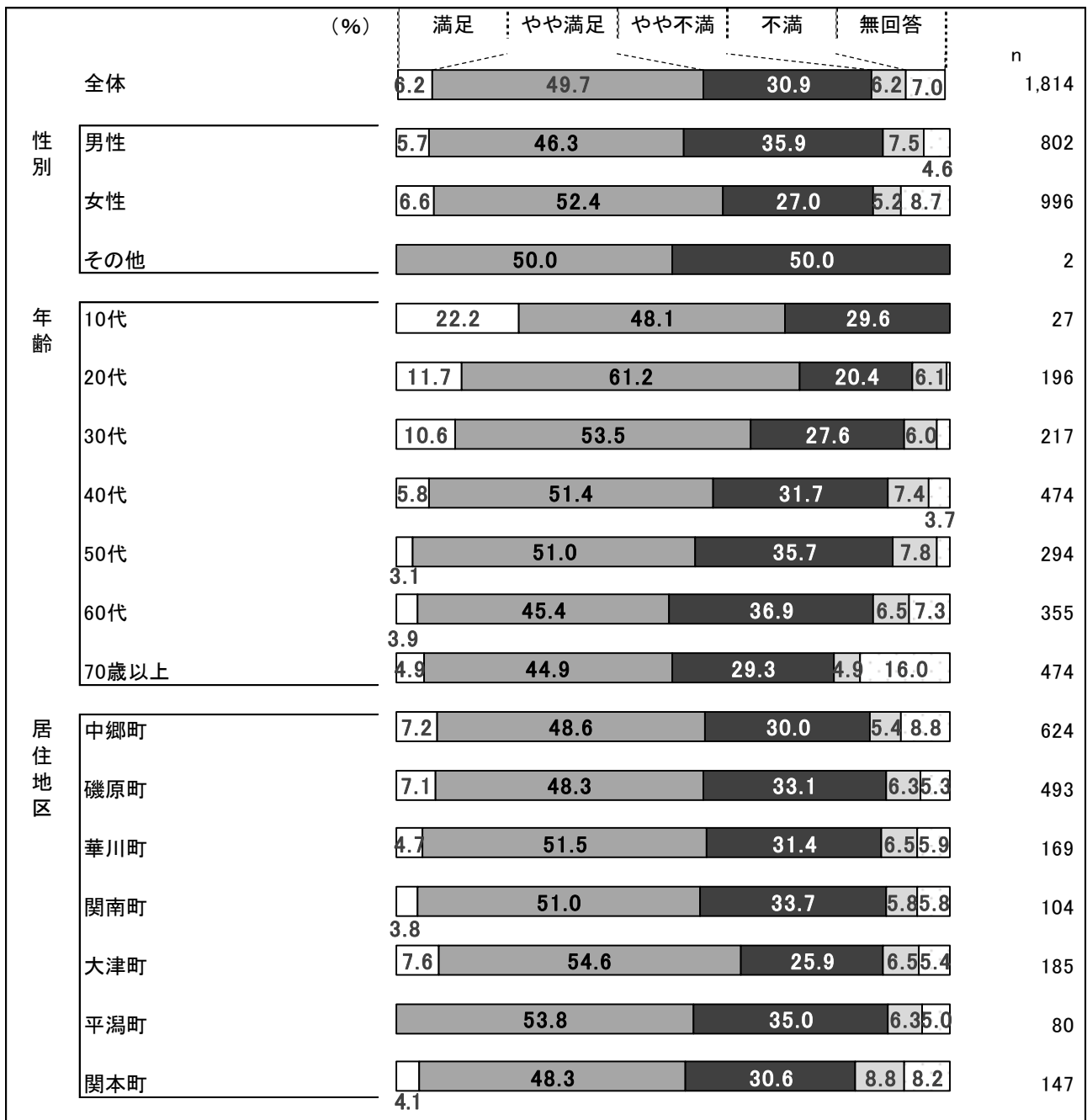
— 「満足」、「やや満足」の合計が55.9%と、

「やや不満」、「不満」の合計(37.1%)を上回った—

○年齢別では20代の「満足」、「やや満足」の合計割合(72.9%)が最も高い一方、60代の同割合(49.3%)が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合(62.2%)が最も高い一方、関本町の同割合(52.4%)が最も低くなっています。

図表5-1-3 福祉ボランティアの育成や福祉教育



4) 各種講座など、生涯学習の機会や活動

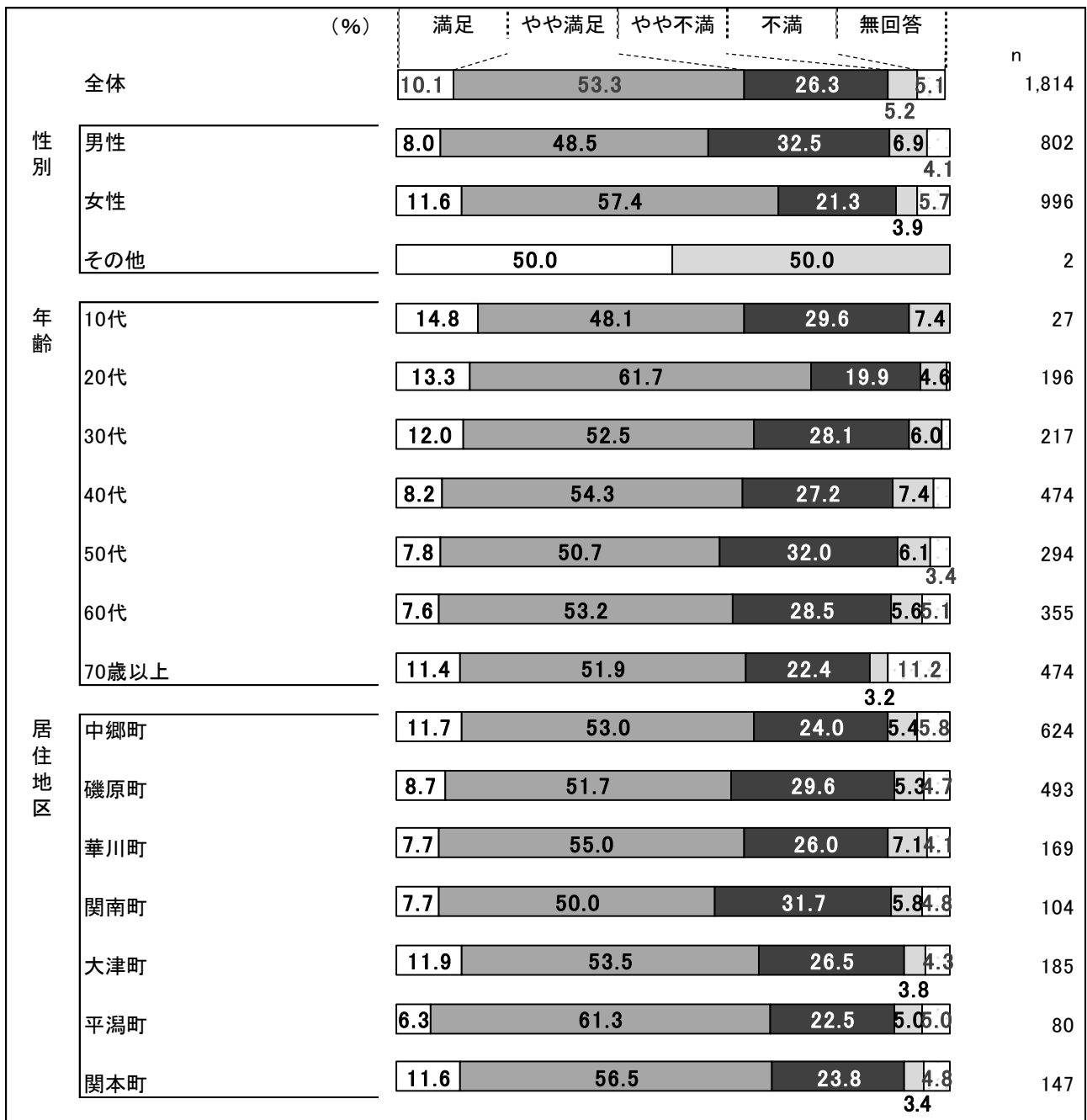
— 「満足」、「やや満足」の合計が63.4%と、

「やや不満」、「不満」の合計(31.5%)を上回った—

○年齢別では20代の「満足」、「やや満足」の合計割合(75.0%)が最も高い一方、50代の同割合(58.5%)が最も低くなっています。

○居住地区別では関本町の「満足」、「やや満足」の合計割合(68.1%)が最も高い一方、関南町の同割合(57.7%)が最も低くなっています。

図表5-1-4 各種講座など、生涯学習の機会や活動



5) スポーツ・レクリエーション活動や施設

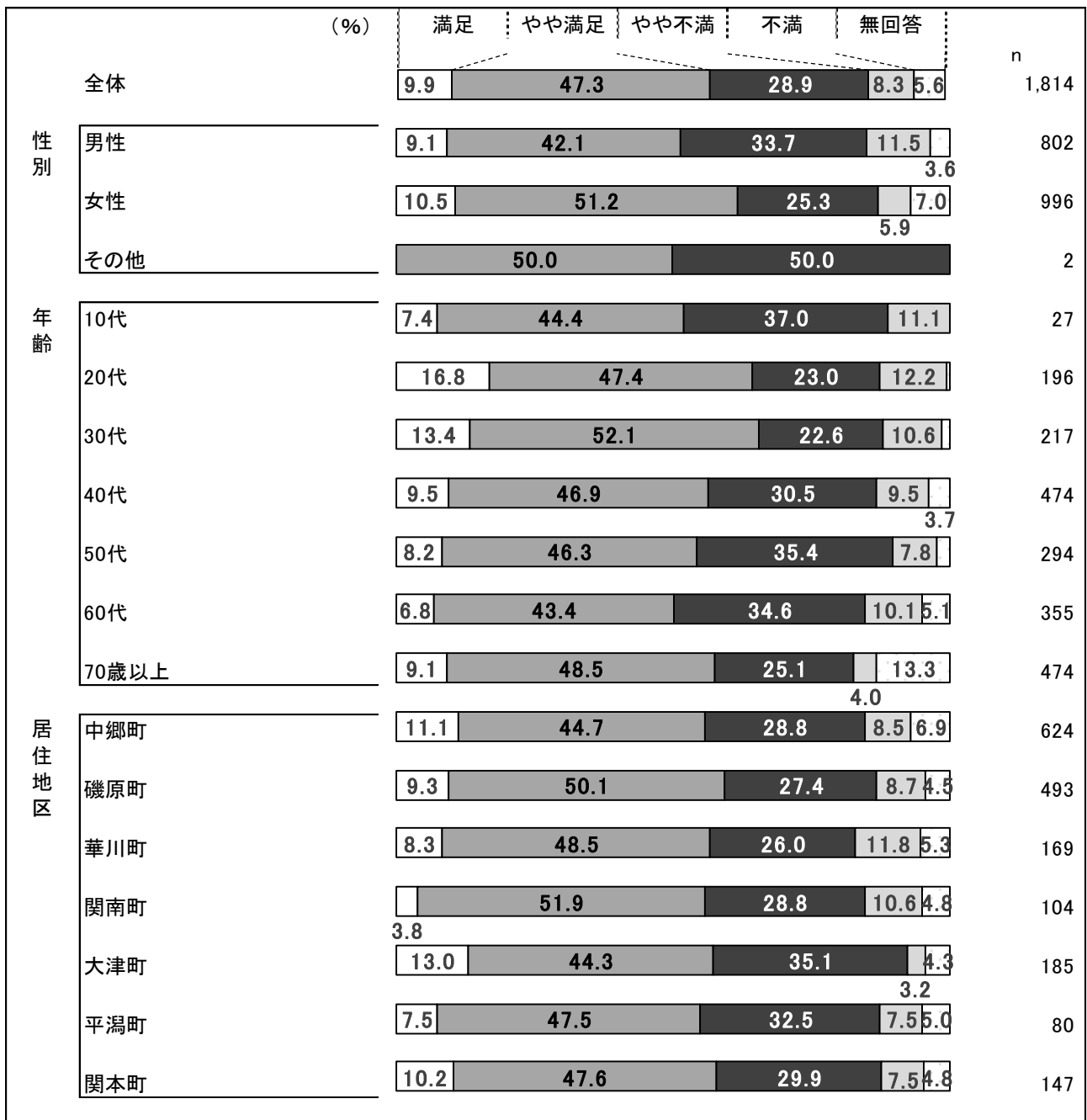
— 「満足」、「やや満足」の合計が57.2%と、

「やや不満」、「不満」の合計(37.2%)を上回った—

○年齢別では30代の「満足」、「やや満足」の合計割合(65.5%)が最も高い一方、60代の同割合(50.2%)が最も低くなっています。

○居住地区別では磯原町の「満足」、「やや満足」の合計割合(59.4%)が最も高い一方、平潟町の同割合(55.0%)が最も低くなっています。

図表5-1-5 スポーツ・レクリエーション活動や施設



6) 歴史・文化的遺産の保全や活用

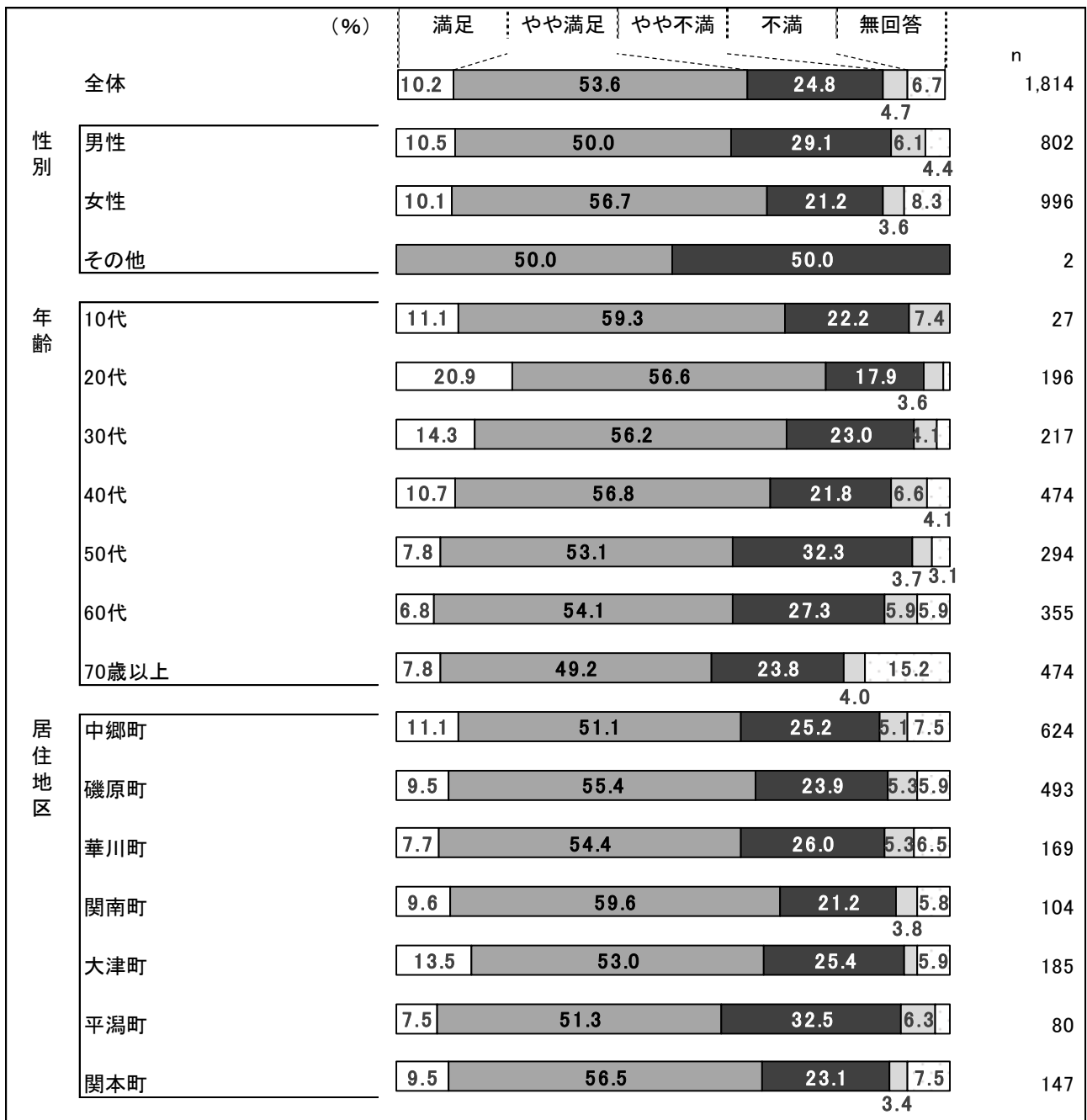
— 「満足」、「やや満足」の合計が63.8%と、

「やや不満」、「不満」の合計(29.5%)を上回った—

○年齢別では20代の「満足」、「やや満足」の合計割合(77.5%)が最も高い一方、70歳以上の同割合(57.0%)が最も低くなっています。

○居住地区別では関南町の「満足」、「やや満足」の合計割合(69.2%)が最も高い一方、平潟町の同割合(58.8%)が最も低くなっています。

図表5-1-6 歴史・文化的遺産の保全や活用



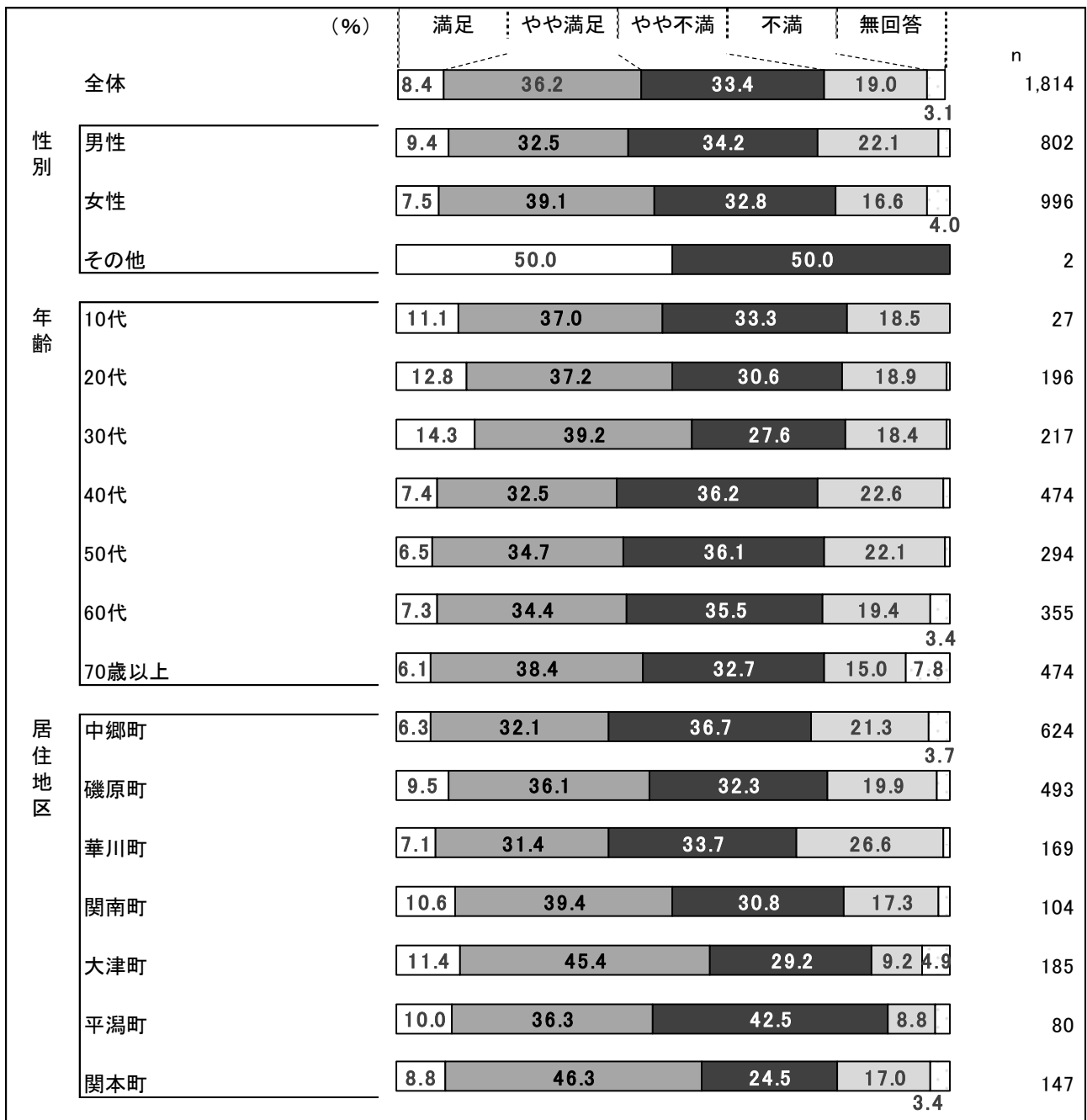
7) 身近な生活道路の整備

— 「満足」、「やや満足」の合計が44.6%と、
「やや不満」、「不満」の合計(52.4%)を下回った—

○年齢別では30代の「満足」、「やや満足」の合計割合(53.5%)が最も高い一方、40代の同割合(39.9%)が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合(56.8%)が最も高い一方、中郷町の同割合(38.4%)が最も低くなっています。

図表5-1-7 身近な生活道路の整備



8) 主要な幹線道路の整備

— 「満足」、「やや満足」の合計が53.8%と、

「やや不満」、「不満」の合計(42.1%)を上回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合(66.6%)が最も高い一方、40代の同割合(47.0%)が最も低くなっています。

○居住地区別では関本町の「満足」、「やや満足」の合計割合(65.9%)が最も高い一方、中郷町の同割合(47.1%)が最も低くなっています。

図表5-1-8 主要な幹線道路の整備

		(%)					n
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
性別	全体	10.1	43.7	29.9	12.2	4.0	1,814
	男性	9.9	40.8	32.5	14.3		802
	女性	10.3	46.1	27.9	10.5	5.1	996
	その他		50.0		50.0		2
年齢	10代	18.5	48.1	18.5	14.8		27
	20代	10.2	44.9	29.1	14.8		196
	30代	18.0	46.5	27.2	7.4		217
	40代	9.1	37.9	35.8	15.2		474
	50代	8.2	41.2	35.7	14.3		294
	60代	9.6	42.0	29.9	14.6	3.9	355
	70歳以上	8.2	47.3	25.9	8.4	10.1	474
居住地区	中郷町	8.5	38.6	34.0	15.1	3.8	624
	磯原町	10.5	43.0	30.2	12.8	3.4	493
	華川町	7.7	40.8	32.5	14.8	4.1	169
	関南町	10.6	52.9	22.1	9.6	4.8	104
	大津町	13.5	49.7	26.5	5.9	4.3	185
	平潟町	13.8	47.5	31.3	5.0		80
	関本町	12.2	53.7	19.0	9.5	5.4	147

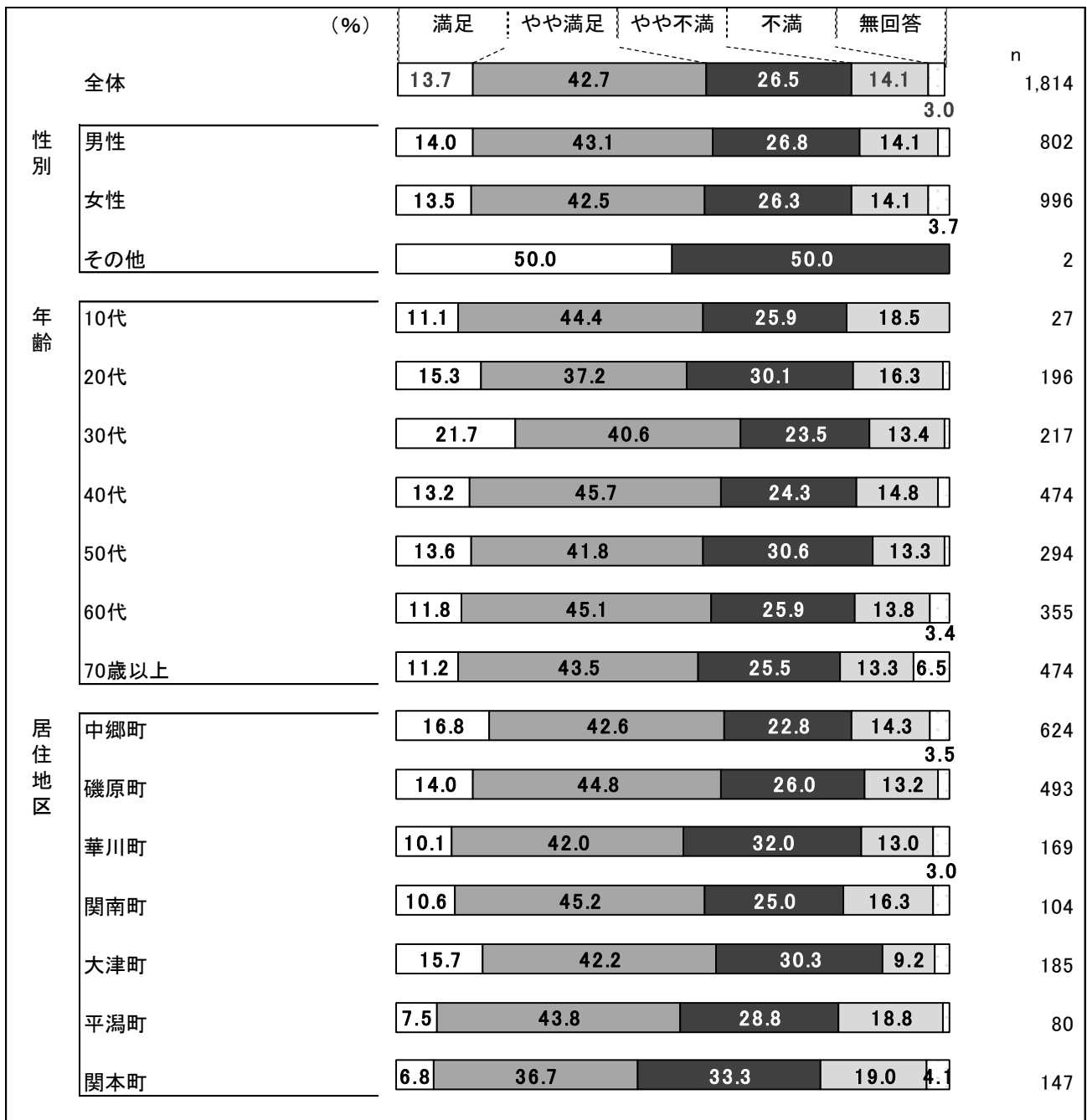
9) 日常の買い物の利便性

— 「満足」、「やや満足」の合計が56.4%と、
「やや不満」、「不満」の合計(40.6%)を上回った—

○年齢別では30代の「満足」、「やや満足」の合計割合(62.3%)が最も高い一方、20代の同割合(52.5%)が最も低くなっています。

○居住地区別では中郷町の「満足」、「やや満足」の合計割合(59.4%)が最も高い一方、関本町の同割合(43.5%)が最も低くなっています。

図表5-1-9 日常の買い物の利便性



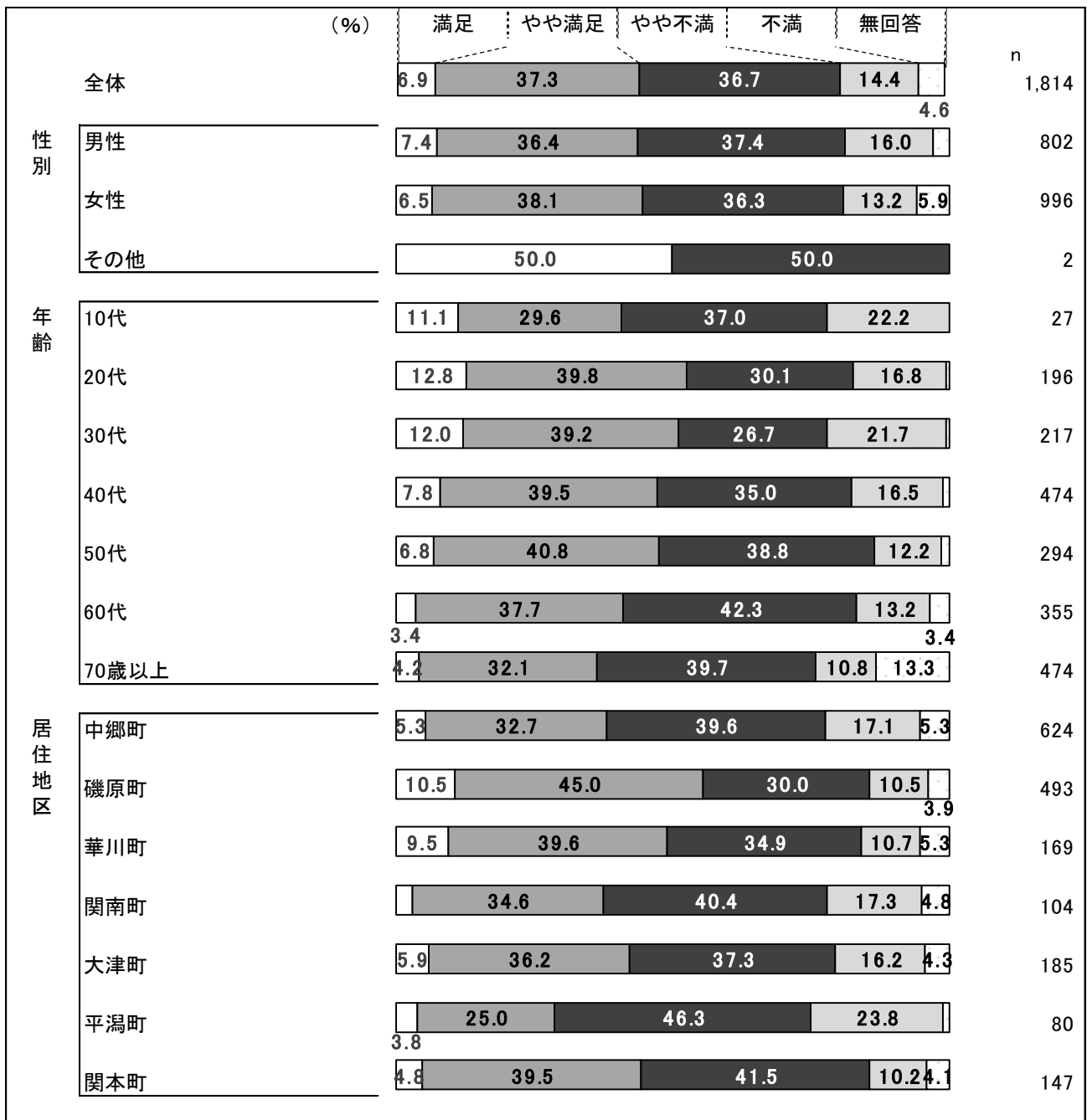
10) 公園や子どもの遊び場の整備

— 「満足」、「やや満足」の合計が44.2%と、
「やや不満」、「不満」の合計(51.1%)を下回った—

○年齢別では20代の「満足」、「やや満足」の合計割合(52.6%)が最も高い一方、70歳以上の同割合(36.3%)が最も低くなっています。

○居住地区別では磯原町の「満足」、「やや満足」の合計割合(55.5%)が最も高い一方、平潟町の同割合(28.8%)が最も低くなっています。

図表5-1-10 公園や子どもの遊び場の整備



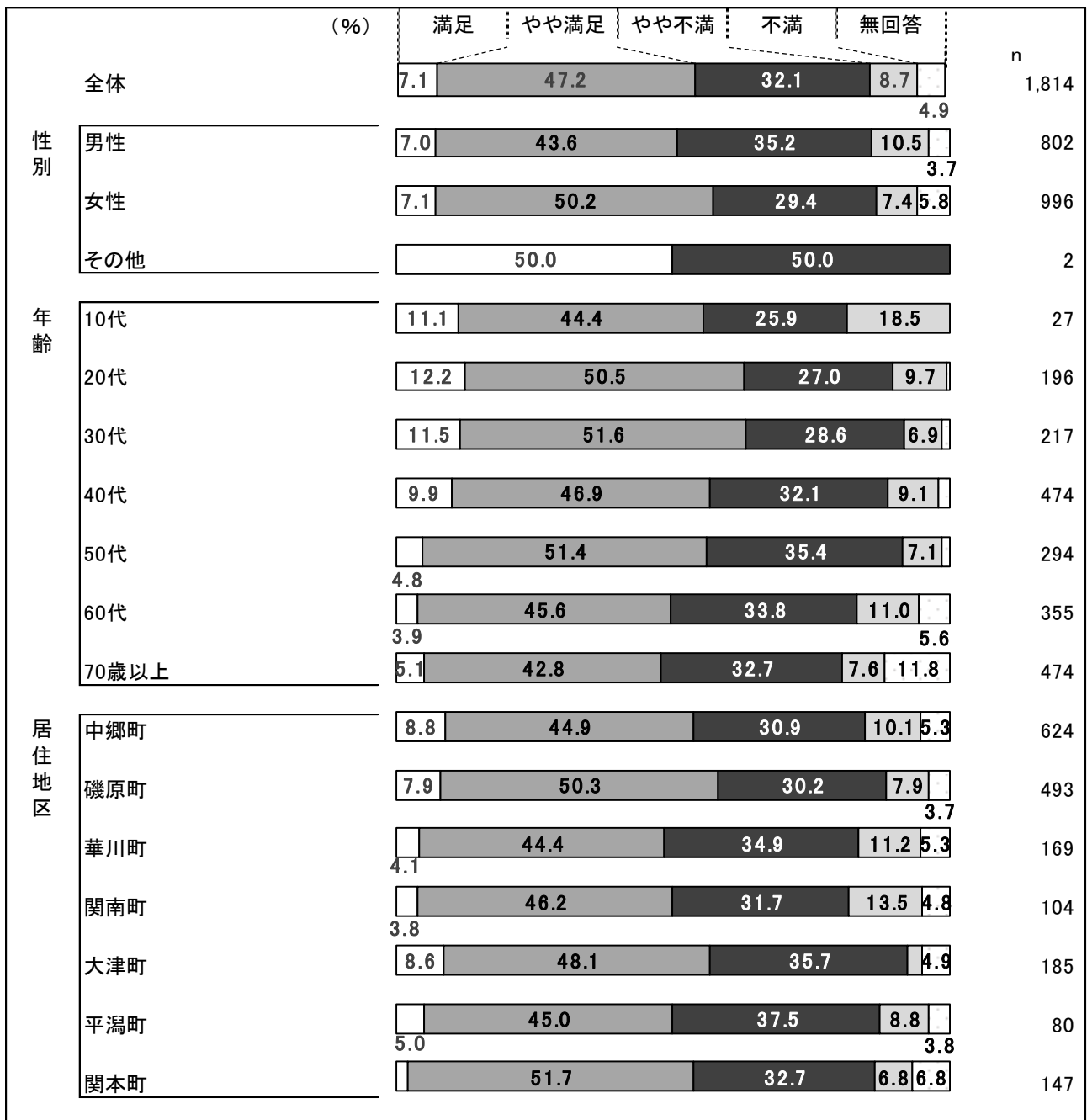
11) 地区の集会施設の整備

— 「満足」、「やや満足」の合計が54.3%と、
 「やや不満」、「不満」の合計（40.8%）を上回った—

○年齢別では30代の「満足」、「やや満足」の合計割合（63.1%）が最も高い一方、70歳以上の同割合（47.9%）が最も低くなっています。

○居住地区別では磯原町の「満足」、「やや満足」の合計割合（58.2%）が最も高い一方、華川町の同割合（48.5%）が最も低くなっています。

図表5-1-11 地区の集会施設の整備



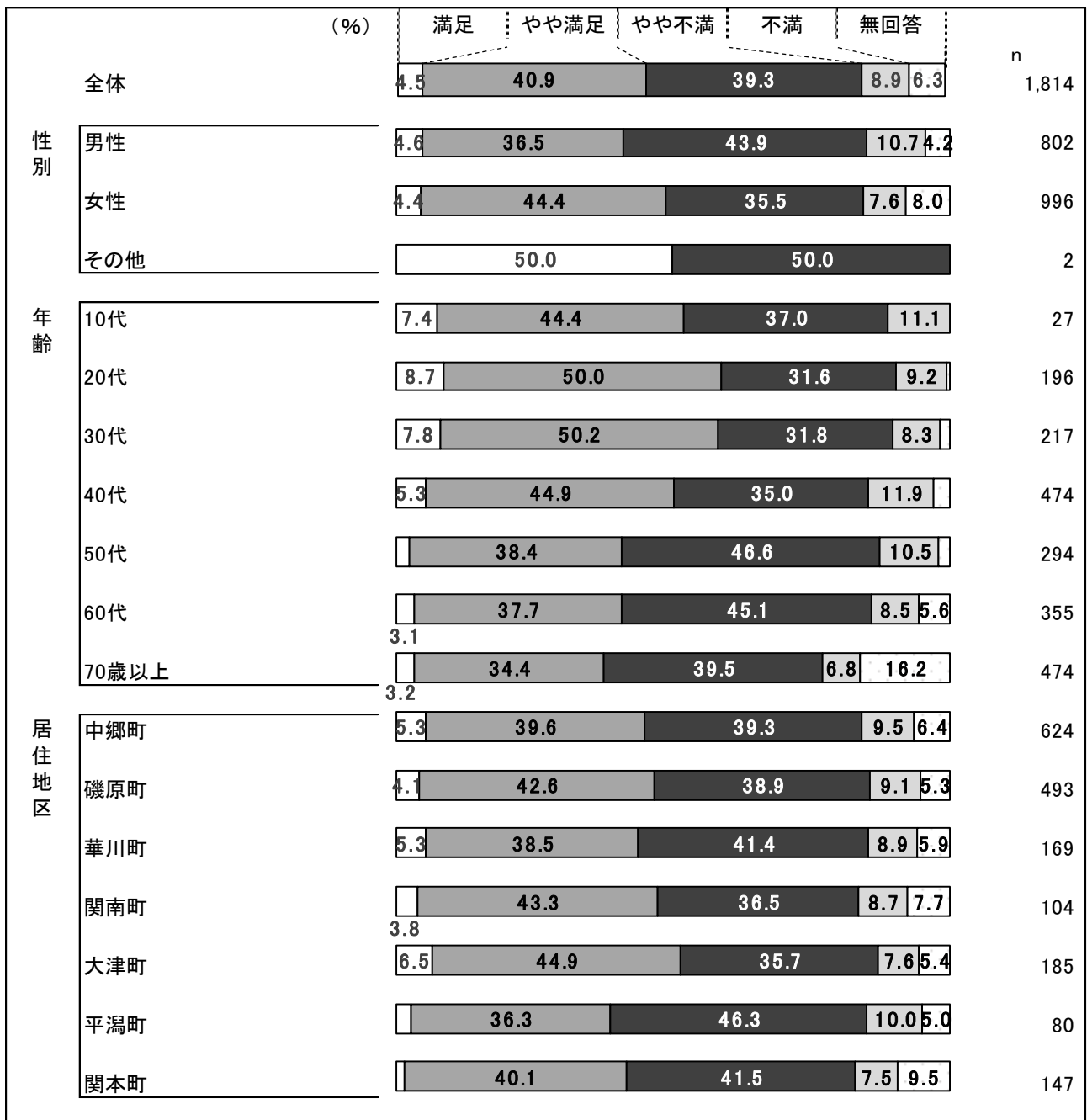
12) 地域の特性に応じた市街地の形成

— 「満足」、「やや満足」の合計が45.4%と、
 「やや不満」、「不満」の合計（48.2%）を下回った—

○年齢別では20代の「満足」、「やや満足」の合計割合（58.7%）が最も高い一方、70歳以上の同割合（37.6%）が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合（51.4%）が最も高い一方、平潟町の同割合（38.8%）が最も低くなっています。

図表5-1-12 地域の特性に応じた市街地の形成



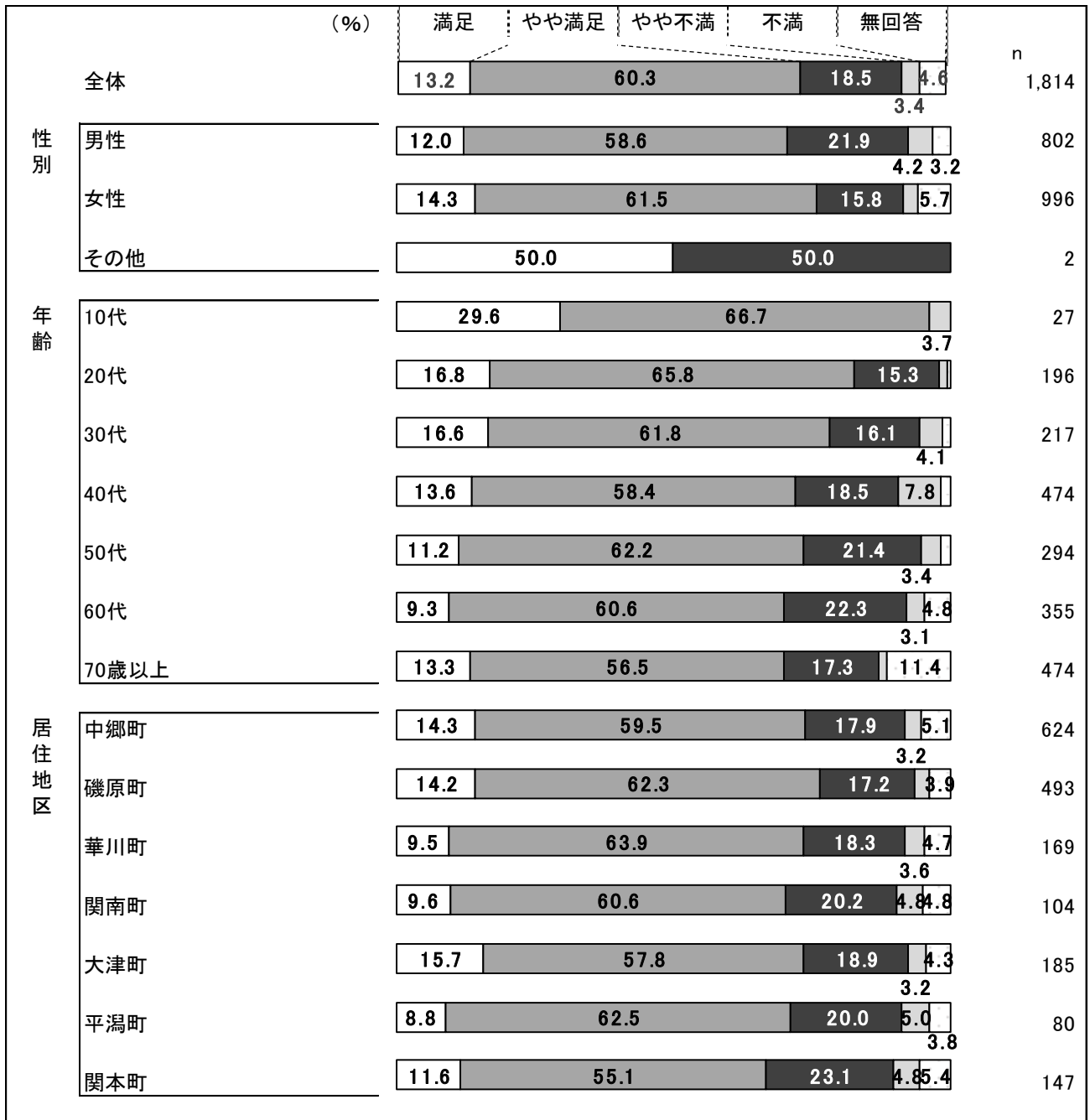
13) ごみの減量化やリサイクル

— 「満足」、「やや満足」の合計が73.5%と、
「やや不満」、「不満」の合計(21.9%)を上回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合(96.3%)が最も高い一方、70歳以上の同割合(69.8%)が最も低くなっています。

○居住地区別では磯原町の「満足」、「やや満足」の合計割合(76.5%)が最も高い一方、関本町の同割合(66.7%)が最も低くなっています。

図表5-1-13 ごみの減量化やリサイクル



14) 海、川、森林などの自然環境の保全・保護

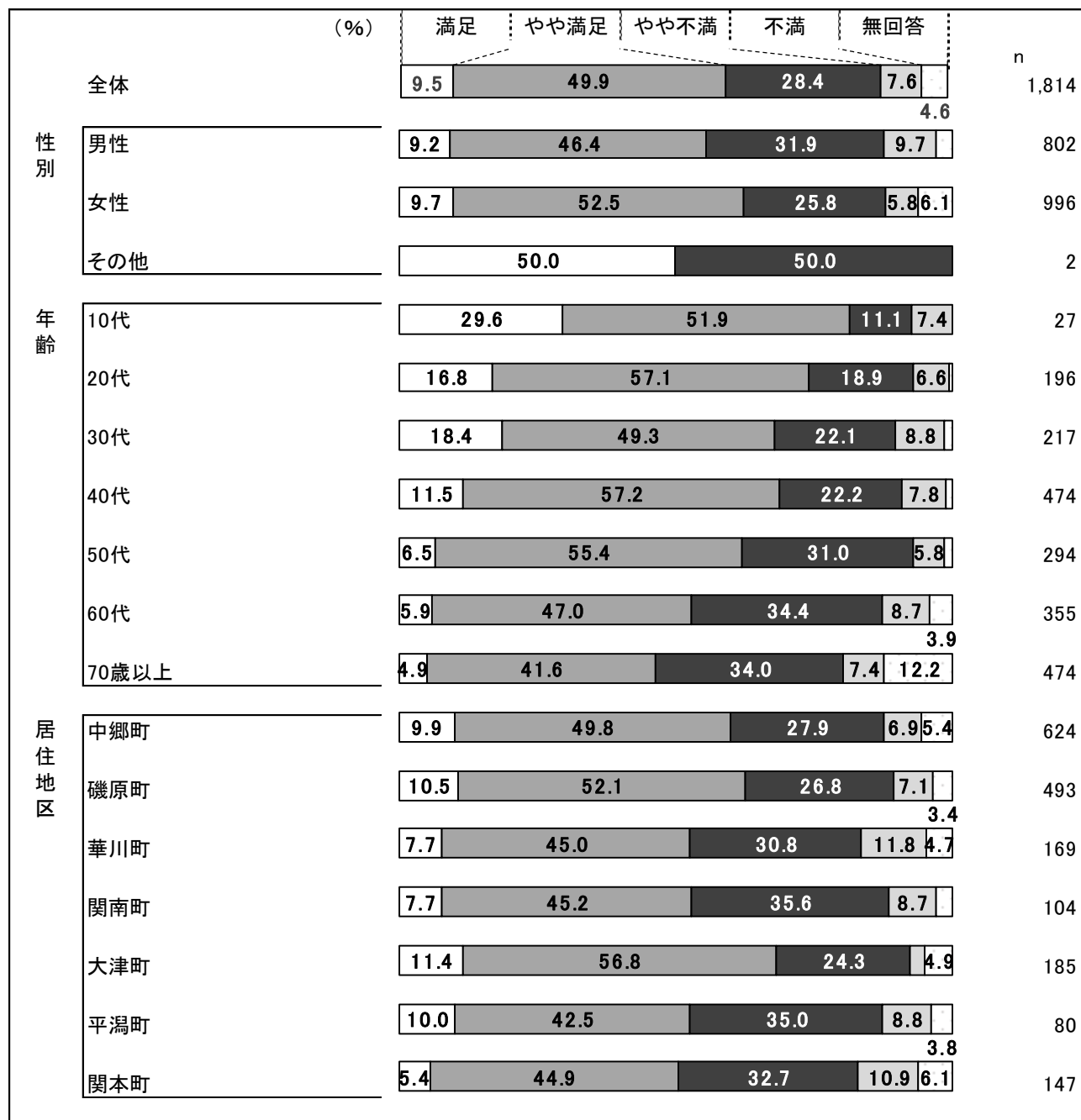
— 「満足」、「やや満足」の合計が59.4%と、

「やや不満」、「不満」の合計(36.0%)を上回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合(81.5%)が最も高い一方、70歳以上の同割合(46.5%)が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合(68.2%)が最も高い一方、関本町の同割合(50.3%)が最も低くなっています。

図表5-1-14 海、川、森林などの自然環境の保全・保護



15) やすらぎ聖苑、火葬場、泉沢霊園について

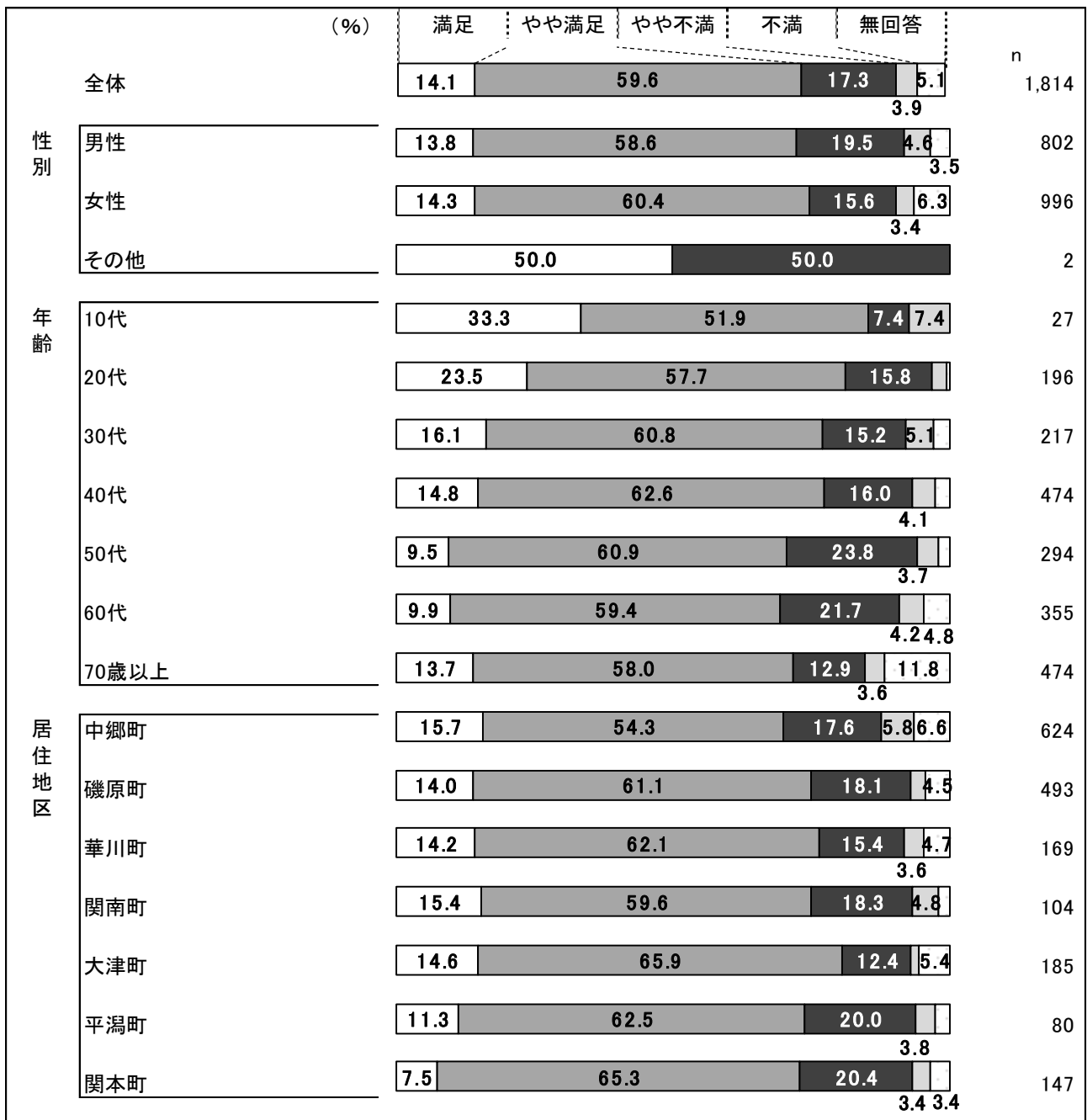
— 「満足」、「やや満足」の合計が73.7%と、

「やや不満」、「不満」の合計(21.2%)を上回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合(85.2%)が最も高い一方、60代の同割合(69.3%)が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合(80.5%)が最も高い一方、中郷町の同割合(70.0%)が最も低くなっています。

図表5-1-15 やすらぎ聖苑、火葬場、泉沢霊園について



16) 街路樹などの身近な緑化

— 「満足」、「やや満足」の合計が58.1%と、
「やや不満」、「不満」の合計(37.6%)を上回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合(77.8%)が最も高い一方、70歳以上の同割合(49.6%)が最も低くなっています。

○居住地区別では関本町の「満足」、「やや満足」の合計割合(63.3%)が最も高い一方、平潟町の同割合(47.5%)が最も低くなっています。

図表5-1-16 街路樹などの身近な緑化

		(%)					n
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
全体		10.4	47.7	30.0	7.6	4.2	1,814
性別	男性	10.6	45.1	32.7	8.7		802
	女性	10.0	49.8	28.1	6.7	5.3	996
	その他		50.0		50.0		2
年齢	10代	25.9	51.9	14.8	7.4		27
	20代	20.4	50.0	18.9	10.2		196
	30代	18.4	47.5	25.8	7.4		217
	40代	11.5	51.4	29.2	5.8		474
	50代	6.1	51.4	34.0	7.5		294
	60代	5.9	47.3	34.1	8.5		355
	70歳以上	6.8	42.8	32.9	6.8	10.8	474
居住地区	中郷町	9.9	49.4	28.0	8.3	4.3	624
	磯原町	11.8	44.8	31.6	8.1		493
	華川町	10.7	45.6	31.4	8.9		169
	関南町	9.6	48.1	29.8	8.7		104
	大津町	8.1	51.9	31.9	4.3		185
	平潟町	7.5	40.0	45.0			80
	関本町	10.2	53.1	23.8	6.8	6.1	147

17) 自然や集落、街並みの景観

— 「満足」、「やや満足」の合計が56.6%と、

「やや不満」、「不満」の合計(39.3%)を上回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合(74.0%)が最も高い一方、60代の同割合(47.9%)が最も低くなっています。

○居住地区別では関本町の「満足」、「やや満足」の合計割合(59.1%)が最も高い一方、平潟町の同割合(51.3%)が最も低くなっています。

図表5-1-17 自然や集落、街並みの景観

		(%)					n
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
性別	全体	10.5	46.1	30.9	8.4	4.1	1,814
	男性	11.0	43.3	33.2	9.7		802
	女性	10.0	48.4	29.1	7.4	5.0	996
	その他	50.0		50.0			2
年齢	10代	37.0	37.0	14.8	7.4	3.7	27
	20代	19.4	49.5	18.9	11.7		196
	30代	19.8	47.5	24.9	6.9		217
	40代	11.9	53.1	26.3	7.0		474
	50代	6.8	46.3	36.7	9.2		294
	60代	5.1	42.8	39.4	8.7	3.9	355
	70歳以上	6.5	43.2	32.3	7.6	10.3	474
居住地区	中郷町	10.4	47.0	30.9	7.1	4.6	624
	磯原町	11.2	43.6	33.5	8.7	3.0	493
	華川町	8.3	50.3	27.8	10.1	3.6	169
	関南町	11.5	47.1	23.1	14.4	3.8	104
	大津町	9.2	47.0	33.0	5.9	4.9	185
	平潟町	8.8	42.5	37.5	8.8		80
	関本町	12.2	46.9	26.5	9.5	4.8	147

18) 防犯灯の設置など防犯体制の整備

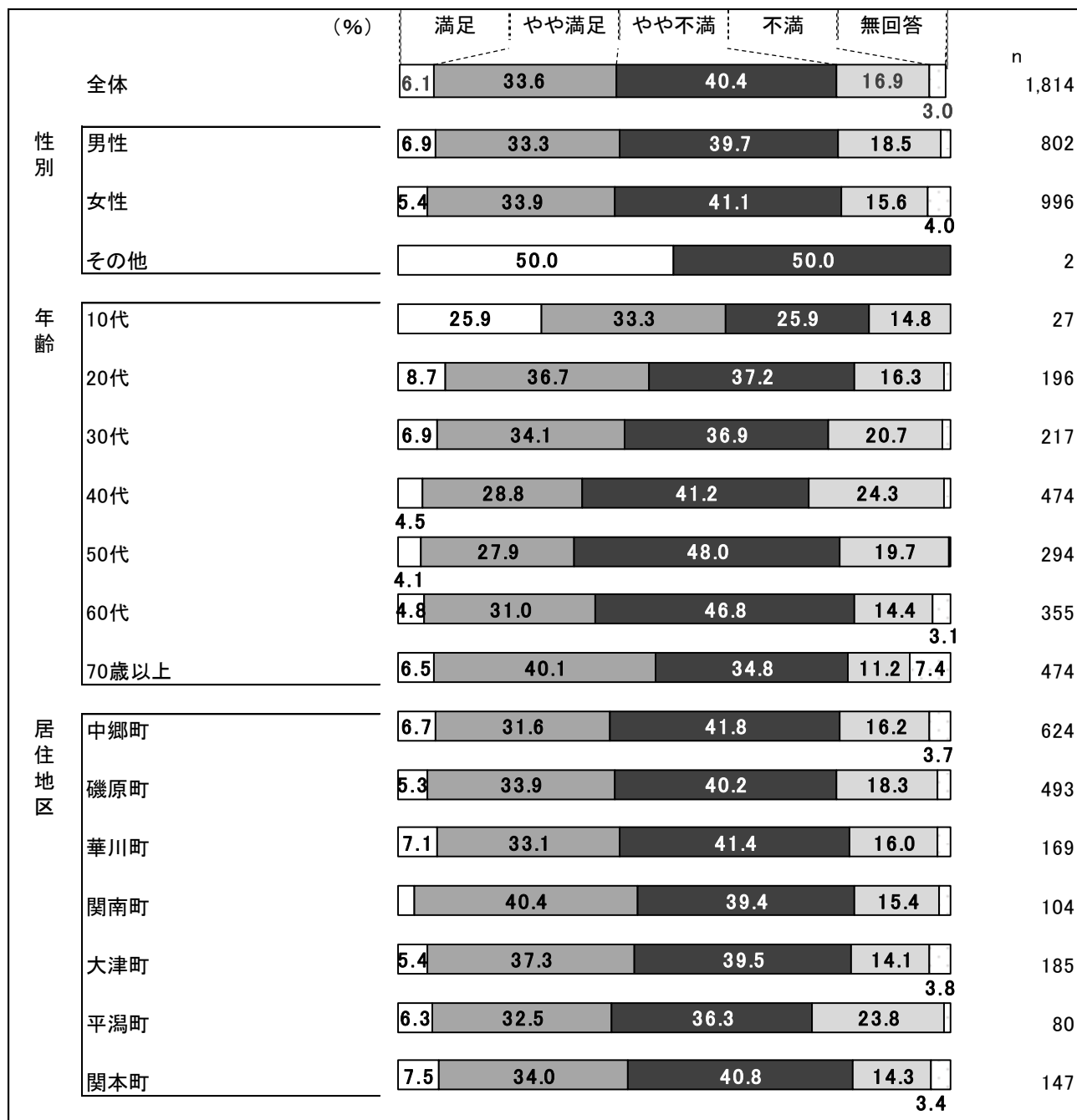
— 「満足」、「やや満足」の合計が39.7%と、

「やや不満」、「不満」の合計(57.3%)を下回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合(59.2%)が最も高い一方、50代の同割合(32.0%)が最も低くなっています。

○居住地区別では関南町の「満足」、「やや満足」の合計割合(43.3%)が最も高い一方、中郷町の同割合(38.3%)が最も低くなっています。

図表5-1-18 防犯灯の設置など防犯体制の整備



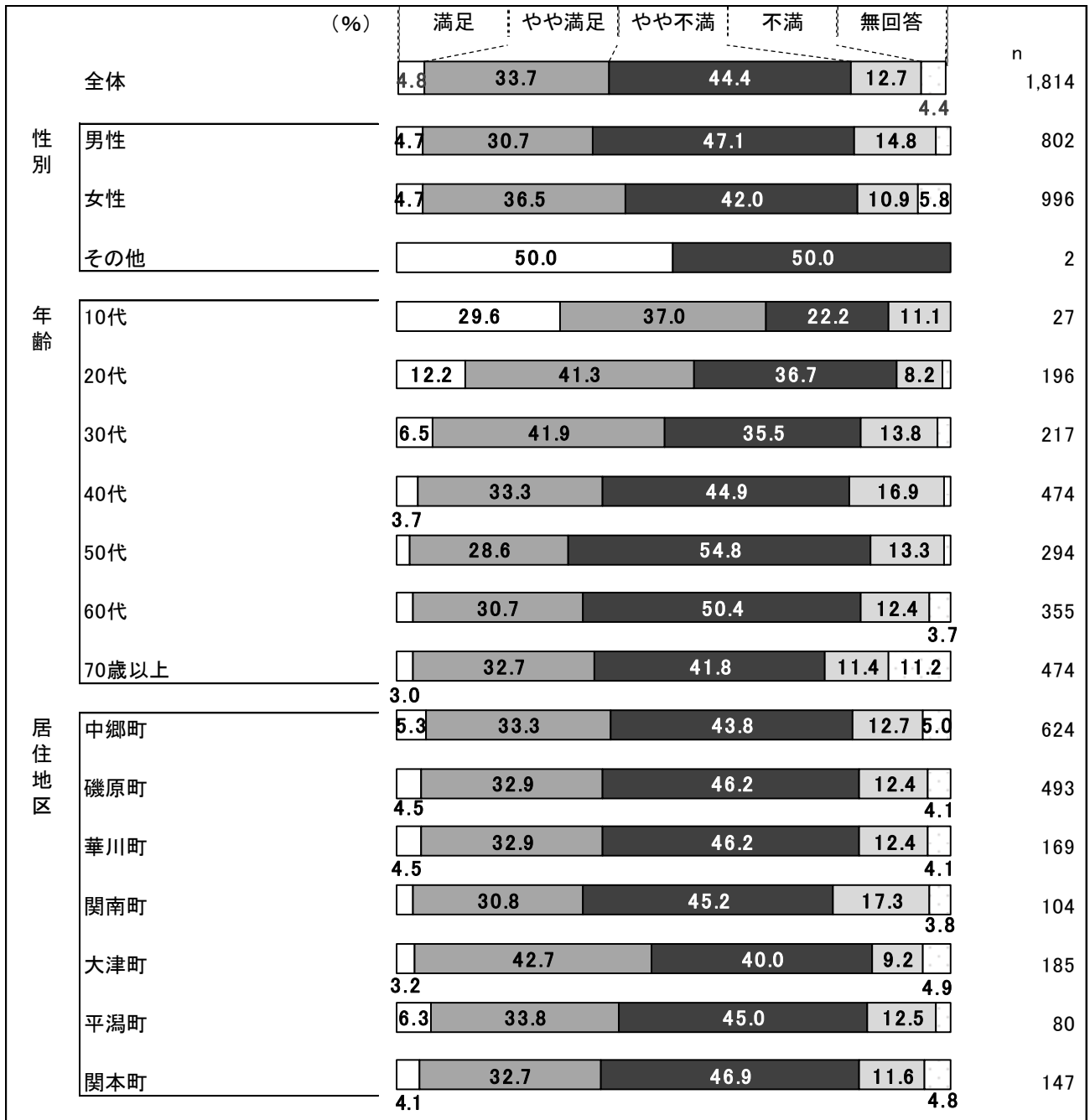
19) 地域における防犯組織の育成

— 「満足」、「やや満足」の合計が38.5%と、
 「やや不満」、「不満」の合計(57.1%)を下回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合(66.6%)が最も高い一方、50代の同割合(31.0%)が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合(45.9%)が最も高い一方、関南町の同割合(33.7%)が最も低くなっています。

図表5-1-19 地域における防犯組織の育成



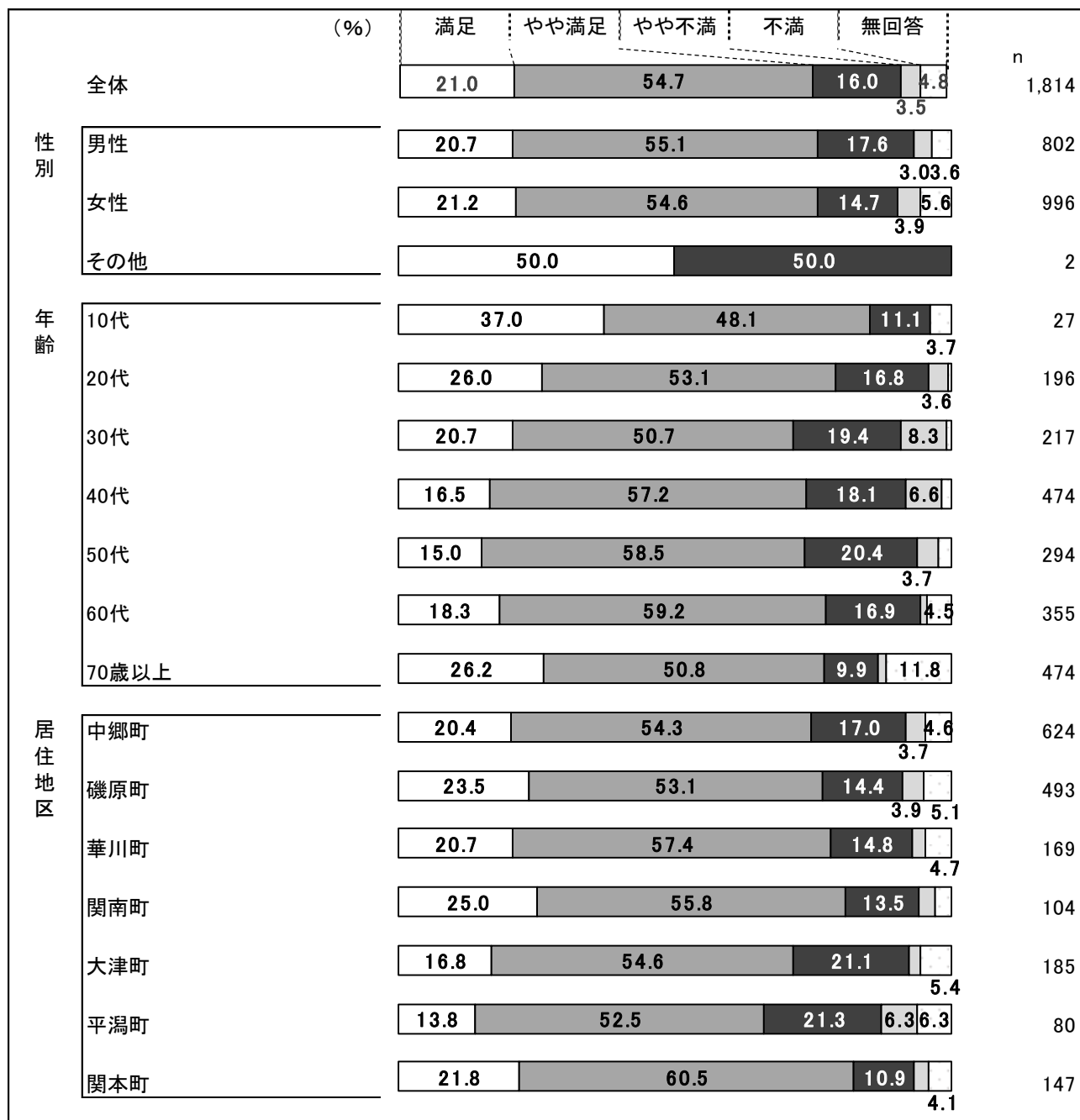
20) 消防や救急の体制、活動

— 「満足」、「やや満足」の合計が75.7%と、
「やや不満」、「不満」の合計（19.5%）を上回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合（85.1%）が最も高い一方、30代の同割合（71.4%）が最も低くなっています。

○居住地区別では関本町の「満足」、「やや満足」の合計割合（82.3%）が最も高い一方、平潟町の同割合（66.3%）が最も低くなっています。

図表5-1-20 消防や救急の体制、活動



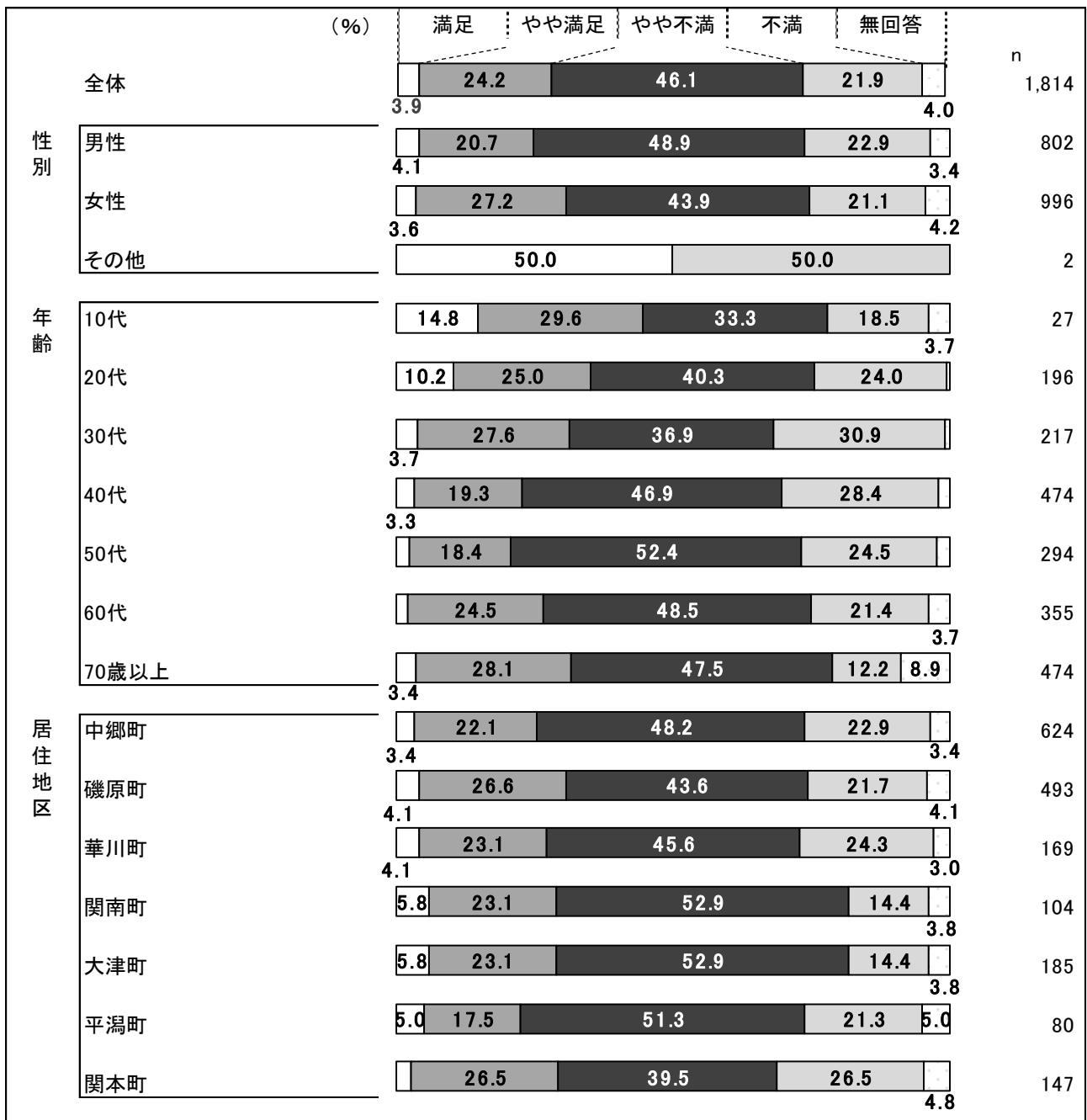
21) 徒歩や自転車で通行する場合の道路の安全性

— 「満足」、「やや満足」の合計が28.1%と、
「やや不満」、「不満」の合計（68.0%）を下回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合（44.4%）が最も高い一方、50代の同割合（20.8%）が最も低くなっています。

○居住地区別では磯原町の「満足」、「やや満足」の合計割合（30.7%）が最も高い一方、平潟町の同割合（22.5%）が最も低くなっています。

図表5-1-21 徒歩や自転車で通行する場合の道路の安全性



22) 歩道やガードレール、カーブミラーなどの整備

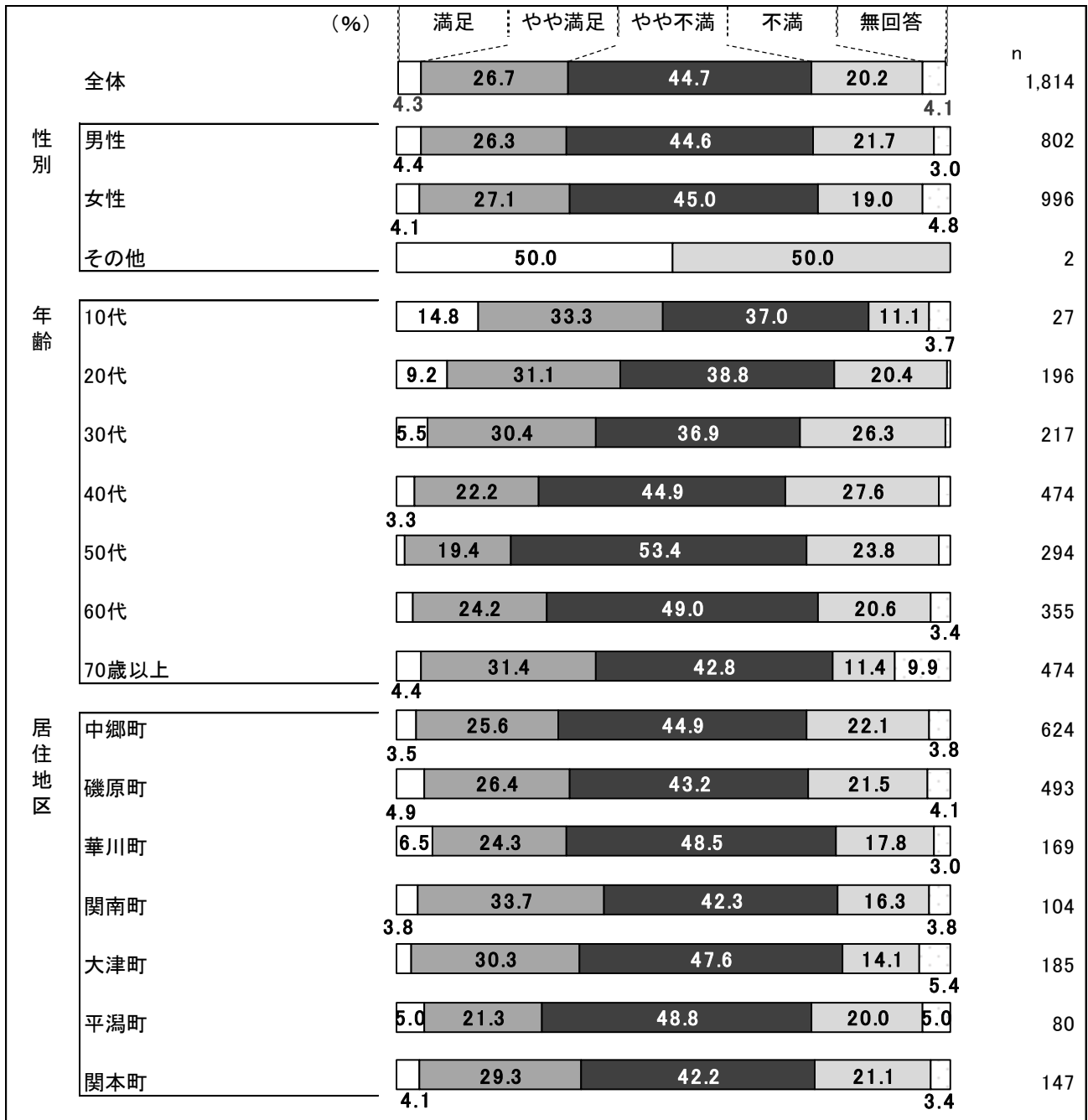
— 「満足」、「やや満足」の合計が31.0%と、

「やや不満」、「不満」の合計(64.9%)を下回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合(48.1%)が最も高い一方、50代の同割合(20.8%)が最も低くなっています。

○居住地区別では関南町の「満足」、「やや満足」の合計割合(37.5%)が最も高い一方、平潟町の同割合(26.3%)が最も低くなっています。

図表5-1-22 歩道やガードレール、カーブミラーなどの整備



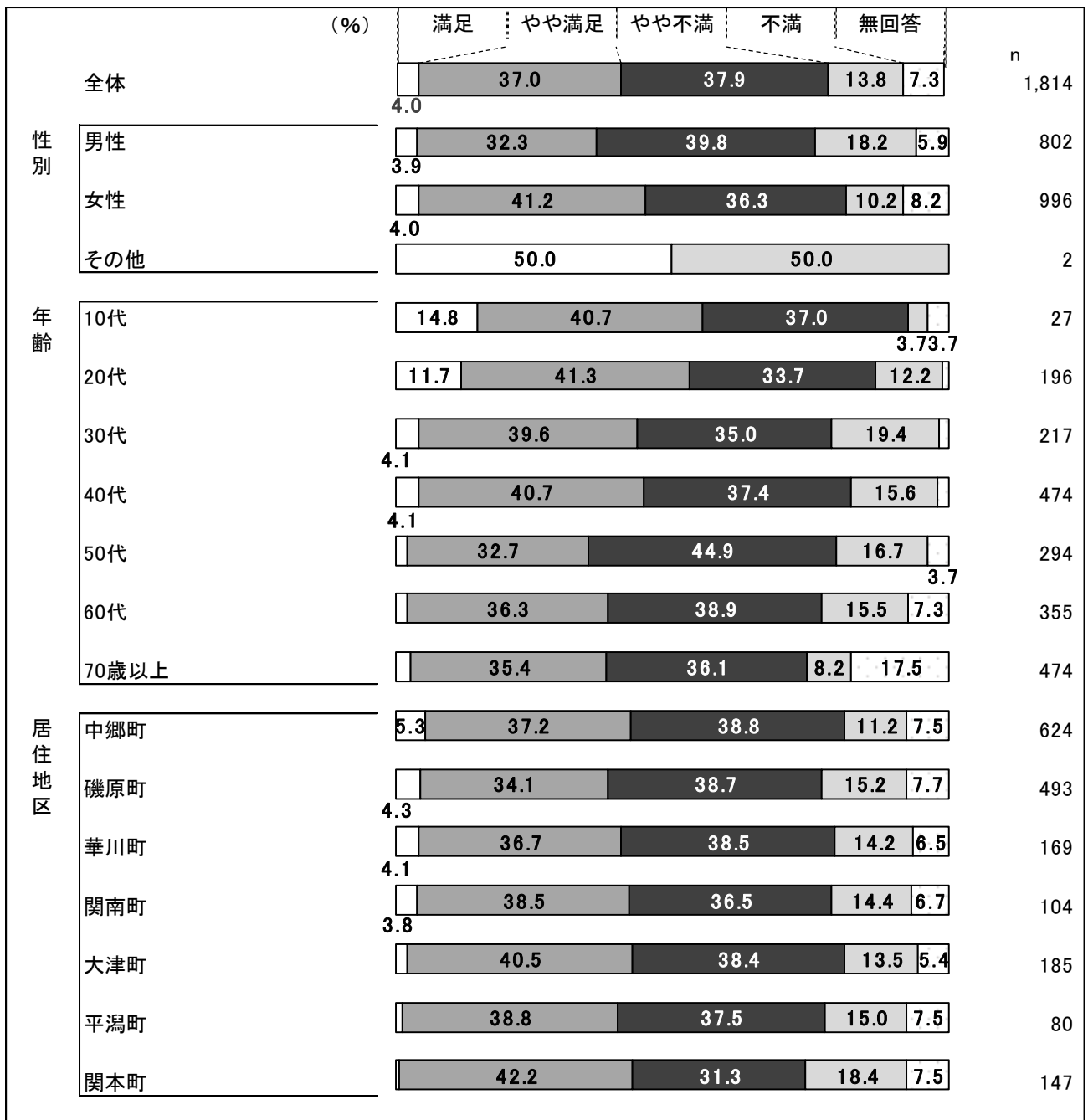
23) 企業誘致などによる工業の振興

— 「満足」、「やや満足」の合計が41.0%と、
「やや不満」、「不満」の合計（51.7%）を下回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合（55.5%）が最も高い一方、50代の同割合（34.7%）が最も低くなっています。

○居住地区別では関本町の「満足」、「やや満足」の合計割合（42.9%）が最も高い一方、磯原町の同割合（38.4%）が最も低くなっています。

図表5-1-23 企業誘致などによる工業の振興



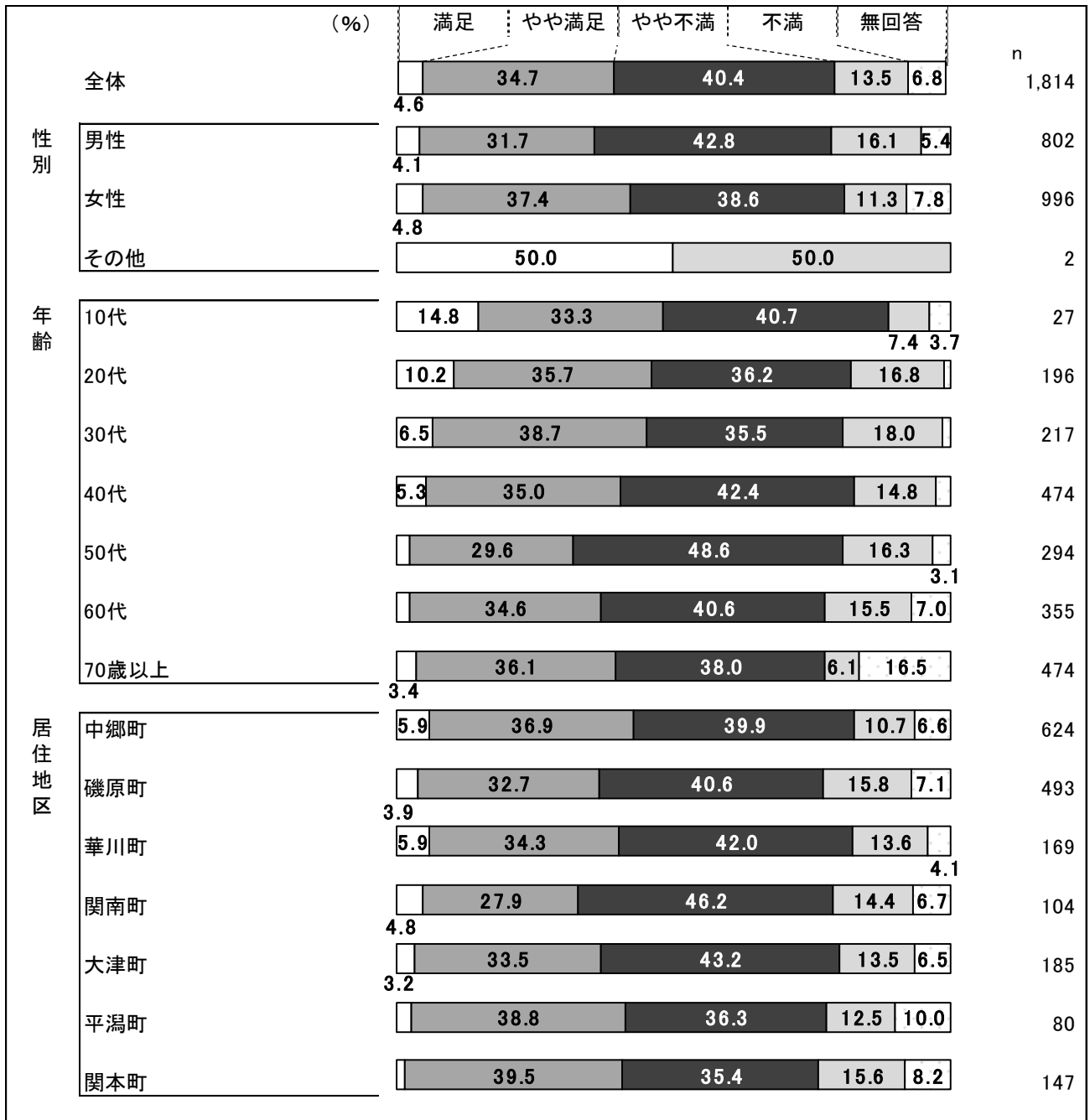
24) 商業やサービス業の振興

— 「満足」、「やや満足」の合計が39.3%と、
「やや不満」、「不満」の合計（53.9%）を下回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合（48.1%）が最も高い一方、50代の同割合（32.0%）が最も低くなっています。

○居住地区別では中郷町の「満足」、「やや満足」の合計割合（42.8%）が最も高い一方、磯原町の同割合（32.7%）が最も低くなっています。

図表5-1-24 商業やサービス業の振興



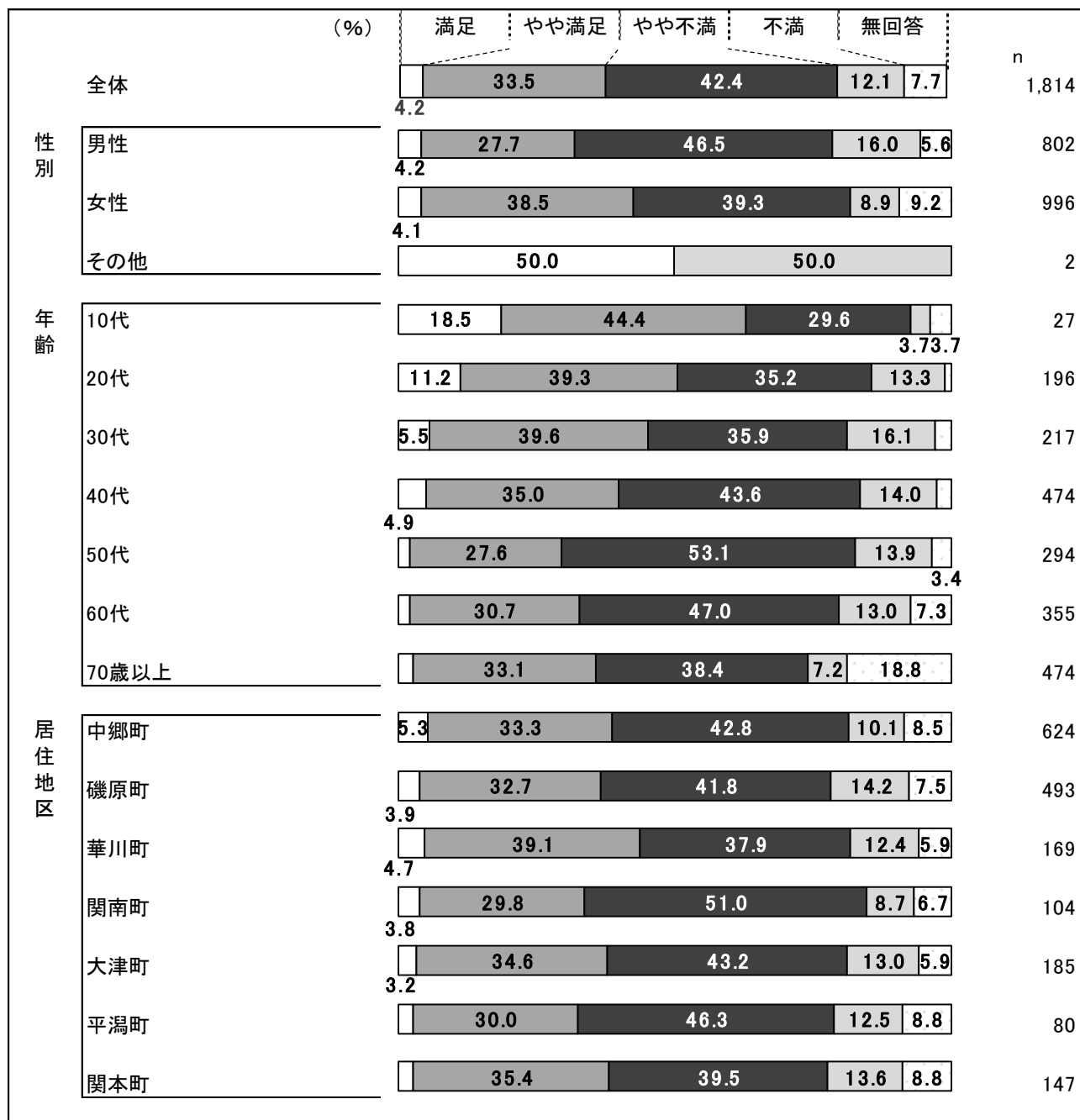
25) 中小企業育成や地場産業の振興

— 「満足」、「やや満足」の合計が37.7%と、
「やや不満」、「不満」の合計（54.5%）を下回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合（62.9%）が最も高い一方、50代の同割合（29.6%）が最も低くなっています。

○居住地区別では華川町の「満足」、「やや満足」の合計割合（43.8%）が最も高い一方、平潟町の同割合（32.5%）が最も低くなっています。

図表5-1-25 中小企業育成や地場産業の振興



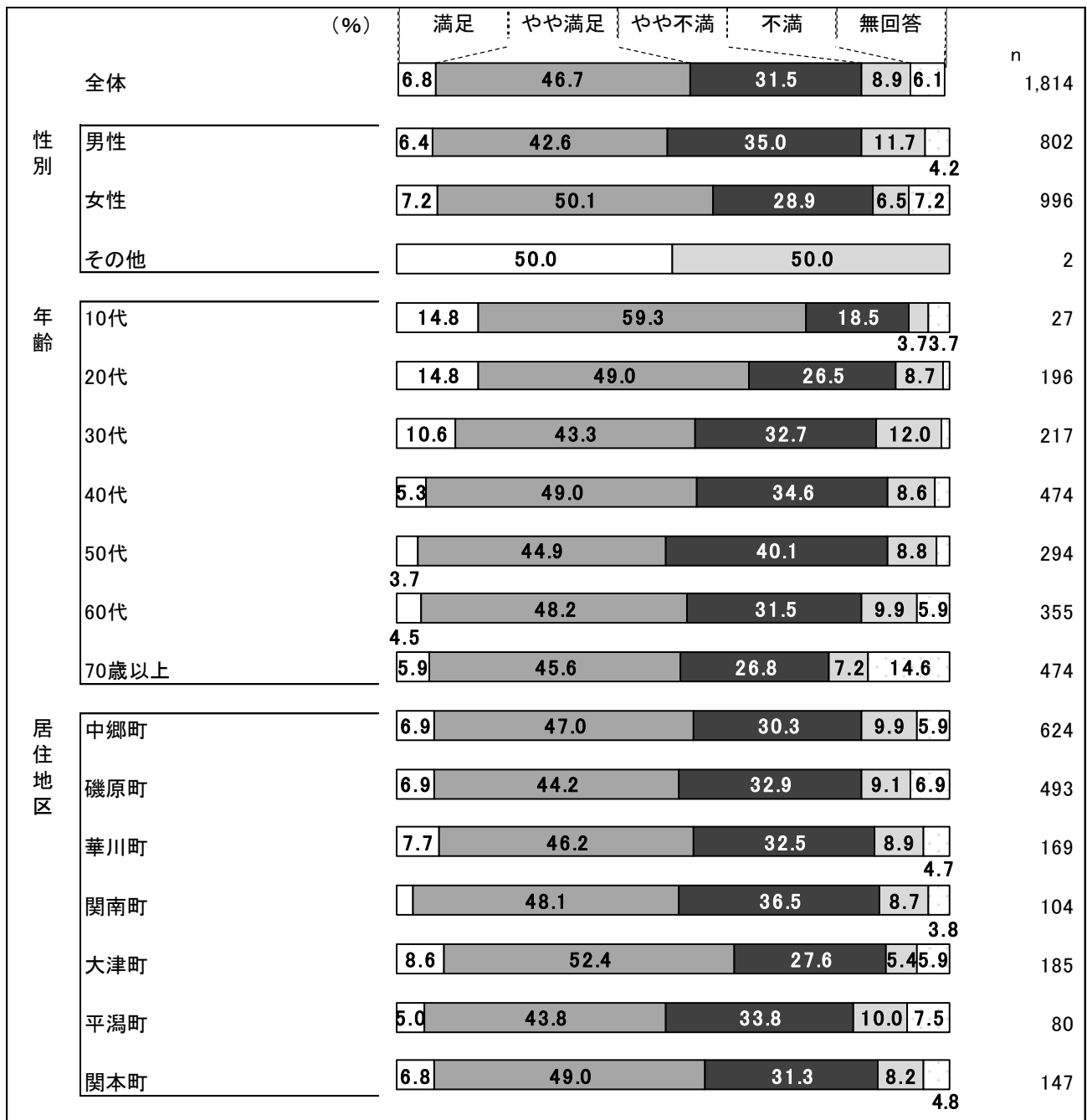
26) 市の行政情報の公開、発信

— 「満足」、「やや満足」の合計が53.5%と、
「やや不満」、「不満」の合計（40.4%）を上回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合（74.1%）が最も高い一方、50代の同割合（48.6%）が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合（61.0%）が最も高い一方、平潟町の同割合（48.8%）が最も低くなっています。

図表5-1-26 市の行政情報の公開、発信



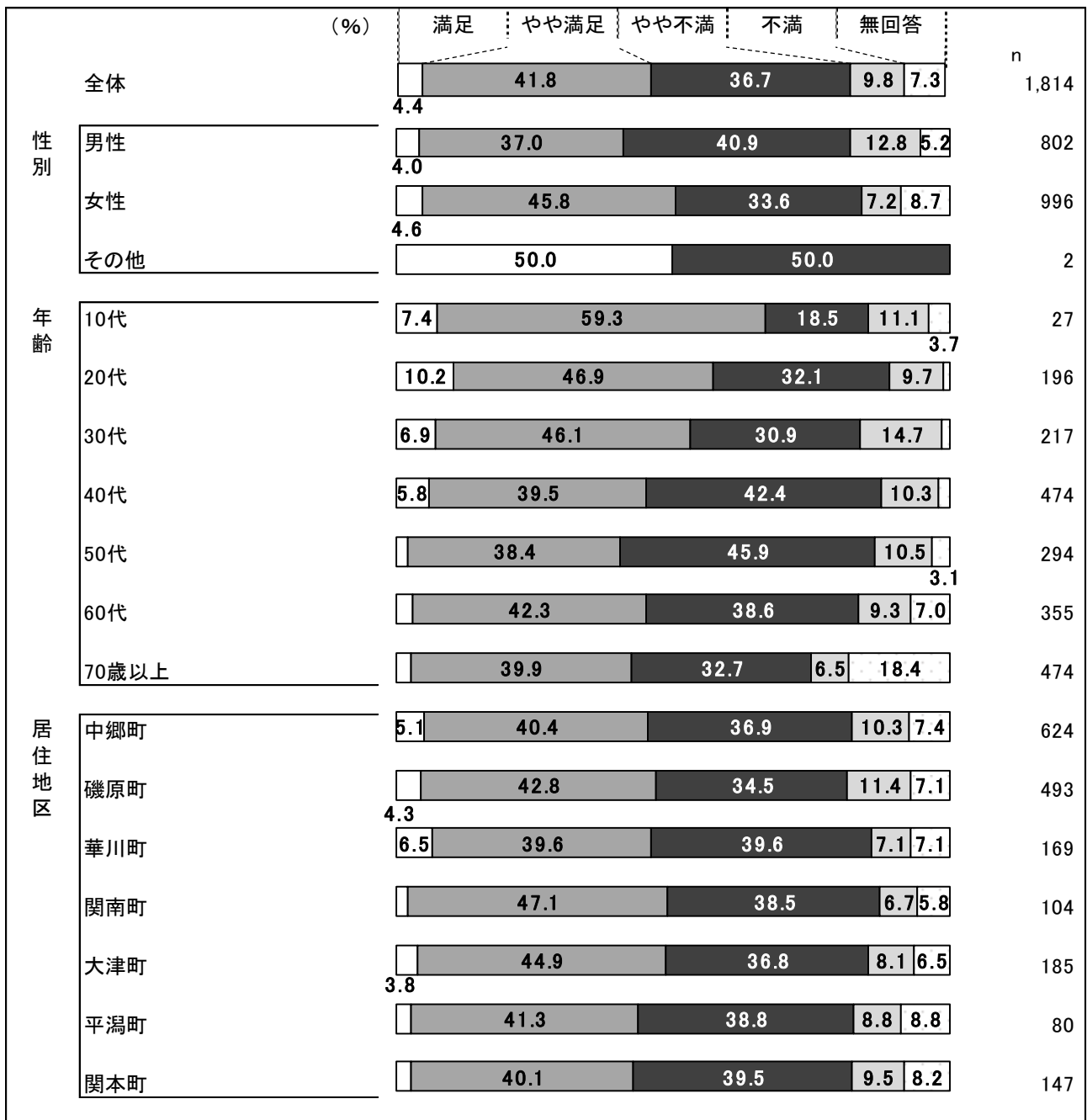
27) 行政サービスのデジタル化推進

— 「満足」、「やや満足」の合計が46.2%と、
「やや不満」、「不満」の合計（46.5%）をやや下回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合（66.7%）が最も高い一方、50代の同割合（40.4%）が最も低くなっています。

○居住地区別では関南町の「満足」、「やや満足」の合計割合（49.0%）が最も高い一方、関本町の同割合（42.8%）が最も低くなっています。

図表5-1-27 行政サービスのデジタル化推進



28) 差別のない社会づくり

— 「満足」、「やや満足」の合計が51.6%と、
「やや不満」、「不満」の合計（41.6%）を上回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合（62.9%）が最も高い一方、50代の同割合（45.6%）が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合（58.9%）が最も高い一方、関南町の同割合（47.1%）が最も低くなっています。

図表5-1-28 差別のない社会づくり

		(%)	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	n
	全体	5.7	45.9	31.3	10.3	6.7	1,814	
性別	男性	6.6	43.3	32.8	12.2	5.1	802	
	女性	4.9	48.3	30.2	8.7	7.8	996	
	その他		50.0	50.0			2	
年齢	10代	22.2	40.7	22.2	11.1	3.7	27	
	20代	14.3	48.5	26.0	10.2		196	
	30代	10.1	49.8	27.2	11.1		217	
	40代	5.3	45.3	36.2	11.1		474	
	50代		42.9	37.8	13.6	3.1	294	
	60代	3.4	43.7	34.6	11.0	7.3	355	
	70歳以上	3.2	47.5	27.0	6.5	15.8	474	
居住地区	中郷町	6.3	44.4	33.0	9.5	6.9	624	
	磯原町	5.9	44.6	32.9	10.5	6.1	493	
	華川町	5.3	46.7	30.8	10.7	6.5	169	
	関南町		44.2	36.5	10.6	5.8	104	
	大津町	5.9	53.0	24.9	9.7	6.5	185	
	平潟町	6.3	46.3	28.8	10.0	8.8	80	
	関本町	5.4	47.6	26.5	12.9	7.5	147	

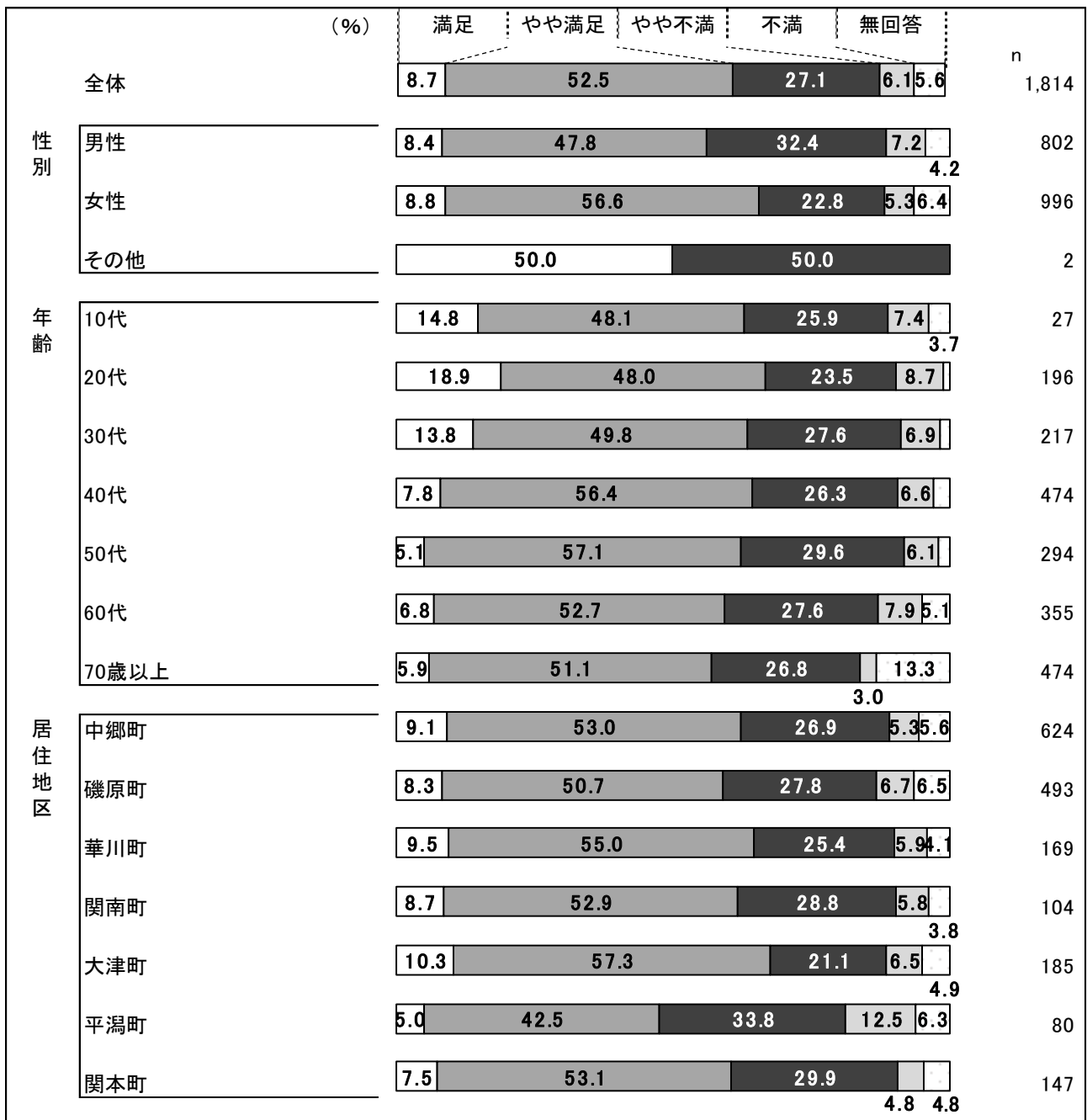
29) 祭りやイベントなどの市民交流

— 「満足」、「やや満足」の合計が61.2%と、
「やや不満」、「不満」の合計（33.2%）を上回った—

○年齢別では20代の「満足」、「やや満足」の合計割合（66.9%）が最も高い一方、70歳以上の同割合（57.0%）が最も低くなっています。

○居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合（67.6%）が最も高い一方、平潟町の同割合（47.5%）が最も低くなっています。

図表5-1-29 祭りやイベントなどの市民交流



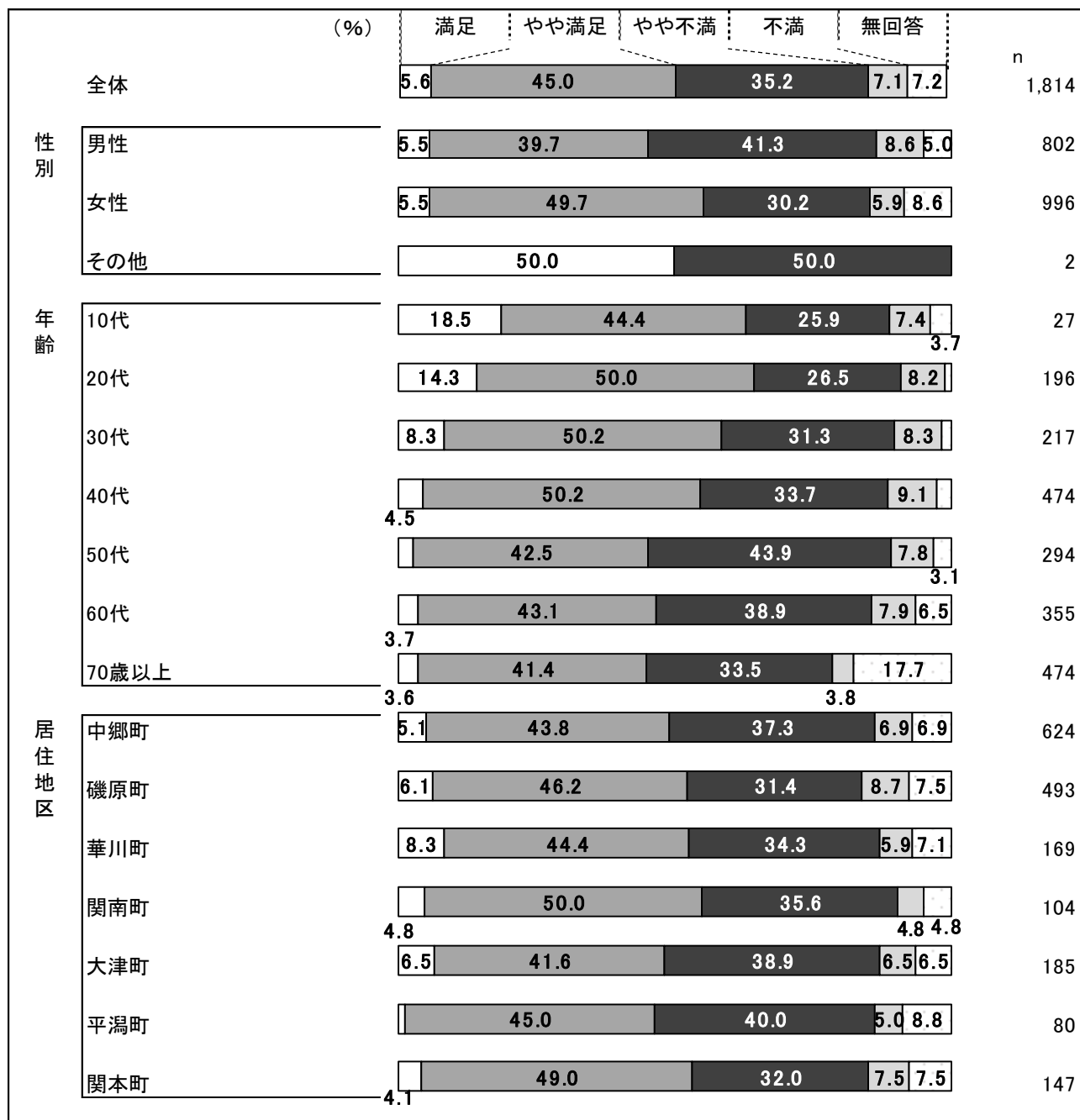
30) 近隣市町と連携した広域行政の推進

— 「満足」、「やや満足」の合計が50.6%と、
「やや不満」、「不満」の合計（42.3%）を上回った—

○年齢別では20代の「満足」、「やや満足」の合計割合（64.3%）が最も高い一方、70歳以上の同割合（45.0%）が最も低くなっています。

○居住地区別は関南町の「満足」、「やや満足」の合計割合（54.8%）が最も高い一方、平潟町の同割合（46.3%）が最も低くなっています。

図表5-1-30 近隣市町と連携した広域行政の推進



問 13-2) 現在の「満足度」および、「今後、特に力を入れてほしい取組」

31) 病院等の医療施設や診療内容、夜間・休日などの救急医療体制

— 「満足」、「やや満足」の合計が 42.8%と、

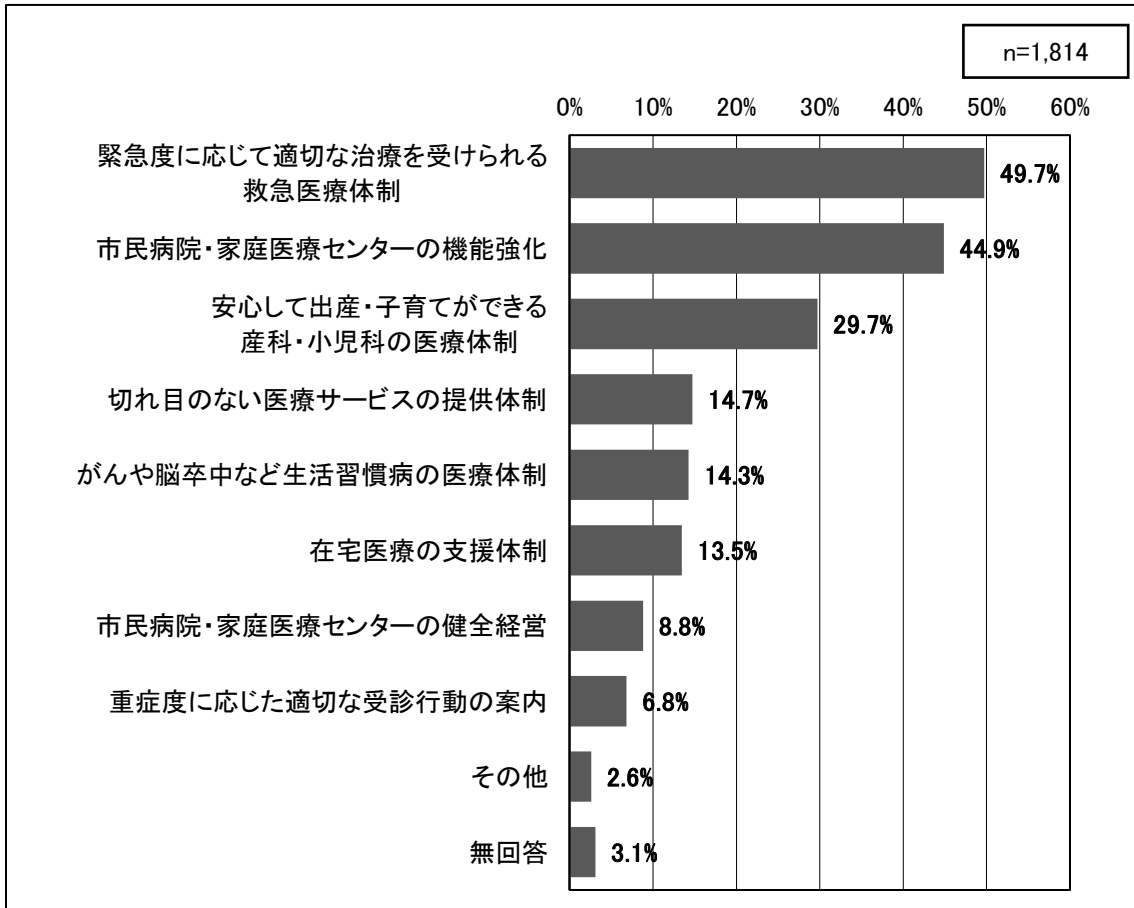
「やや不満」、「不満」の合計 (51.8%) を下回った—

- 年齢別では 70 歳以上の「満足」、「やや満足」の合計割合 (53.3%) が最も高い一方、40 代の同割合 (28.8%) が最も低くなっています。
- 居住地区別では華川町の「満足」、「やや満足」の合計割合 (46.7%) が最も高い一方、平潟町の同割合 (37.5%) が最も低くなっています。
- 今後、特に力を入れてほしい取組としては、「緊急度に応じて適切な治療を受けられる救急医療体制」が 49.7%と最も多く、次いで「市民病院・家庭医療センターの機能強化(44.9%)」、「安心して出産・子育てができる産科・小児科の医療体制 (29.7%)」となっています。

図表 5-2-1 病院等の医療施設や診療内容、夜間・休日などの救急医療体制

		(%)					n
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
全体		6.5	36.3	33.9	17.9	5.3	1,814
性別	男性	8.2	37.3	33.3	16.0	5.2	802
	女性	5.1	35.7	34.3	19.6	5.2	996
	その他	50.0		50.0			2
年齢	10代	14.8	33.3	37.0	11.1	3.7	27
	20代	14.3	40.8	32.1	12.2		196
	30代	6.5	29.0	31.3	32.3		217
	40代	4.1	24.7	37.9	31.3		474
	50代	3.1	31.6	42.2	20.4		294
	60代	3.4	39.2	35.2	15.2	7.0	355
	70歳以上	8.6	44.7	27.6	11.6	7.4	474
居住地区	中郷町	7.1	35.9	36.1	16.3	4.6	624
	磯原町	6.7	33.9	32.5	19.9	7.1	493
	華川町	5.3	41.4	33.1	16.6	3.6	169
	関南町	5.8	38.5	31.7	17.3	6.7	104
	大津町	6.5	37.8	32.4	18.9	4.3	185
	平潟町	5.0	32.5	37.5	18.8	6.3	80
	関本町	6.8	39.5	32.7	16.3	4.8	147

図表 5-2-2 今後特に力を入れてほしい取組



32) 高齢者のためのサービス、福祉施設、環境整備

— 「満足」、「やや満足」の合計が 54.3%と、

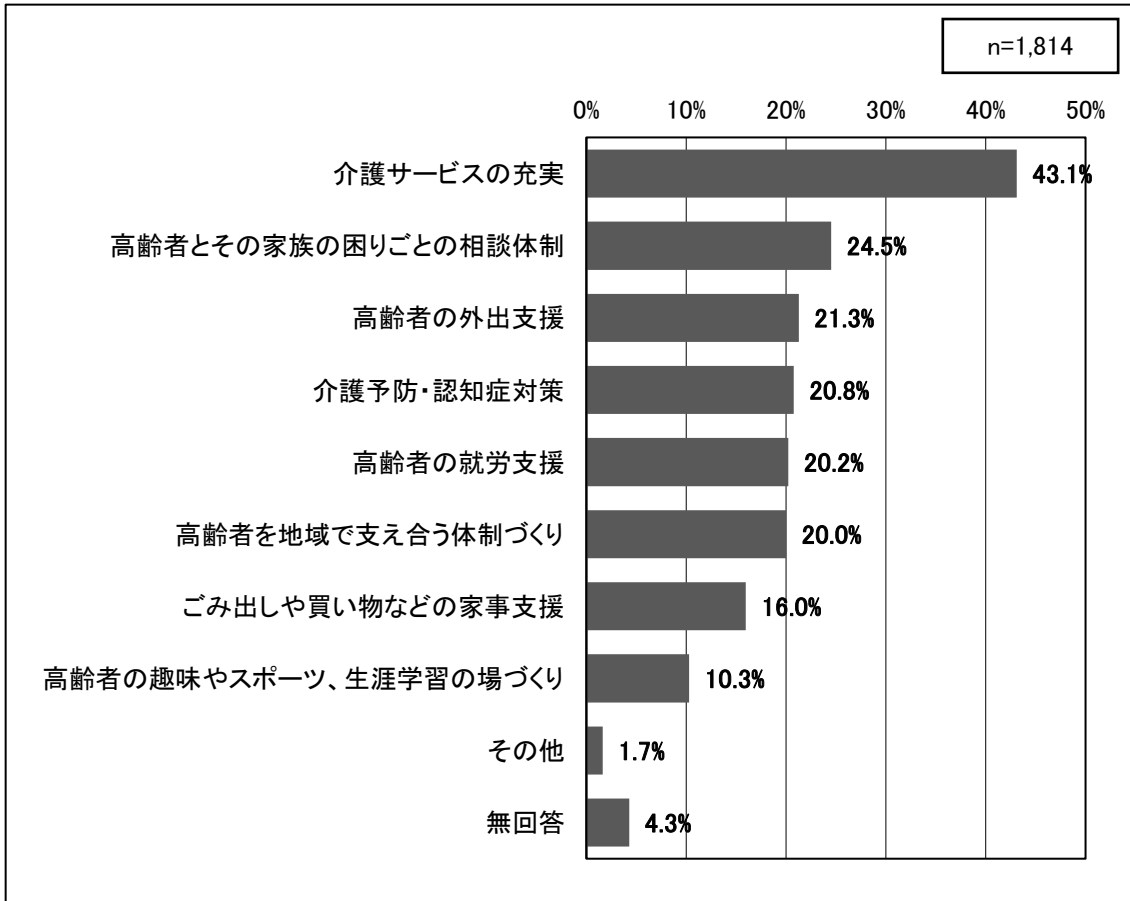
「やや不満」、「不満」の合計 (38.8%) を上回った—

- 年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合 (74.1%) が最も高い一方、50代の同割合 (47.6%) が最も低くなっています。
- 居住地区別では関南町の「満足」、「やや満足」の合計割合 (58.6%) が最も高い一方、平潟町の同割合 (46.3%) が最も低くなっています。
- 今後、特に力を入れてほしい取組としては、「介護サービスの充実」が 43.1%と最も多く、次いで「高齢者とその家族の困りごとの相談体制 (24.5%)」、「高齢者の外出支援 (21.3%)」となっています。

図表 5-2-3 「高齢者のためのサービス、福祉施設、環境整備」に対する満足度

		(%)					n
		満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
性別	全体	7.1	47.2	31.9	6.9	6.9	1,814
	男性	6.7	44.6	34.9	8.0	5.7	802
	女性	7.5	49.3	29.5	5.9	7.7	996
	その他		50.0		50.0		2
年齢	10代	14.8	59.3	22.2		3.7	27
	20代	19.4	48.5	24.5	5.6		196
	30代	7.8	60.8	20.3	6.5	4.6	217
	40代	6.6	46.1	35.4	8.2	3.7	474
	50代	3.7	43.9	40.1	7.8	4.4	294
	60代	4.5	45.1	36.3	6.5	7.6	355
	70歳以上	5.7	44.1	30.6	6.8	12.9	474
	居住地区	中郷町	7.4	46.0	32.9	7.5	6.3
磯原町		8.1	48.5	29.4	6.7	7.3	493
華川町		6.5	45.0	34.3	7.7	6.5	169
関南町		6.7	51.9	32.7		6.7	104
大津町		6.5	50.8	30.8		7.0	185
平潟町		5.0	41.3	36.3	11.3	6.3	80
関本町		5.4	46.3	32.7	6.8	8.8	147

図表 5-2-4 今後特に力を入れてほしい取組



33) 子育て支援など児童福祉

— 「満足」、「やや満足」の合計が54.9%と、

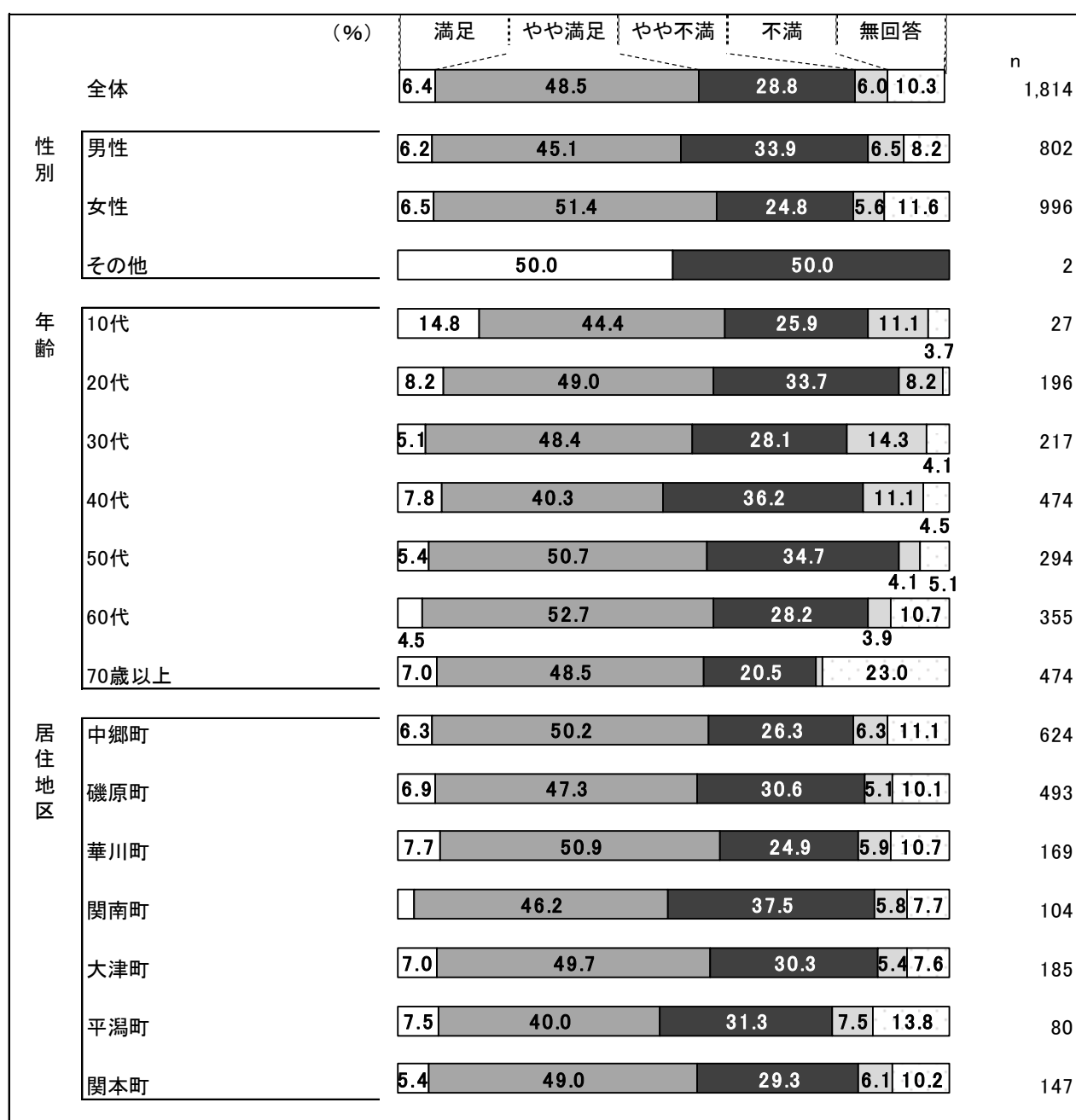
「やや不満」、「不満」の合計(34.8%)を上回った—

○年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合(59.2%)が最も高い一方、40代の同割合(48.1%)が最も低くなっています。

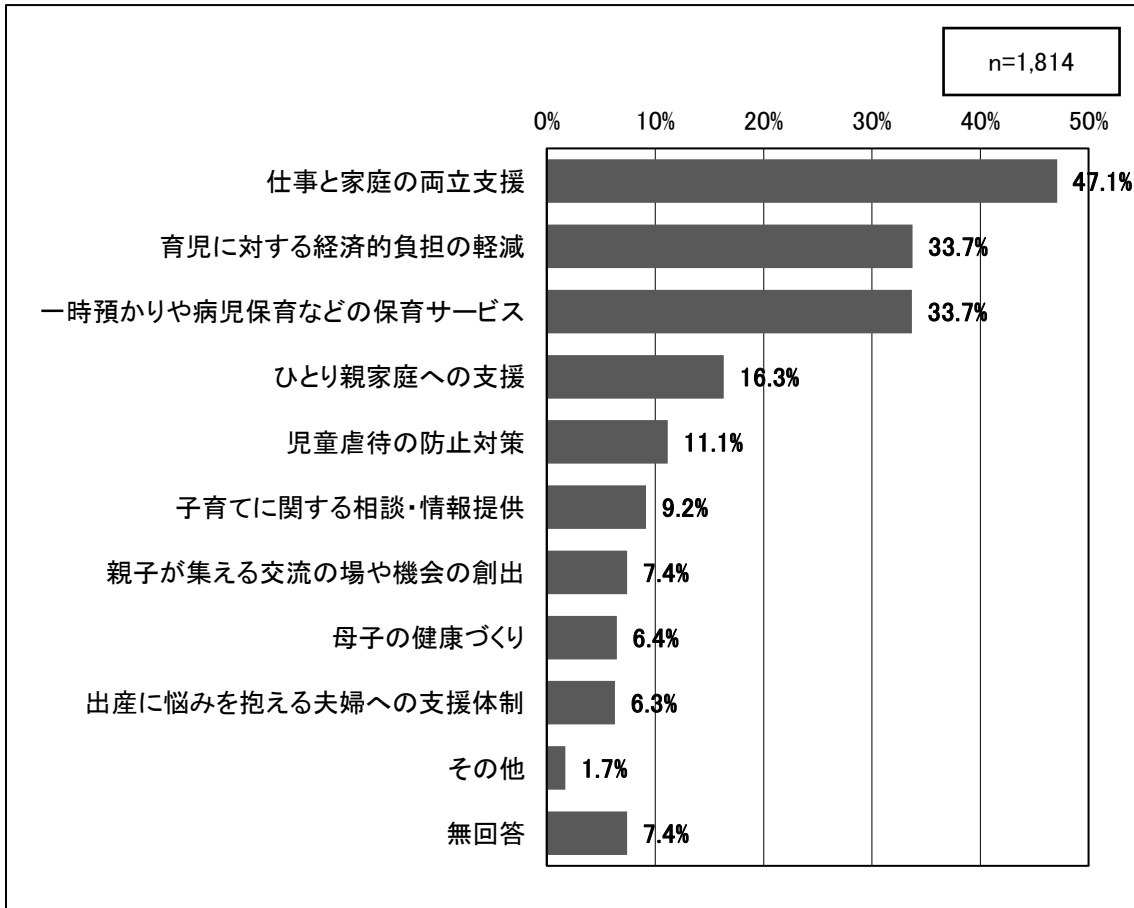
○居住地区別では華川町の「満足」、「やや満足」の合計割合(58.6%)が最も高い一方、平潟町の同割合(47.5%)が最も低くなっています。

○今後、特に力を入れてほしい取組としては、「仕事と家庭の両立支援」が47.1%と最も多く、次いで「育児に対する経済的負担の軽減(33.7%)」、「一時預かりや病児保育などの保育サービス(33.7%)」となっています。

図表5-2-5 「子育て支援など児童福祉」に対する満足度



図表 5-2-6 今後特に力を入れてほしい取組



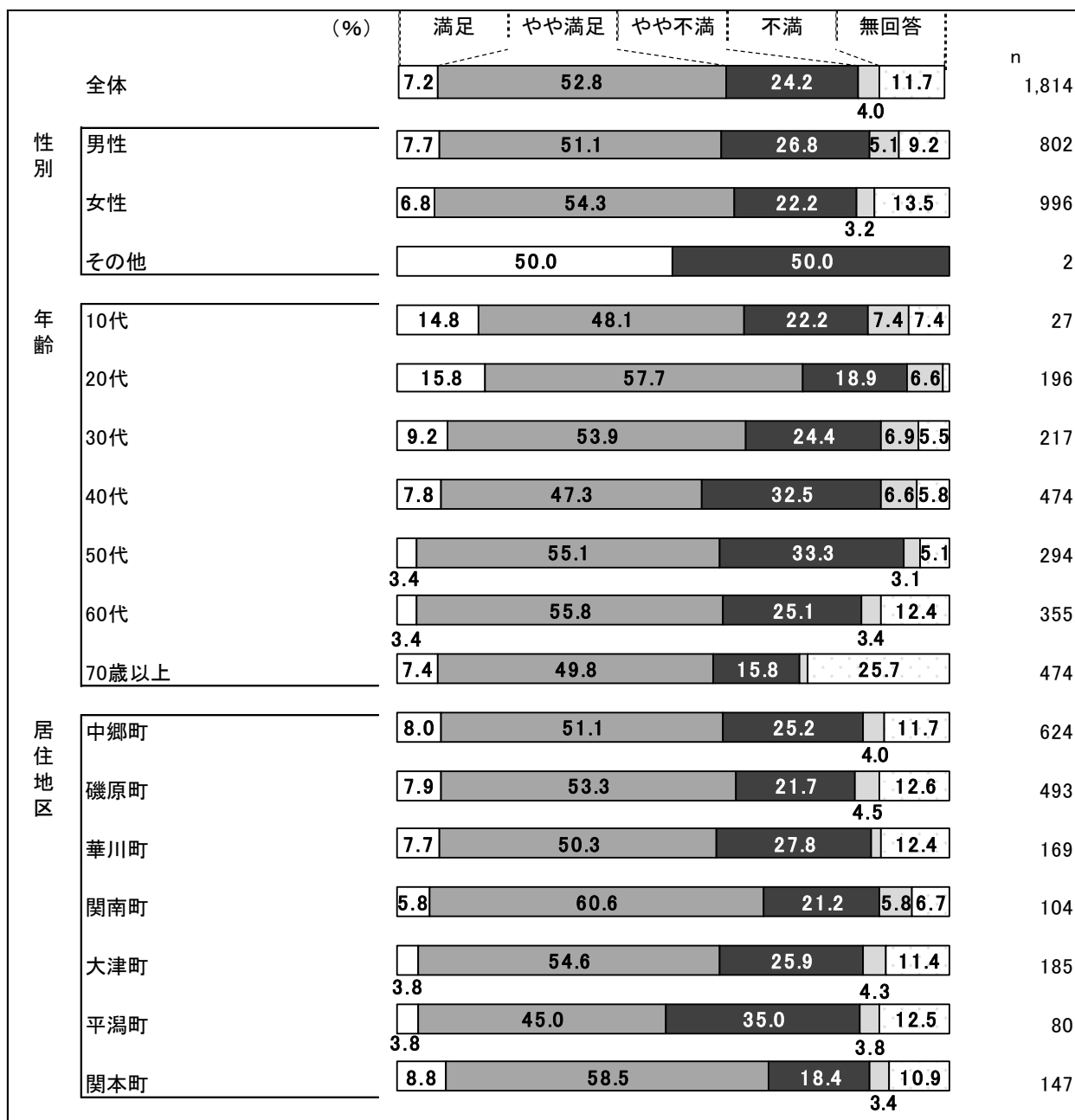
34) 小・中学校の教育内容や特色ある学校づくり

— 「満足」、「やや満足」の合計が60.0%と、

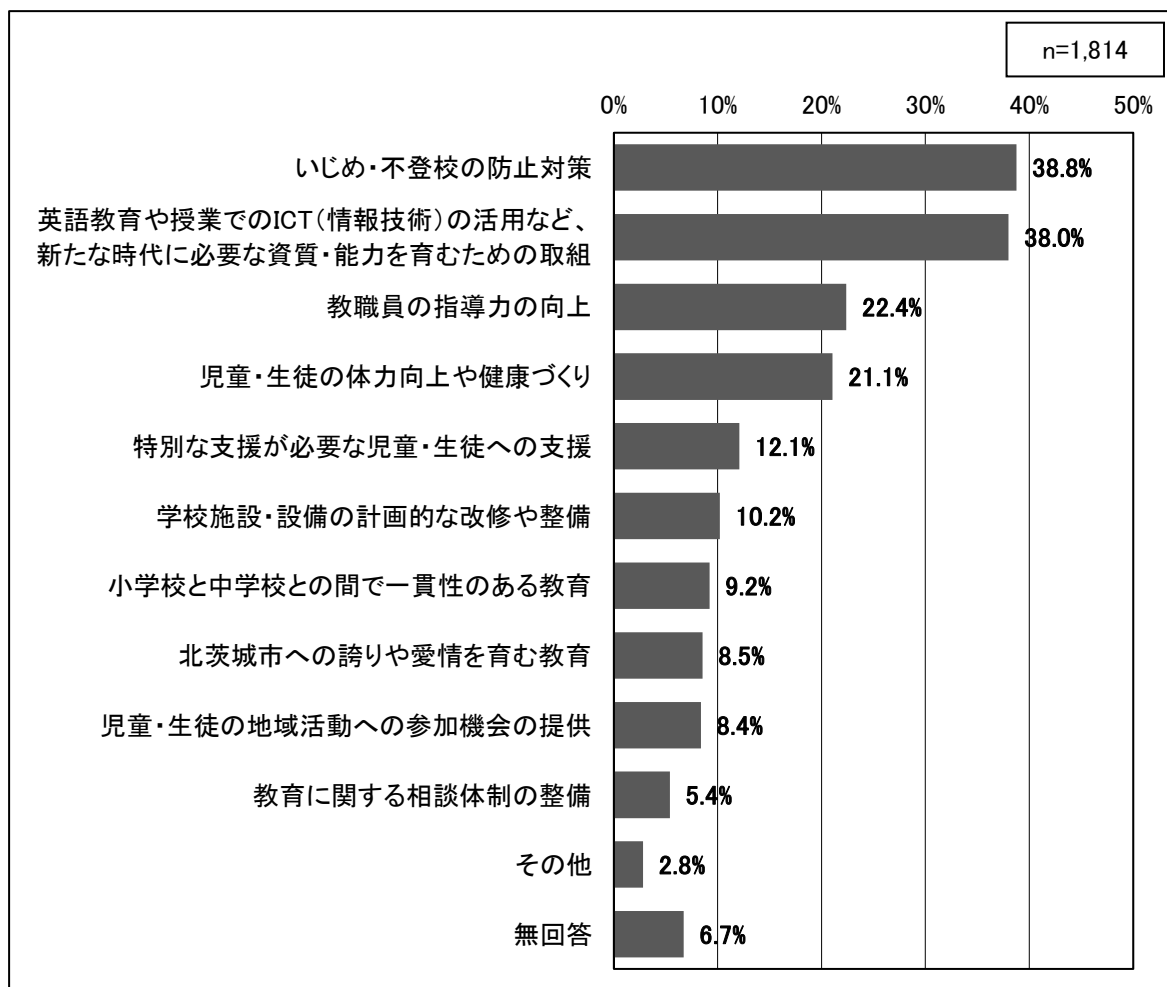
「やや不満」、「不満」の合計(28.2%)を上回った—

- 年齢別では20代の「満足」、「やや満足」の合計割合(73.5%)が最も高い一方、40代の同割合(55.1%)が最も低くなっています。
- 居住地区別では関本町の「満足」、「やや満足」の合計割合(67.3%)が最も高い一方、平潟町の同割合(48.8%)が最も低くなっています。
- 今後、特に力を入れてほしい取り組みとしては、「いじめ・不登校の防止対策」が38.8%と最も多く、次いで「英語教育や授業でのICT(情報技術)の活用など、新たな時代に必要な資質・能力を育むための取組(38.0%)」、「教職員の指導力の向上(22.4%)」となっています。

図表5-2-7 「小・中学校の教育内容や特色ある学校づくり」に対する満足度



図表 5-2-8 今後特に力を入れてほしい取組



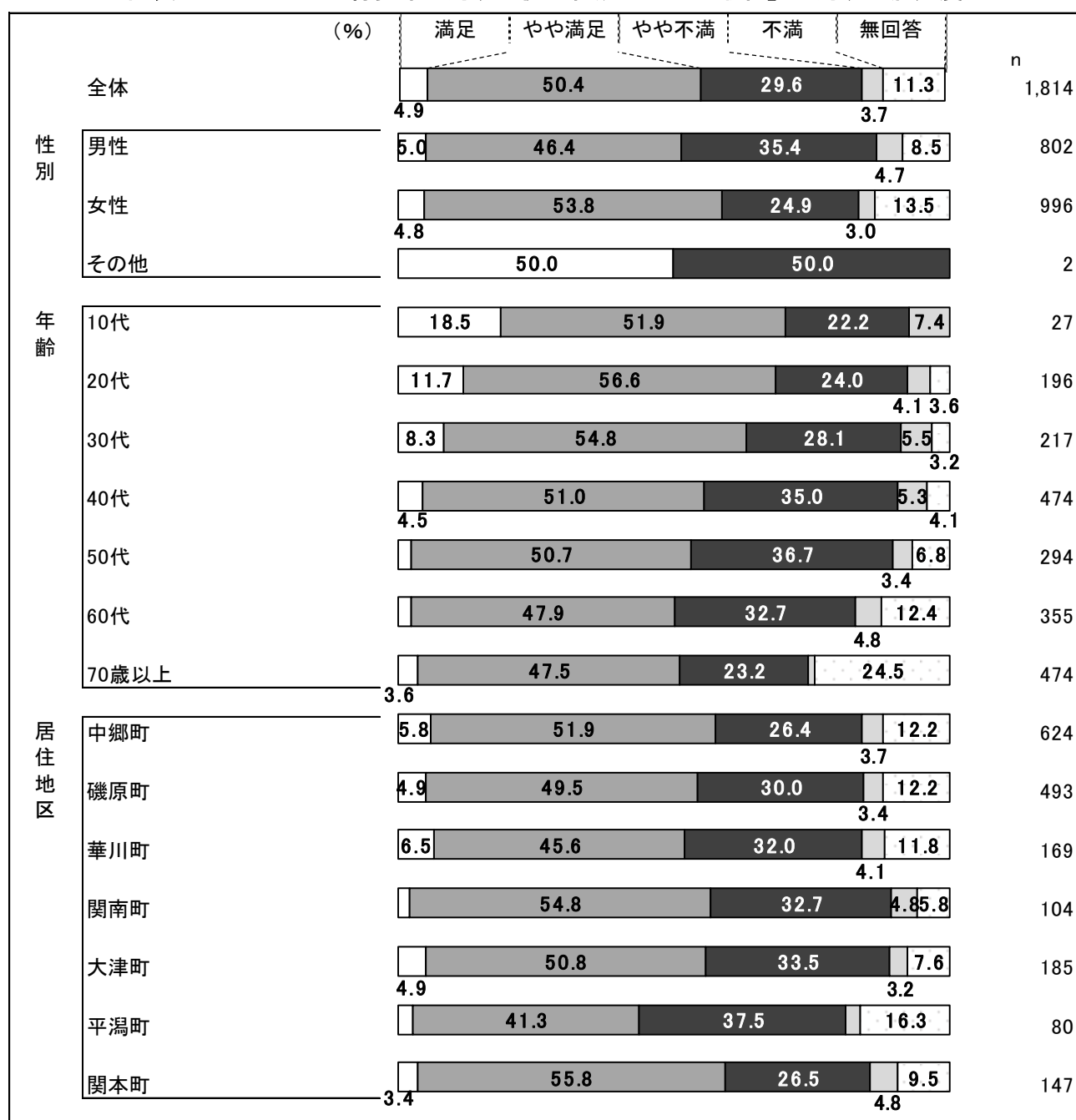
35) 青少年に対する健全育成のための取組

— 「満足」、「やや満足」の合計が 55.3%と、

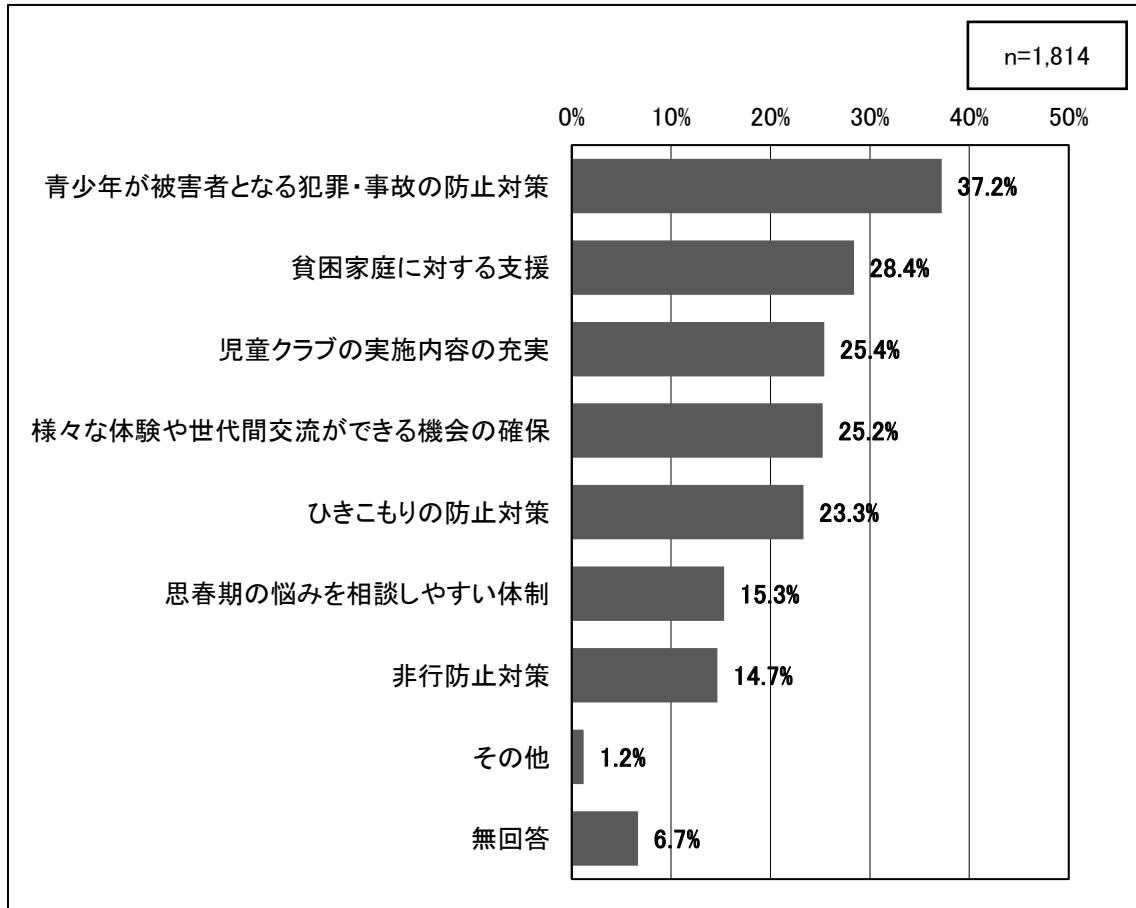
「やや不満」、「不満」の合計 (33.3%) を上回った—

- 年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合 (70.4%) が最も高い一方、60代の同割合 (50.2%) が最も低くなっています。
- 居住地区別では関本町の「満足」、「やや満足」の合計割合 (59.2%) が最も高い一方、平潟町の同割合 (43.8%) が最も低くなっています。
- 今後、特に力を入れてほしい取組としては、「青少年が被害者となる犯罪・事故の防止対策」が 37.2%と最も多く、次いで「貧困家庭に対する支援 (28.4%)」、「児童クラブの実施内容の充実(25.4%)」となっています。

図表 5-2-9 「青少年に対する健全育成のための取組」に対する満足度



図表 5-2-10 今後特に力を入れてほしい取組



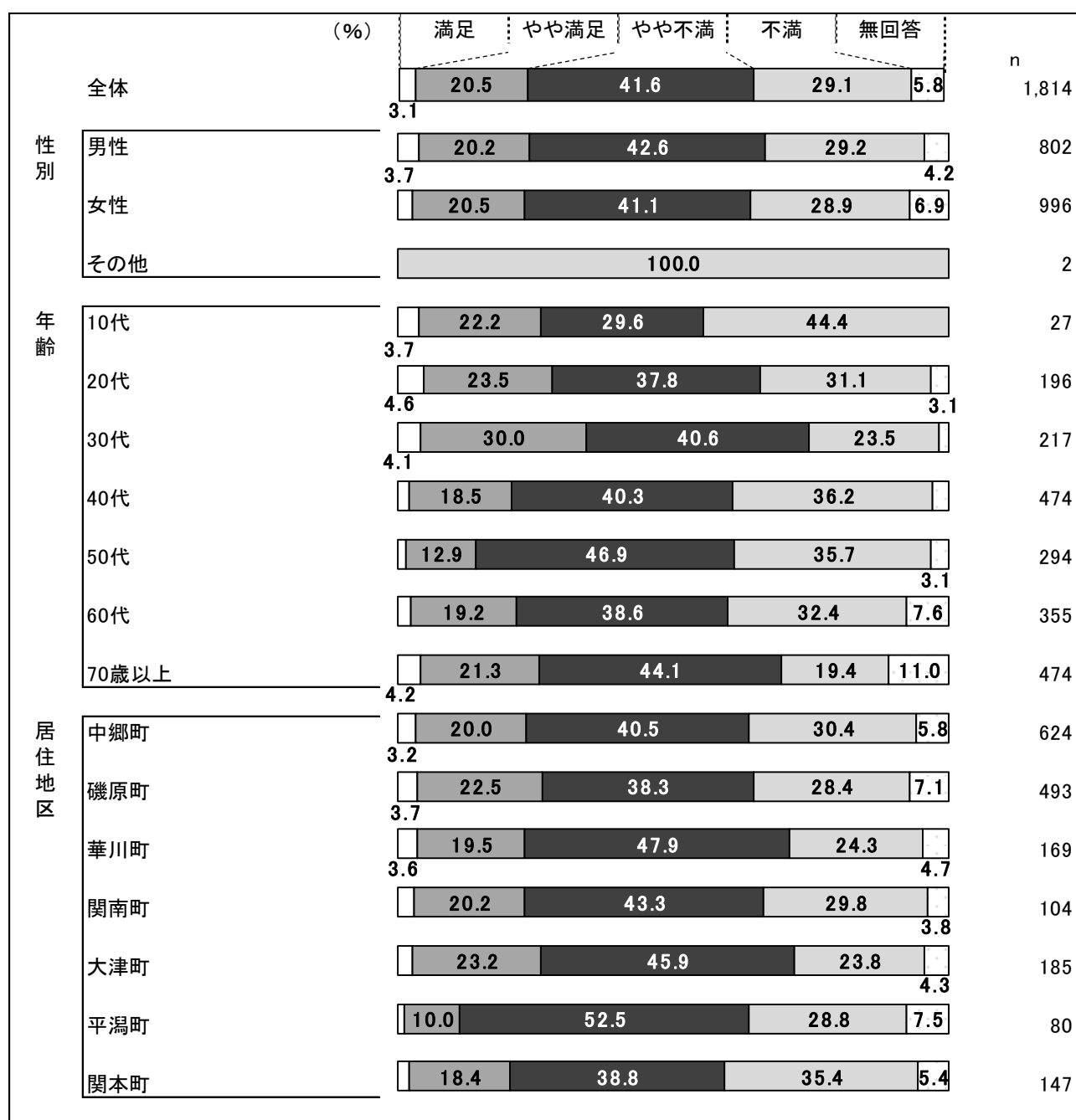
36) 公共の交通機関（鉄道、巡回バスなど）の利便性

— 「満足」、「やや満足」の合計が23.6%と、

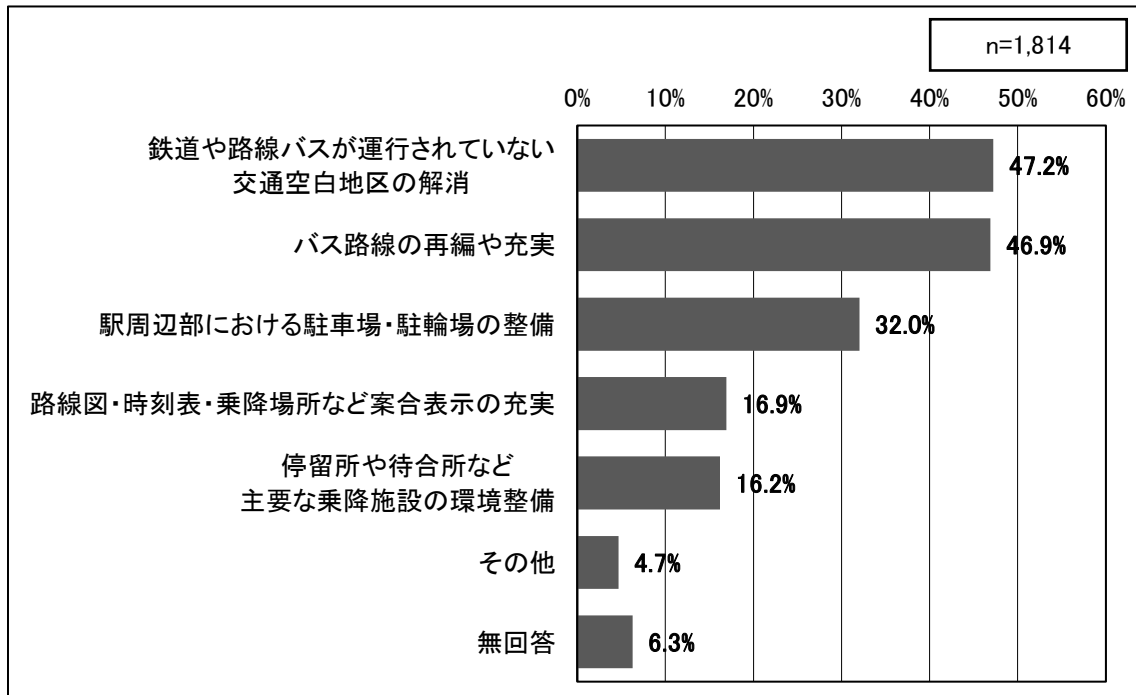
「やや不満」、「不満」の合計（70.7%）を下回った—

- 年齢別では30代の「満足」、「やや満足」の合計割合が最も高い（34.1%）一方、50代の同割合（14.3%）が最も低くなっています。
- 居住地区別では磯原町の「満足」、「やや満足」の合計割合が最も高い（26.2%）一方、平潟町の同割合（11.3%）が最も低くなっています。
- 今後、特に力を入れてほしい取組としては、「鉄道や路線バスが運行されていない交通空白地区の解消」が47.2%と最も多く、次いで「バス路線の再編や充実（46.9%）」、「駅周辺部における駐車場・駐輪場の整備（32.0%）」となっています。

図表5-2-11 「公共の交通機関（鉄道、巡回バスなど）の利便性」に対する満足度



図表 5-2-12 今後特に力を入れてほしい取組

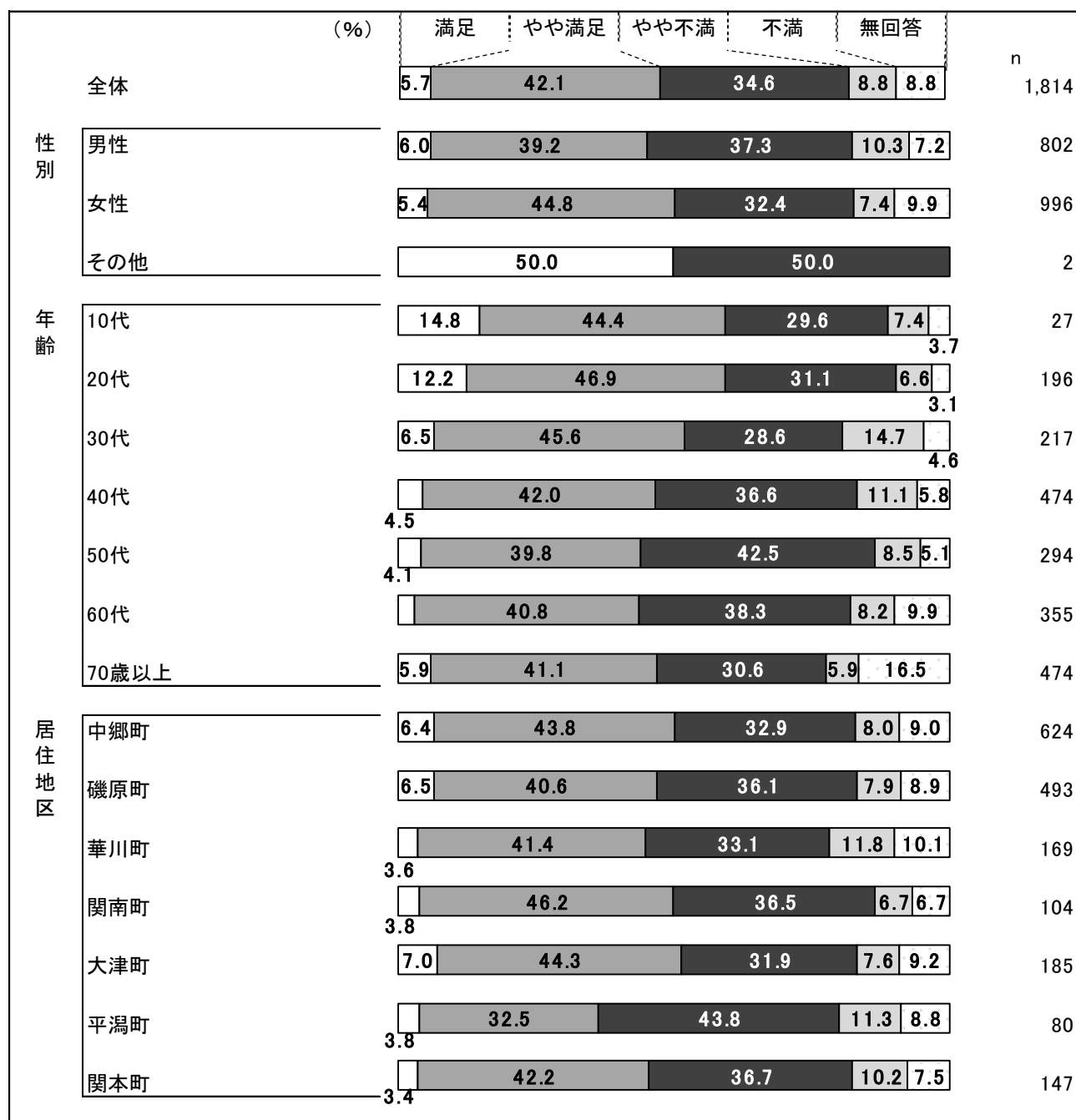


37) 住宅環境の整備

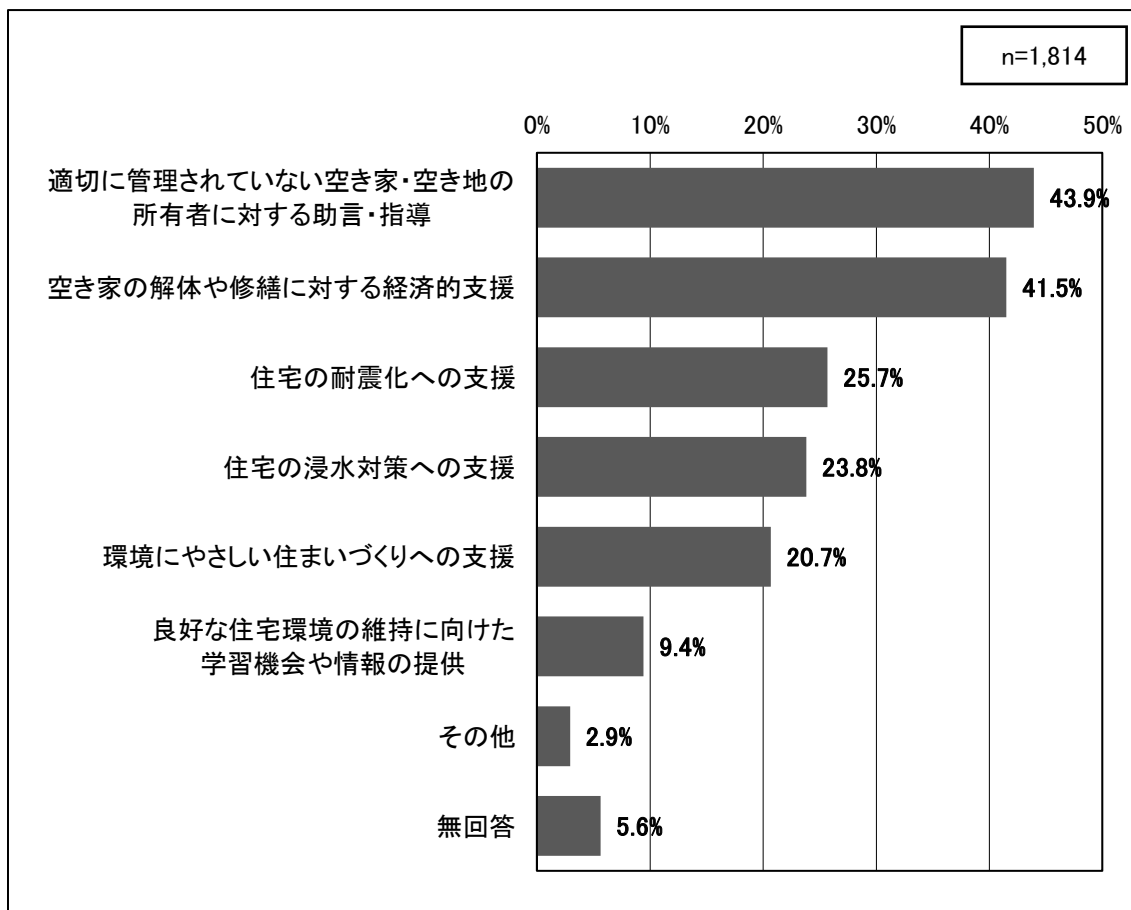
— 「満足」、「やや満足」の合計が47.8%と、
「やや不満」、「不満」の合計(43.4%)をやや上回った—

- 年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合が最も高い(59.2%)一方、60代の同割合(43.6%)が最も低くなっています。
- 居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合が最も高い(51.3%)一方、平潟町の同割合(36.3%)が最も低くなっています。
- 今後、特に力を入れてほしい取組としては、「適切に管理されていない空き家・空き地の所有者に対する助言・指導」が43.9%と最も多く、次いで「空き家の解体や修繕に対する経済的支援(41.5%)」、「住宅の耐震化への支援(25.7%)」となっています。

図表5-2-13 「住宅環境の整備」に対する満足度



図表 5-2-14 今後特に力を入れてほしい取組

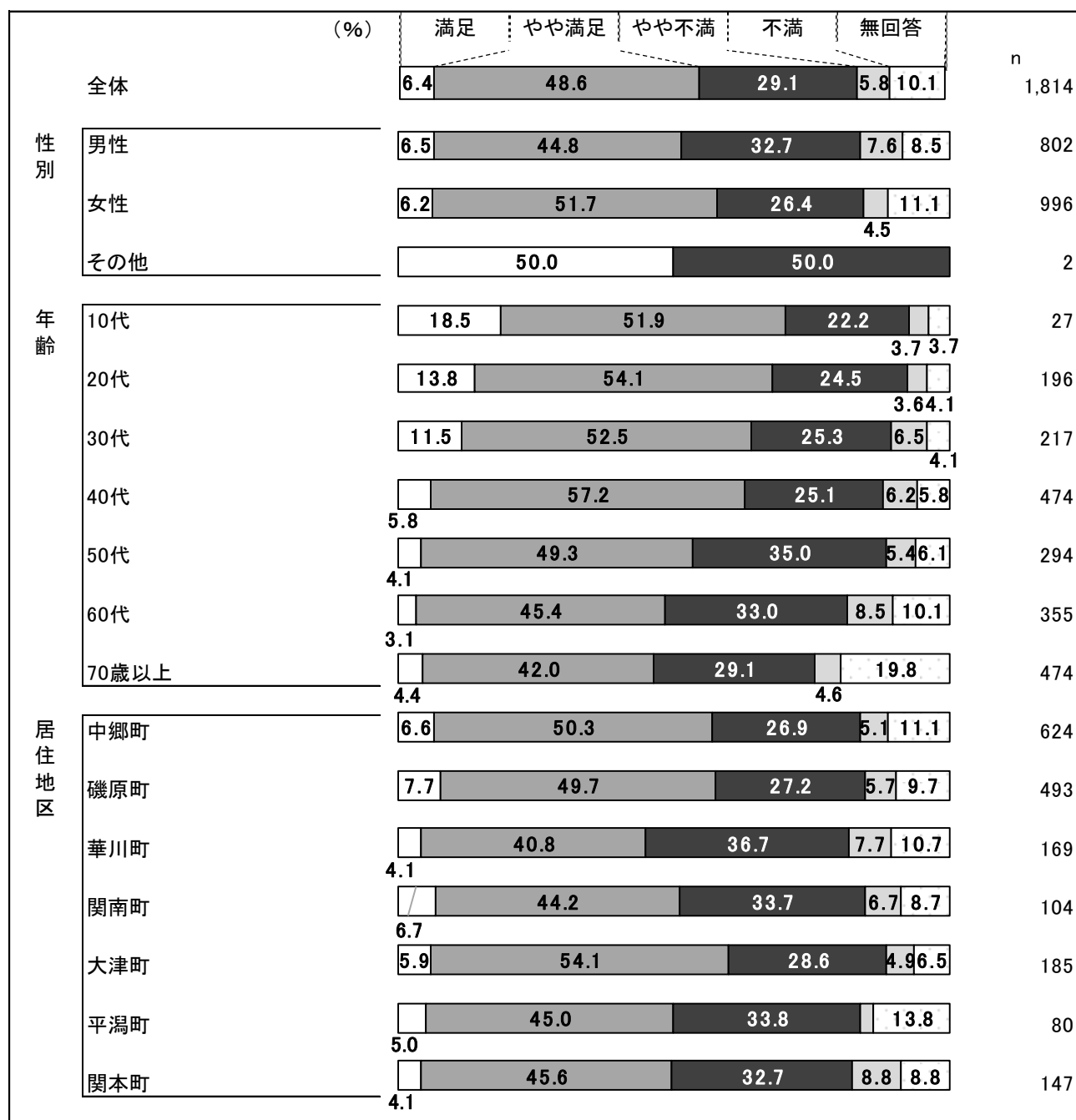


38) 農林水産業の振興

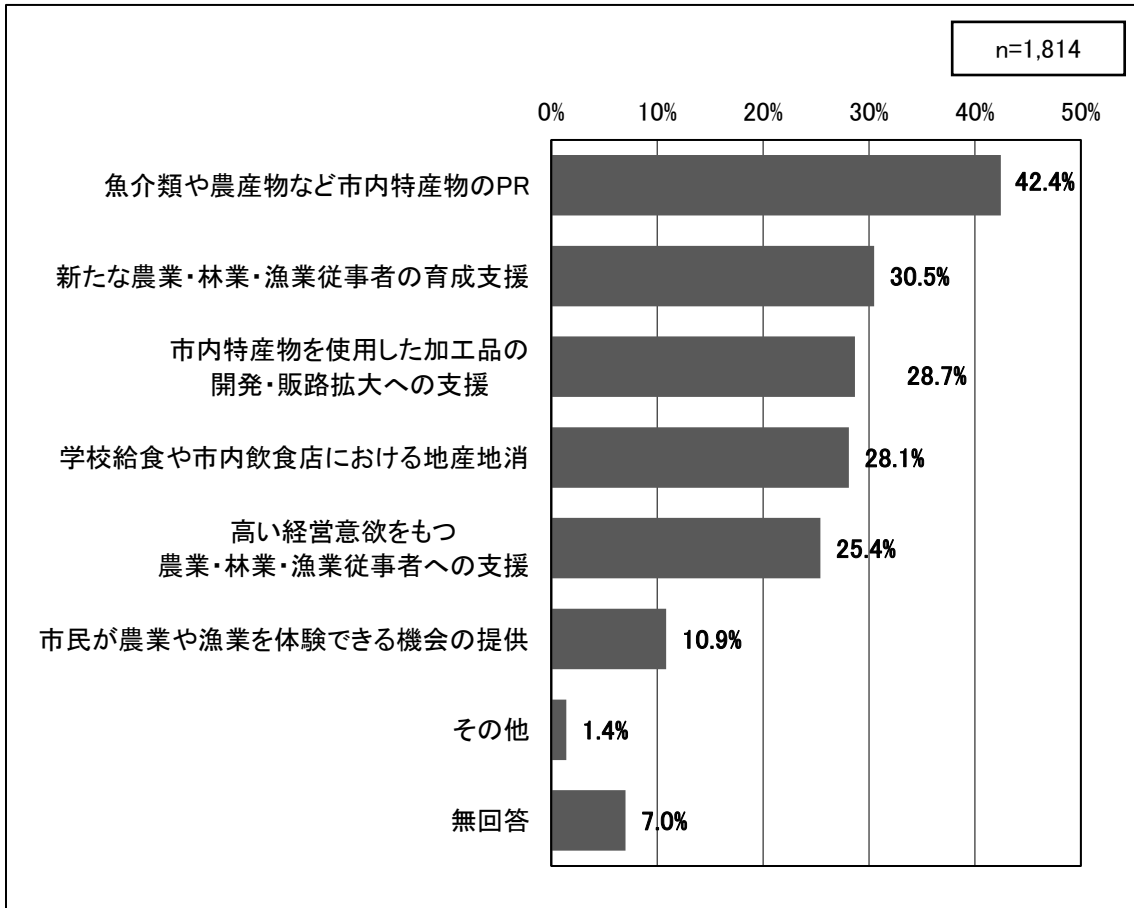
— 「満足」、「やや満足」の合計が 55.0%と、
「やや不満」、「不満」の合計 (34.9%) を上回った—

- 年齢別では10代の「満足」、「やや満足」の合計割合が最も高い(70.4%) 一方、70歳以上の同割合(46.4%)が最も低くなっています。
- 居住地区別では大津町の「満足」、「やや満足」の合計割合が最も高い(60.0%) 一方、華川町の同割合(44.9%)が最も低くなっています。
- 今後、特に力を入れてほしい取組としては、「魚介類や農産物など市内特産物のPR」が42.4%と最も多く、次いで「新たな農業・林業・漁業従事者の育成支援(30.5%)」、「市内特産物を使用した加工品の開発・販路拡大への支援(28.7%)」となっています。

図表5-2-15 「農林水産業の振興」に対する満足度



図表 5-2-16 今後特に力を入れてほしい取組

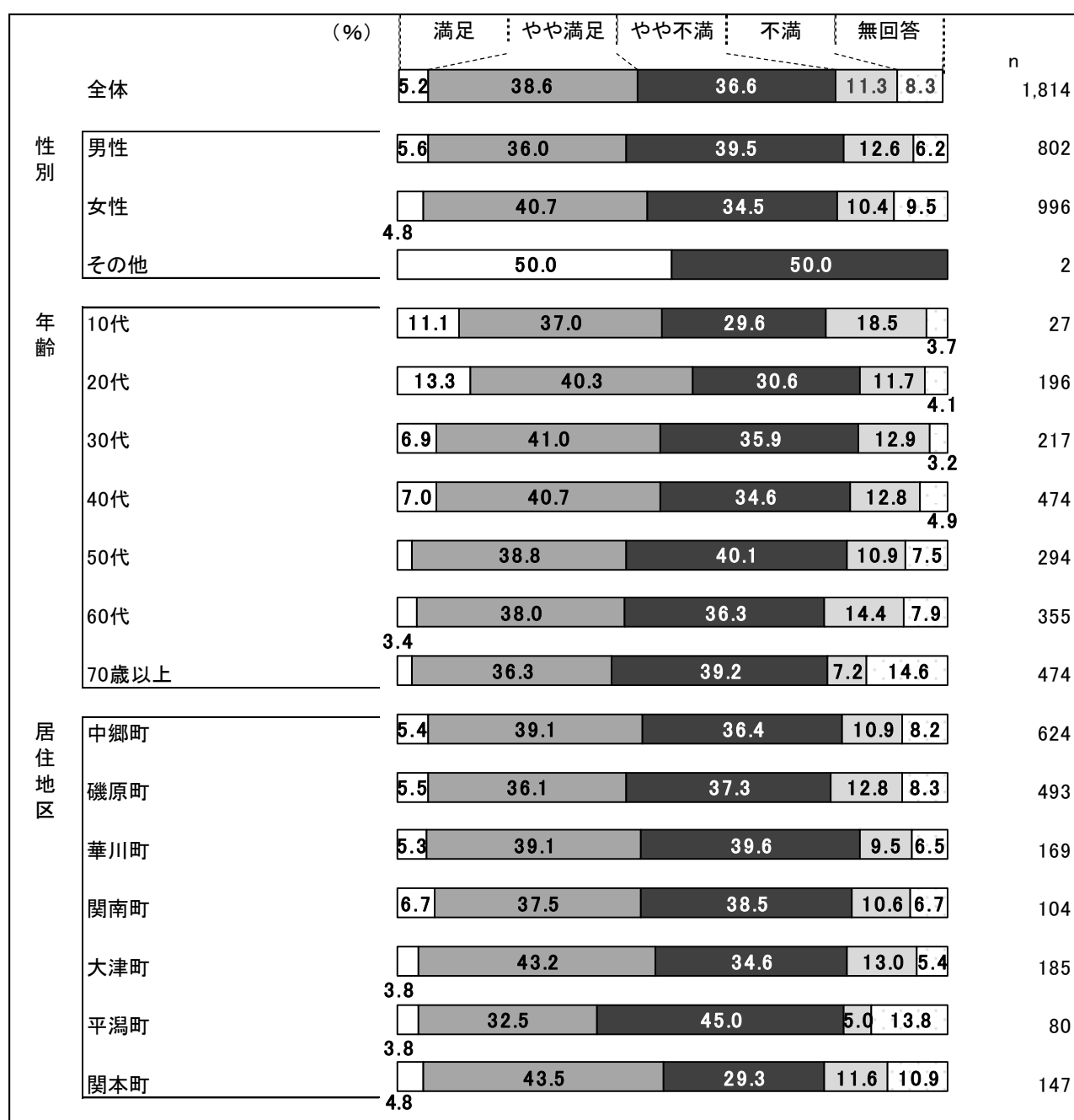


39) 観光の振興

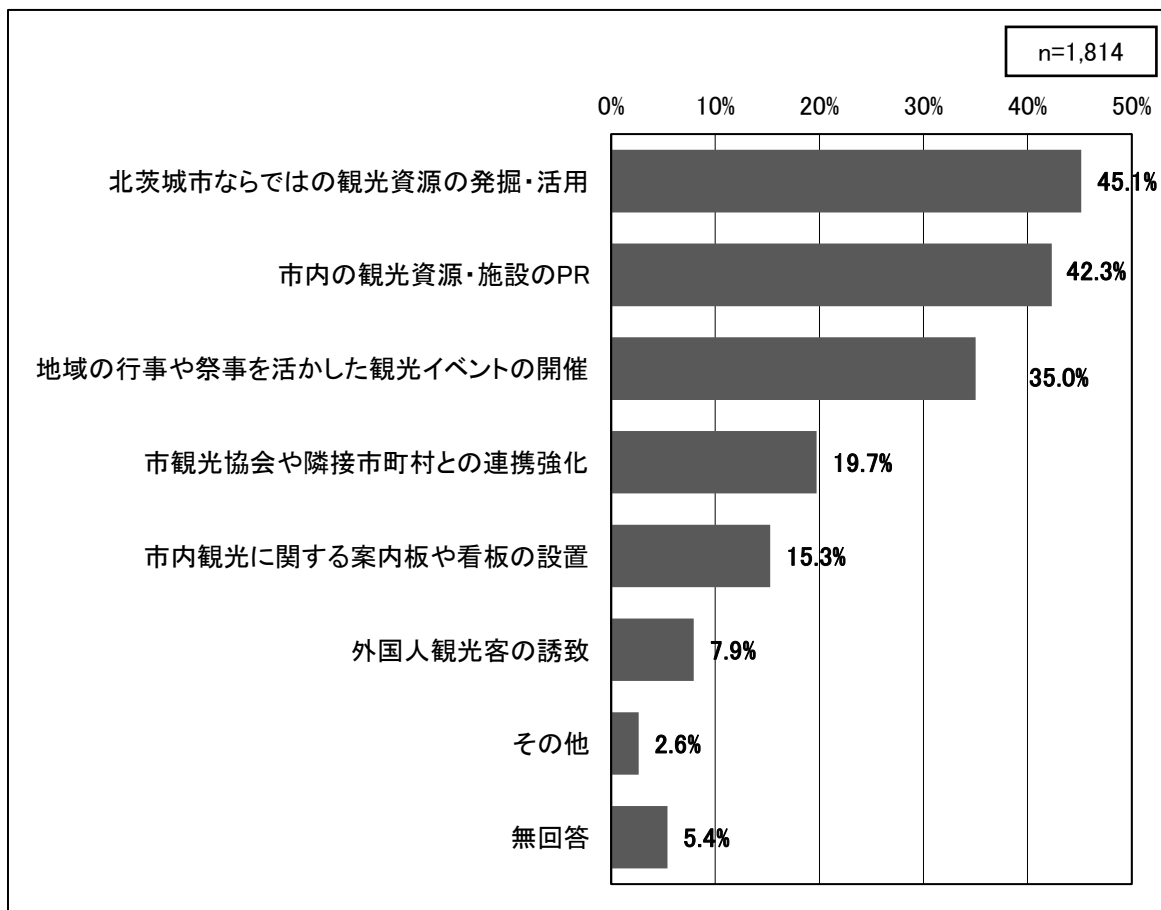
— 「満足」、「やや満足」の合計が43.8%と、
「やや不満」、「不満」の合計(47.9%)をやや下回った—

- 年齢別では20代の「満足」、「やや満足」の合計割合が最も高い(53.6%)一方、70歳以上の同割合(39.0%)が最も低くなっています。
- 居住地区別では関本町の「満足」、「やや満足」の合計割合が最も高い(48.3%)一方、平潟町の同割合(36.3%)が最も低くなっています。
- 今後、特に力を入れてほしい取組としては、「北茨城市ならではの観光資源の発掘・活用」が45.1%と最も多く、次いで「市内の観光資源・施設のPR(42.3%)」、「地域の行事や祭事を活かした観光イベントの開催(35.0%)」となっています。

図表5-2-17 「観光の振興」に対する満足度



図表 5-2-18 今後特に力を入れてほしい取組



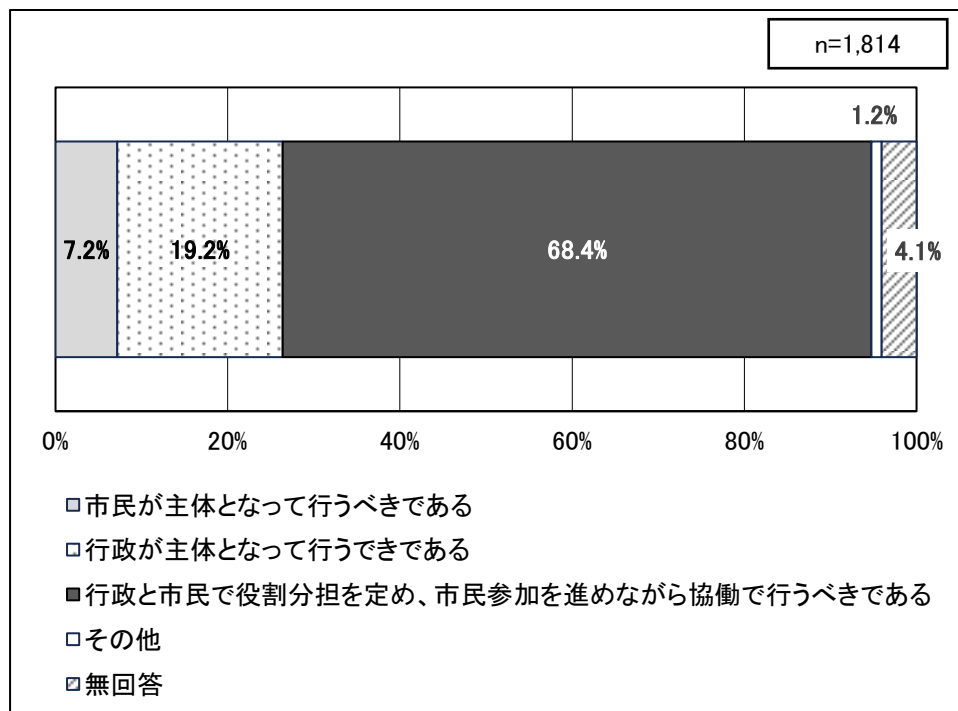
6 市民参加のまちづくりについて

問 14) これからの北茨城市のまちづくりの主体をどのように考えますか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。(○は1つだけ)

—まちづくりの主体は「行政と市民の協働」との意見が多数—

○まちづくりの主体について、「行政と市民で役割分担を定め、市民参加を進めながら協働で行うべきである」との意見が68.4%と大多数を占め、次いで「行政が主体となって行うべきである(19.2%)」、「市民が主体となって行うべきである(7.2%)」となっています。

図表6 まちづくりの主体



**第5次北茨城市総合計画
後期基本計画の策定に向けた
市民アンケート調査報告書
令和6年3月**

編集・発行：北茨城市 市長公室 企画課政策課

TEL 0293-43-1111 (内線233)

E-mail kikaku@city.kitaibaraki.lg.jp